

第七十三回  
帝國議會 貴族院

# 支那事變特別稅法案特別委員會議事速記錄第一號

昭和十三年三月二十二日(火曜日)午前十時二十一分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、皆様ニ御諮り致シマスガ、

今日ハ大臣ハ午前中ハ衆議院ノ方ノ關係御出席ガ叶ヒマセヌ、尤モ午後ハ成ルベク

御出席ヲ要求シテ居リマス、多分御出掛け下サルコトデアラウト存ジマス、就キマシ

テハ、御質疑ヲ是カラ御願申上ゲマスガ、先ヅ各案ヲ通ジマシテ、大體ノ御質問ヲ先

ニ御願致シマシテ、大體ノ御質問ガ済ミマシタバ、各案ニ付キマシテ細カイ又御質

問ヲ願フト云フヤウナ順序ニ致シタイト思ヒマス、左様デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノ認メマス、然ラバ大體ノ御質問カラ願

ヒマス

○加藤政之助君 委員長

○委員長(子爵前田利定君) チョット御待

チヲ願ヒマス……其ノ儘デドウカ暫ク御待チヲ願ヒマス、大臣ハ御都合ヲ御差繰リ下サイマシテ、約三四十分ハ此處ニ居ラレルサウデアリマスカラ、ドウカ左様御承知

ヲ願ヒマス

○加藤政之助君 ソレデハ三、四御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今回ノ兩度ノ増稅

デ、間接稅直接稅ノ比率ノ差異ガ生ジタト思ヒマスガ、其ノ兩稅ノ比率ハドンナモノニナリマセウカ、ソレカラ第一ニハ、所得稅

ノ千二百圓限度ヲ千圓ニ御引下ゲニナリマシタ、サウスルト、此ノ納稅ノ稅額ノ增加

ガドレダケニナリマセウカ、納稅者ハ是ガ爲ニ幾人増シマセウカ、第三ニハ、地方附加稅ヲ今度ノ增稅ニ付テハ御許シニナラヌト云フコトデアリマスガ、地方ニ左ナキダ

ニ時局ノ爲ニ地方費ガ増シテ、今迄モ困難デアラウト思ヒマスルガ、之ヲ許サナイト云

フコトニシマスルト云フト、ヨリ一層ノ困難ヲ地方財政ハ感ジヤシナイカ、ソレニ對

シテハ政府ノ御考ハドウデアラウカ、又各部分ダケラ附加稅ヲ許サナイトスルト、其

ノ區別ヲ一々中央カラ地方ニ通知シナケレバナラナイ煩ガアルト思フノデスガ、此ノ手續ヲ執ルコトハ政府トシテハ左ノミ困難

ヲ感ジナイノデアリマセウカ、今迄地方交

付金ハ足ラナイカラト云フノデ、衆議院ナ

ドノ發議ノ模様ヲ見マシテモ、之ヲ増加シテ欲シイ、五千萬圓ニ増加シテ欲シイト云

フ要求ガ出テ居リマス、處ガ政府ハ三千萬圓ト云フコトニ御定メニナックヤウデアリマスガ、地方財政ヘハ此ノ三千萬圓ノ交付

金デ十分事足ルト云フ政府ノ御見込ナノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(賀屋興宣君) 先ヅ此ノ本增稅案ニ付キマシテ、地方ノ附加稅ヲ此ノ部分ニ許シマセヌコトト、尙地方財政トノ關係ニ付キマシテノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、仰セノ如ク今回ノ增稅案ニ付キマシテハ地

方稅ノ附加稅ハ之ヲ認メマセヌノデアリマス、是ハサナキダニ地方ノ負擔ハ過重デア

ルト云フ際デアリマス、又此ノ增稅ハ軍事費ノ財源ニ致ス目的デアリマシテ、此ノ點カラ考ヘマシテ、地方ノ附加稅ヲ之ニ認

シテハ政府ノ御考ハドウデアラウカ、又各點カラ考ヘマシテハ、此ノ昨今ノ景氣ニ依リマシテ、非常ニ稅收入モ増加シテ、增稅ヲ致シマセヌデモ、自然增收ノ多イ狀態デアル、

ニ於キマシテハ、此ノ昨今ノ景氣ニ依リマシテ、非常ニ稅收入モ増加シテ、增稅ヲ致シマセヌコトガ適當デアルト思フノデアリ

イ部分モアラウカト存ズルノデアリマス、併シナガラ只今御質問ニアリマシタ

ヤウニ、此ノ時局ニ伴ヒマシテ、地方關係マス、併シナガラ只今御質問ニアリマシタ

ニ於テモ相當經費ノ負擔ハアルノデアリマス、併シナガラ此ノ國ノ關係ノ如ク巨大ナ

ル軍事費ノ負擔ト云フモノハアリマセヌ、

又貴族院ニハ回付セラレテ居リマセヌガ、衆議院ニ追加豫算ヲ提出ヲ致シテ審議中デゴザイマス、ソレノ主ナル部分デアリマストカ、又既ニ御協贊ヲ仰ギマシタ十三年ノ總豫算ノ中ニモ時局ニ伴ツテ國ニ於テ増加スル經費ガ相當ニアリマスノデアリマス、謂ハバ、地方ニ於テハ全クソレト同ジデハアリマセヌガ、國ノ軍事費ニ當リマス部分ノモノハアリマセヌデ、國ノ時局ニ伴ツテ單ニ經費ガ殖エマスヤウナ趣デ、其ノ越モ内容ハ異ツテ居リマスガ、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ臨時軍事費ノ財源ト致ス計畫ノ增稅案ニ地方附加稅ヲ課稅シナイ方ガ適當デアル、唯地方ニ於テ時局ニ關スル經費ノ殖エマシタ場合、大都市、大ナル府縣等ニ於キマシテハ、此ノ昨今ノ景氣ニ依リマシテ、非常ニ稅收入モ増加シテ、增稅ヲ致シマセヌデモ、自然增收ノ多イ狀態デアル、農漁山村等ノ中デドウシテモソレノ足リナシテ、非常ニ稅收入モ増加シテ、增稅ヲ致シマセヌコトガ適當デアルト思フノデアリマス、併シナガラ只今御質問ニアリマシタサウ云フ點ヲ考ヘマシテ、又其ノ外ノ點モ無論アルノデアリマスガ、交付金ヲ三千萬圓ダケ増額致シマシテ、一億三千萬圓ニ致スコトニ致シタノデアリマス、是ハ大體ハ

減税ノ財源ニ向ケマスノデアリマスガ、只  
ノ邊ノ地方ノ極ク資力ノ薄イ町村等ノ歳出  
イ、斯ウ云フ積リデ居ルノデアリマス、無  
論仰セノ如ク十分デアルトハ申上ゲ兼ネル  
ノデアリマスケレドモ、只今ノ時局柄何レ  
ノ方面モ是ガ特ニ十分ト云フコトニハナカ  
ナカ參リ兼ネルノデアリマス、比較的軍事  
費ニハ最モ力ヲ盡シマシテ、戰場ニ於ケル  
軍隊ノ活動ニ遺憾ナカラシムル爲ニハ大イ  
ニ力ヲ盡シマスルガ、是トテモ放慢ニ流レ  
ルト云フヤウナコトハ、是ハ努メテ警戒シ  
ナケレバナリマヌガ、ソレ以外ノ經費ニ  
付キマシテハ、皆相當不十分ヲ感ズルノデ  
アリマス、只今ノ時局柄是ハオ互ニ或程度  
ノ我慢ヲシ合ツテ行クト云フ心持デ參リタ  
イ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス、尙  
他ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ政府委員ヨ  
リ御答ヲ申上ゲマス

テ見マスルト、直接税ガ四割九分四厘、間接税ガ四割三分一厘、其ノ他ガ七分五厘、アリマス、其ノ他ト申シマスノハ、取引所別人場税、噸税及印紙收入ノ中ノ税ニ關係ノアルモノデゴザイマス、問題ニナリマスノハ、通行税ヤ入場税ヲ間接税ノ中ニ入れナイカト云フ議論ガアリマスガ、此ノ分類ニ於キマシテハ、其ノ他トシテ直接税ニモ間接税ニモ入レズ、學者ノ所謂流通税ノ範圍ニ於テ其ノ他ニ見積ツテ居ル次第デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、直接税ガ四割九分、間接税ガ四割三分ニナリマシタノデ、初メテ茲ニ間接税ヨリ直接税ガ多クナツタト云フ形ガ現レタノデアリマス、念ノ爲ニ過去ノ實績ヲ申上ゲテ見マスト、昨年臨時増徴竝北支事件特別税ヲ加ヘマシテ、相當此ノ比率ガ變ツテ參ッタノデアリマスガ、此ノ前カラ申シマスト云フト、昭和六年ノ決算ニ於テ直接税ガ三割九厘デアリマシテ、間接税ガ六割一分三厘デアリマシテ、其ノ他ガ七分八厘デアリマス、ソレガ昨年、昭和十二年ノ豫算ニ於キマシテハ大變ニ此ノ點ノ權衡ヲ直シマシテ、直接税ガ非常ニ増シテ参リマシテ、ソレデモ四割五分二厘デアリマシテ、四割五分二厘ニナリ、間接税

ガ四割八分三厘、未ダ直接税ノ方ガ少イノ  
デアリマシテ、其ノ他ガ六分五厘デアリマ  
シテ、是ト比べテ見マスルト、今回ノ増税ニ  
九分四厘、約半分近イ所迄達シタコトニナ  
ルノデゴザイマス、第二點ノ今回ノ増税ニ  
依ッテ地方税ガドウナルカ、斯ウ云フ問題ハ  
總額ニ於キマシテ約一千萬圓ノ減ニナリマ  
ス、此ノ増税ノ案ノ中ニ入場税ヲ創設スル  
コトニナリマシタノデ、從ッテ道府縣ナリ、  
市町村ナリノ稅收入ガ減ッテ參リマス、又  
所得稅ノ免稅點引下ニ依リマシテ、臨時租稅措置  
特別所得稅ガ減ッテ參リマス、臨時租稅措置  
法ニ於キマシテ營業ナリ或ハ田畠ノ耕作ニ  
於キマシテ減收シタモノニ對シテ輕減スル  
コトニナツテ居リマスノデ、ソレニ伴レテ道  
府縣ナリ、市町村ナリノ附加稅等ガ減ッテ參  
リマス、全部合セテ見マシテ、一千萬圓ニ  
ナルノデアリマス、モウ一つノ御質問ノ第  
三種所得稅ノ免稅點引下ニ依ッテドレダケ  
ノ納稅人員ガ殖エルカ、ドレダケノ增收ニ  
ナルノデアルカト申シマスト云フト、免稅  
點引下ニ依リマシテ、四十萬二千三百餘人  
ニナル計算ニナツテ居リマス、增收ノ見込ハ  
三百九十八萬七千圓、大マカニ申シマスト  
云フト、人數ハ四十萬人、稅額ハ四百萬圓

○男爵松平外與廳君　只今ノコトニ關聯シテ、只今大臣ノ御答辯カラ見マスト、地方ガ非常ニ疲弊シテ居ル、成ル程地方ノ財源其ノ他ヲ涸渴サセナイヤウニ、サウ云フ意味カラ今度ノ附加稅ヲ取ラナイト云フ仰セデアリマスガ、是ハ從來確カ府縣ノ興行稅トカ、觀覽稅トカト云フヤウナモノガ國稅ニ變更サレタト云フ感ジガ致シマスガ、サウ致シマスト、金額ガ幾ラアリマセウカ知リマセヌガ、矢張リ地方稅ノ稅源ト云フモノガソレダケ國稅ニ代ッテシマッタ、而モソレハ今度ノハ特殊財源デアルカラ、附加稅モ課ケサセナイト言ヘバ、地方ニ於テ相當ノ收入減ニナル狀況ヲ來シハシナイカ、先程ノ御答カラ見マスルト云フト、何カ矛盾ガ起シテ居ルノデハナイカ、大體國稅中心デアルト云フ場合ニ、新タニ地方稅ヲ取ルト云フコトヲ考ヘマスルト、何カ特ニ地方稅中ノモノヲ國稅ニ直スニハ相當有力ナ財源ニ代リ得ルモノガアルデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、其ノ點ヲ一つ伺ヒタイ

マスノデアリマス、其ノ税率等ハ區々ニ瓦ツ  
テ居リマシテ、一定致シテ居リマセヌ、此  
斯ウ云フ際ニ之ニ徵稅ヲ致スコトガ適當ト  
認メマシタノデ、料金ノ一割ト云フ標準デ  
以テ課稅ヲ致スト云フコトニ致シタノデア  
リマス、併シ只今御話ノヤウニ、其ノ結果  
トシテハ、地方ニ於テ財源ヲ失フモノ、即  
チ之ニ附加稅ヲ取ル譯ニモ参リマセヌカラ、  
從來徵收致シテ居リマシタ財源ヲ失フ場合  
ガ出テ参リマスノデ、サウ云フ現象ハ獨リ  
觀覽稅ニ於テノミナラズ、所得稅ノ免稅點  
ヲ千二百圓ヨリ千圓ニ引下ゲマシタ場合ニ  
於テモ起リマスノデ、地方ニ依リマシテハ  
特別所得稅ヲ千二百圓以下、即チ國稅ニ於  
テ所得稅ヲ徵收セラレテ居リマセヌモノニ  
賦課シテ居ツタ所モアルノデアリマス、是等  
モ其ノ特別所得稅ヲ其ノ儘ニ致シテ置キ  
マシテ、新タニ輕率デハアリマスルガ、  
國ノ所得稅ヲ課スルト云フコトニナリマ  
スレバ、負擔ガ重モ過ギルノデアリマス、  
之ヲ全廢ハ致シマセヌガ、相當程度ニ之ヲ  
減收ヲ致スヤウナ結果ニ相成ルノデアリマ  
ス、併シナガラソレニ依ツテ特別所得稅ガ

スル爲ニ、負擔ハ平準化ハシテ參ルノデ  
アリマス、是ハ觀覽稅モ同様デアリマ  
ス、尙増稅案ノ外ニ、臨時措置ト致シ  
マジテ、小額デハアリマスルガ、減稅ノ計畫  
ヲ致シタイ、事變ニ依リマシテ收益ノ減リ  
マスモノガアリマス、是ハ少シ言葉ハ固ク  
ナリマスルガ、只今ノ貿易ノ輸入制限、爲  
替管理等ニ基キマシテ、謂ハバ政策ニ依ッテ  
モ營業上相當ノ障礙ヲ感ズル方面ガアリマ  
ス、左様ナ方面ノアリマスルヤウナ事情ヲ  
考慮致シマシテ、是等ノ營業者ガ收入ノ減  
ジマシタ場合ニハ、稅ハ現行法ニ於テモソ  
レニ從ツテ當然減ルノデアリマスルガ、其ノ  
以上ニ其ノ打擊ヲ緩和致シマスル爲、減稅  
ヲ致ス措置ガ考ヘアリマス、今回ノ增稅  
案竝ニ其ノ減稅案ニ伴ヒマシテ、政府ノ原  
案ニ依リマスルト、地方稅ガ約一千萬圓ノ  
減收ニ相成ルコトニナリマス、減稅ノミデ  
申上げマスルト、國ノ減稅ガ四百萬圓、ソ  
レニ地方稅ガ六百萬圓、其ノ上ニ今ノ所得  
稅、入場稅等ニ伴ッテ、地方稅源ノ減ルノガ、  
合セマシテ一千萬圓、數字ハ大體丁度同じ  
ク一千萬圓ノ減收ヲ生ズルノデアリマス、  
地方交付金三千萬圓ヲ增加致シマシタノハ、  
是等ノ減收ノ財源ノ補填モ併シテ考慮致シ  
マシテ、三千萬圓ト致シマシタ譯デアリマ

○男爵松平外與麿君 尚

ス、其ノ補填ハ地方交付金ノ増額三千萬圓ノ中ニ約一千萬圓ガ含マレテ居ル、斯ウ云フ筋途ニ相成ツテ居リマス  
○男爵松平外與麿君 尚御伺ヒ致シマス、  
大體御話ハ分リマシタガ、サウ致シマスルト、今ノ御話デハ、地方ガ補給金モ相當増スカラ、別ニ當分損ハシナイグラウト云フ御話デアリマスガ、根本的ニ考ヘマシテ、衆議院等デモ話モアリマシタノデアリマスガ、國稅ト地方稅トヲ全般的ニ通ジテノ稅制ノ改革ハ、今ハ事變下デアルカラ、出来ナイト云フ御答辯ヲ度々ナサツティラッシャルノデアリマス、ソレカラ考ヘマスルナラバ、此ノ一小部分ノ稅デアリマスケレドモ、從來地方稅ノ位置ニアツタモノヲ特殊ニ取上げテ之ヲ國稅ニ變更スル、其ノ代リニ補給金デ補フト云フコトハ誠ニ體裁ハ宜イヤウニ考ヘマスルガ、地方デ考ヘテ見マスレバ、交付金ヲ貰フト致シマシテモ、地方稅トシテノ元カラアツタ稅源ハ、斯ウ云フ取扱ヲスル度ニ將來恐ラク減ツテ來ルデヤナ、イカト心配致スノデアリマス、或ハ杞憂カモ知レマセヌガ、特別ノ理由ノ下ニ今日ノ措置ヲ爲サレタト思ヒマスガ、今後トモ適當ノ稅源ナリ又相當考フベキモノガアルナラバ、追從的ニ國稅地方稅ニ亘ツテ部分的ノ

○國務大臣（賀屋興宣君） 所謂稅制整理二

〇國務大臣(賀屋興宣君) 所謂稅制整理ニ付キマシテハ、只今我が國ニ問題ニナシテ居リマス稅制整理ハ、其ノ觀念トシテ負擔ノ均衡ガ今ノ稅制ノ下ニ於テハ十分ニ取レテ居ナイト云フ觀念デアリマスルカラ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、或方面ニ減稅ヲ致シテ、或方面ニ增稅ヲ致スト云フ觀念ガ、一般的ノ增稅ト云フ觀念ト別ニサウ云フ觀念ガ含マレテ居リマス、寧ロ整理ト云フ言葉ノ内容ハソレデアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、左様致シマスルト、何故ニ只今ガ整理ヲ行フニ適當ノ時機、ナイカト申シマスレバ、只今ハ此ノ時局ニ因ツテ所謂跛行景氣トモ言ハレマスヤウニ、一部デハ收入ガ餘程増加スルモノモアリマス、一部デハ時局ニ依ツテ却テ打擊ヲ被ムルト云フ方面モアルノデアリマス、而モゾレガ所謂稅制整理デ普通ニ考ヘラレマス都市ノ方ガ常ニ收入ガ増加シテ、農村ノ方ハ常ニ減ズルト云フ譯ニモ參ラナイ狀態デアリマス、大體都市ノ方ガ宜シイノデアリマスガ、都市ノ中デモ宜シイモノト、宜クナイモノト起リ得ルノデハナイカト云フヤウナ狀態デアリマス、從ツテ稅制整理ヲ致シマスル場合ニハ、

全體ガ増稅トナリマセヌデモ、一部ノモノ  
ハ増稅ニナルト云フヤウナコトデアリマス  
ルノデ、收入ガ減ッテモ、ソコニ増稅ガ起ル  
ト云フ風ナコトモ起リ兼ネナイノデアリマ  
ス、又ソレデハドウ致シタラ一般ノ負擔力  
ニ合フカト云フ其ノ負擔力ノ變化ノ見極メ  
モ付キニクイノデアリマス、此ノ增稅デモス  
レバ、整理ノ爲ノ增稅ノ上ニ、更ニ增稅ガ  
加ハルト云フコトニナリマスレバ、比較的  
時局ニ因ツテ打擊ヲ受ケタ方面ガ尙困ル、而  
モ打擊ヲ受ケテ居ル方面ハ恆久的ニサウデ  
アルカト云フコトガ今見定メガ付カナイト  
云フ事情デアリマスカ、只今ノ所ハ、根  
本的ト申シマスカ、恆久的ノ稅制整理ハ一  
時之ヲ取止メタ方ガ適當デアルト考ヘタ次  
第デアリマス、大體左様ナ考ヘ方デアリマ  
スノデ、一部分之ヲ致シテモ差支ナイト云  
フ程度ノ少々ノ改正ハ、是ハ時機ニ依ツテ致  
シテモ宜イト思フノデアリマス、併シ統制  
ノコトデアリマスト、サウ部分的ノ改正バ  
カリ小サク始終致シマスコトハドウカト思  
ヒマスガ、今回ハ昨年ノ臨時租稅增徵法ト  
云フモノガ、極ク率直ニ申上ゲマスレバ、  
小サイ點ニ於テ技術的多少粗笨ノ點ガアッタ  
ト申シ得ルノデアリマス、是ハ當時ノ事情  
ガ議會中ニ内閣ノ更迭ガアリマシテ、後ノ

内閣ハ必要上前内閣ノ案ヲ改メナケレバナ  
ヲ要スルノデアリマスカラ、議會ノ會期ノ  
途中デアリマシテ、十分ニ事務的ニ之ヲ練  
リマス餘裕ガアリマセヌノデ、例ヘバ所得  
稅、相續稅ノ増率ニ致シマシテモ、階級別  
ノ増率ヲ致シテ居ル、細カク申シマスト、  
稍々ソレデハ不十分デアルト云フ點へ考ヘラ  
レマス、斯ウ云フ點等ニ付キマシテハ成ル  
ベク早イ機會ニ更ニ少シ宜クスルト云フコ  
トハ適當デアルト考ヘマス、又登錄稅ノ如  
キモ不動產ニ付テ若干減稅ヲシ得レバ、是  
モ尙結構デアルト云フヤウナコトガ考ヘラ  
レマスノデ、此ノ度所謂部分的ノ改正案ト  
云フモノヲ出シマシタ次第デアリマス、サウ  
云フ次第デアリマスカラ、只今トシテ實行致  
シテ支障ノナイ點ニ付キマシテハ、今ノ地方  
ト中央ニ多少入替ヘルヤウニナリマスガ、觀  
覽稅ヤ或ハ特別所得稅ニ付キマシテ、サウ  
云フコトヲ致スノモ別ニ差支ハナイヤウニ  
思フノデアリマス、併シ只今ノ御質問ノ如  
ク、常ニ此ノ地方ノ財源ヲ取ッテ中央ニ持ツ  
テ行クト云フヤウナ方針デ參リマスルカド  
ウカ、是ハ所謂根本的ノ稅制整理ヲ致ス際  
ニ考究シナケレバナラヌノデアリマス、サ  
ウ云フコトハ只今此ノ軍事費ノ財源トシテ、

増税致ス場合トシテ案ニ含マレ居ルノ度々スルカト云フコトニナリマスレバ、是コトヲ致シマセヌデモ、サウ云フコトヲハ餘リ致サナイ方ガ宜イト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長（子爵前田利定君） モウ宜シウゴザイマスカ

○男爵松平外興麿君 宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ少シ廣イ問題デ大藏大臣ニ御伺シタイト存ジマスノデスガ、實ハ是ハ總理大臣ニデモ御出デラ願ッテ、總理大臣ニ伺フノガ本當デアリマスガ、會期切迫ノ際ニソンナコトヲ一々シテ居ルコトハ出來マセヌ、大藏大臣ガ内閣全體ノコトトシテ御答辯下サレバ、ソレデ結構デアリマスカラ、御迷惑デアルカモ知レマセヌガ大藏大臣ニ御伺ヒ致シマス、此ノ増税案ト云フモノハ頻リニ増税ニ重ネルニ増税ヲ以テシテ居ル、是ハ財政上已ムヲ得ナイト思ヒマス、今日ノ財政デハ……、併シ之ヲコンナニ増税スル以上ハ能ク國民ガ理解ヲシテ行ク、能ク是ハ差支ナイモノデアルトシテ行クベキモノダト思フノデアリマス、向ケテ行クベキモノダト思フノデアリマス、然ルニ近頃ノ政府ノト言フカ、一般ノ空氣

ト云フモノガ、ドウモサウ行カナイ場合ガアリマセヌガ  
多イ、外ノ例ヲ引出シテ甚ダ恐縮デアリマスガ  
スガ、例ヲ舉ガナケレバ事ガ分リマセヌガ  
大概ノモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定メルトカ、  
或ハ議院ノ方デハ何ノ答辯モシナイデ、ス  
ツカリ委員會ニヤラシデシマフ、委員會ガ  
ドウ出來ルカト云フト、ソレハ御用委員會  
ニ過ギナイ、萬事サウ云フヤリ方ナンデア  
ル、是ハ私ハ甚ダ面白クナイト思フノデス、  
斯ウ云フ風ニ、サウシテ議會ト云フモノハ  
何モ譯ガ分ラナイデ、唯盲判ヲ押シテ居ル、  
サウシテ稅ハドンヽ取ラレテ居ル、斯ウ  
云フヤウナ情勢ナンデス、是デハ國民ガ納  
得シテ、サウシテ喜ンデ増稅ニ應ズルト云  
フヤウナコトハ到底ムヅカシカラウト思ヒ  
マス、速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(子爵前田利定君) 速記中止

〔速記中止〕

○子爵大河内輝耕君 速記ヲ付ケテ戴キマス  
ス

○委員長(子爵前田利定君) 速記開始

○子爵大河内輝耕君 斯ウ云フ風ニシテ、  
國民ノ代表者タル議會ト政府トノ間ニ交渉  
ガ段々ニ薄クナツテ行クヤウナ傾向ガアル  
ト云フノハ、甚ダ面白クナイコトダト思フ  
ノデアリマス、之ニ付テハ政府ノ方針竝ニ

議會開會中ニ於ケル各法案ノ……成立シタ  
法案ノ運用ニ付テモ、餘程御注意ニナリ、  
又今申上ゲタ外交ノコトニ付テモ、國民ノ  
理解ヲ十分ニ得ルヤウナ方法ヲ執ラレタナ  
ラバ、ソコニ國民ハ喜ンデ此ノ增稅ヲ十分  
ニ理解シテ負擔スルコトガ出來ルダラウト  
思フ、今ノヤリ方デハ甚ダ此ノ點不十分ダ  
ト思フ、モウ一層政府デ御考直シヲ願ヒタ  
イト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヘ申上ゲマ  
ス、政府ノ、政治ニ付キマシテ國民ノ能ク理  
解シ得ルヤウニ努メルト云フ御趣旨ハ全ク  
御同感デアリマス、今回ノ增稅ニ付キマシ  
テモ、是ハ能ク國民ガ此ノ時局ニ際シテ喜  
ンデ負擔ヲスルト云フ氣持デナクテハ、到  
底所期ノ效果ヲ擧ゲ得ナイノデアリマス、  
其ノ點ニ付キマシテ、能ク國民ガ喜ンデ之  
ヲ負擔スルト云フコトニ努メルト云フ御趣  
旨ハ全ク御同感デアリマス、幸ニ只今迄私  
共ノ耳ニ入リマンシタ所デハ、今回ノ增稅ニ付  
キマシテモ、只今ノ時局トシテ銃後ノ國民  
トシテ大體ニ於テ已ムヲ得ザルモノデアル、  
色々細部ニ付キマシテハ是ハ各説ノアル  
所ハアルノデアリマセウガ、大體ニ於テハ  
已ムヲ得ナイノデアルト云フ空氣ニ私共ハ  
察シテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今

ノ御質問ハ、政府ノ政策一般ニ付テ能ク國  
民ノ理解ヲ得ルヤウニ努メルコトガ、尙此  
ノ増稅ノ理解ニ付テ矢張リ間接ニ及ス所ガ  
アルダラウト云フ御趣旨ノヤウニモ拜聽致  
サレタノデアリマス、ソレモ御尤ト存ズルノ  
デアリマス、唯此ノ時局ガ時局ニアリマシ  
テ、所謂戰爭ト殆ド同ジ狀態ニアリマスノ  
デ、軍事上ノコト、又外交上ノコトニ付キ  
マシテモ、場合ニ依リマシテ能ク委曲ヲ盡  
シテ申上ゲルコトガ出來ナイ事情モ相當多  
イノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、  
平時ト違ヒマスルノデ、或ハ場合ニ依リマ  
シテ、國民ニ於テモ十分ニ分リ兼ネル、又議  
會ノ説明モ、政府ノ御説明ガ十分デナイト  
感ゼラレルコトガ是ハアラウカト思フノデ  
アリマス、併シナガラ是ハ所謂戰時ト同ジ  
状態ニアリマスルノデ、已ムヲ得ズサウ云  
フ結果ニ相成ルノデアリマス、政府ト致シ  
カニシ、十分御理解ヲ願シテ御協力ヲ願ヒタ  
マシテハ努メテ其ノ意ノアリマスル所ヲ明  
イト思フノデアリマス、殊ニ此ノ經濟上ノ  
事柄ハ、ソレヲ實行致シマスル者ハ大部分  
國民デアリマシテ、如何ニ政府ガ規則ヲ作  
リ、計畫ヲ致シマシテモ、之ヲ所謂強制ヲ  
以テ其ノ通リニ運ブト云フコトハ到底是ハ  
トニ努メタイト思フ次第アリマス

○子爵大河内輝耕君 從來ノコトニ關シテ  
出来マセヌノデアリマシテ、私共モ豫ネ〜  
十分此ノ政府ノ爲サムトスル所ノ趣旨ニ付  
テ諒解ヲ求メ、國民ガ心カラソレニ協力ス  
ルト云フヨリモ、自發的ニ自覺ヲ以テヤッテ  
貴フト云フコトガ大切デアルト存ズルノデ  
アリマス、今後モ益其ノ方針ニ於テ努メタ  
イト思フノデアリマス、外交ニ付キマシテ  
モ、只今速記ヲ止メテノ御質問デアリマシ  
タガ、此ノ點ハ申上ゲテモ差支ナイト思フ  
ノデアリマスルガ、此ノ時局ノ初メニ當リ  
マシテモ、一部ノ批評ハ、時局不擴大ト云  
シテ申上ゲルコトガ出來ナイ事情モ相當多  
イノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、  
擴大スルノニ極シテ居ルト云フ批評モ隨分  
マシテモ、一部ノ批評ハ、時局不擴大ト云  
フヤウナコトハ到底考ヘラレナイ、結果ハ  
アリマシタシ、今モアルコト思フノデア  
ニ行キマセヌカラ、チヨット一ツ午後ニ讓ツ  
テ戴キタイノデゴザイマス

○委員長(子爵前田利定君) 大河内サンニ  
チヨット御諸リシタイノデスガ、實ハ衆議院  
ノ方デ豫算委員會ヲ中止シテ、大臣ノ御出  
席ヲ待ツテ居ルノデ、コッチバカリニ居ル譯  
ニ行キマセヌカラ、チヨット一ツ午後ニ讓ツ  
テ戴キタイノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 午後デ結構ニアリマ  
ス、ソレデハ政府委員ニ質疑致シマス

○委員長(子爵前田利定君) 政務次官ハ今  
夕昨年七月ニ於ケル狀態ガ、八月十五日ノ  
所謂擴大ヲ已ムヲ得ズト決心シマスル迄ハ、  
實ニ隱忍ヲ致シマシテ、出來ルダケノ手段  
ヲ盡シテ、隱忍ニ過ギル程所謂現地ノ局部  
的解決ニ努メタイト努メタヤウナ次第デア  
リマシテ、決シテ事ヲ好ンデ致スト云フヤ  
ウナコトハ毛頭ナイノデアリマス、常ニ已  
ムヲ得ザル措置ニ出テ居ルヤウナ次第デア  
リマス、尙今後益國民ノ理解協力ヲ得ルコ  
トニ努メタイト思フ次第アリマス

○子爵大河内輝耕君 従來ノコトニ關シテ  
十分理解ヲ求メラレタトハ私共思ハナイ、  
タ話デ、兩方込メテ計數ハドンナニナリマ  
セウ

○政府委員(大矢半次郎君) 只今地方稅迄モ加ヘテノ直接稅、間接稅ノ比率ノ計數ハ持合ハシテ居ナイノデアリマスガ、地方稅ノ大部分ハ直接稅デゴザイマス、雜種稅ノ中、先程御話ニナリマシタ觀覽稅ノ如キモノハ、一部間接稅ノモノモアリマスケレドモ、大部分ハ直接稅デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ云フコトハ伺ハナイデモ能ク存ジテ居ル、唯國稅ダケデソレヲ御説明ニナルト云フコトハ、世ノ中ヲ誤ルモノダト思フ、ダカラ、兩方ノ比率ノ御調ガ付イタラバ、仰シャッテ戴キタイ、次ニ伺ヒマスガ、地方稅ガ確カ、調べ達ヒカモ知レマセヌガ、二千萬圓位減收ニナル、サウンシテ地方交付金ガ三千萬圓ニナル、後ノ一千萬圓ト云フモノガ此ノ臨時事件ニ付テ地方へ負擔ヲ掛ケルカラ、ソレデ補ツテヤルト、大體斯ウ云フ御方針、御計算ト承知シテ宜シイノデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 先程政務次官ガ御答ヘ致シマシタノハ、地租ニ於キマシテ賃貸價格ノ改訂ニ伴ツテ、地方ノ附加稅ノ減收スルモノガアルノデゴザイマスガ、昭和十二年ニ於キマシテ臨時地方財政補給金一億圓ヲ支出シテ、其ノ一部ヲ以テ府縣ノ地租附

加稅及特別地稅ノ輕減ヲ致シタノデゴザイ

斯ウ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 臨時補給金三

マス、其ノ輕減シタ後ノ附加稅ノ課率、特別地稅ノ課率ヲ此ノ度改訂致シマシタ貨貸

別地稅ノ課率ヲ云フ計數ノ根據ハ、以上ノ二ツ千萬圓ト云フ計數ノ根據ハ、以上ノ二ツ

三千萬圓ト云フ計數ノ根據ハ、以上ノ二ツニアルノデゴザイマス、ソレカラ臨時地方財政補給金三千萬圓ハ必ズシモ、貨貸價格

改訂ニ依ル地方稅ノ減收ト、ソレカラ支那

ト、府縣ニ於キマシテ減收ニナル地方ノモノノミヲ合計致シマシテ、約一千萬圓、ソ

レカラ市町村ニ於キマシテ是亦減收ニナル地方團體ノミヲ合計致シマスト、約一千萬

圓、通ジテ二千萬圓ノ減收ニナルノデゴザイマス、ソレカラ國稅ニ於テ此ノ度入場稅ノ創設致シマシタコトニ依ツテ地方稅ノ減

收ニナルモノガアリマスシ、ソレカラ所得税ノ免稅點引下ニ伴フテ地方稅ノ減收ニナルモノモゴザイマス、臨時租稅措置法ニ於

キマシテ營業收益稅ヲ輕減シ、地租ヲ輕減スルト云フコトニ伴ヒマシテ、地方ニ於テモ之ニ準ジテ輕減致シマスモノガゴザイマス、是等ヲ合計致シマスト云フト、約一千萬圓アルノデゴザイマス、地租ノ貨貸價格ヨリノ減ガ一千萬圓、ソレニ「プラス」臨時事件ニ依ル所ノ負擔ノ増加ガ若干アル、ソレヲ

○子爵大河内輝耕君 私ハ計算ノ問題ヲ伺ッテ居ルノデスカラ、計算デ御答ヲ願ヒタ

イ、地方稅ノ減ガ一千萬圓、貨貸價格ヨリノ減ガ一千萬圓、ソレニ「プラス」臨時事件ニ依ル所ノ負擔ノ増加ガ若干アル、ソレヲ

<p>ハ税率ガ動クトカ云フヤウナコトハゴザイマセヌデスカ、ソレトモ何處カゴザイマスカ</p> <p>○政府委員(太田正孝君) 總動員法ガ行ハレマシタ場合ニ、税法ニ響ク關係ハ、内國税ニ付キマシテハ、總動員ヲ施行致シマス爲ニ、各事業ナドニ色々ナ措置ガ執ラレルコトニナッテ居リマスガ、其ノ措置ニ依ッテ實體的ニ税收入ニ及スコトハゴザイマスガ、</p> <p>法律ノ上カラ申シマシテ、直グ租税ノ賦課ニ影響スル點ハ無イノデゴザイマス</p> <p>○子爵大河内輝耕君 是ダケノ増税ヲサレルニ付テハ、一方ニ多少經費ノ節約モセラレタラウト存ジマスガ、此ノ十三年度豫算ニ經費ノ節約ハドノ位ニナッテ居リマスカ</p> <p>○政府委員(太田正孝君) 増税ヲ致シマスコトガ、物價ニドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、税法ヲ立案スル上ニ於テ最モ注意ヲ拂ツタ點デゴザイマス、此ノ意味ニ於キマシテ轉嫁スル性質ノモノガ、ソレダケ物價ヲ高メルト云フコトハ一應考ヘラレル點デゴザイマス、特ニ其ノ意味ニ於キマシテ北支事件特別稅以來、今回ソレヲ引繼イデ居リマス物品稅ニ付キマシテ問題ガアルノデゴザイマスケレドモ、物品稅ノ細カイコトハ後デ申述ブルコト致シマシテ、大體ニ於テ一般的ノ日用品ヲ之ニ省イテ居リマス、日用品ニ課ケル場合ニ於キマシテモ一定額以上ノモノニ課ケルト云フコトニナッテ居リマス、デ、其ノ他間接稅ノ關係ニ於キマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是ハマア轉嫁ト云フコトヲ順當ト見レバ、致</p>	<p>物價ニ對シテハ斯ウ云フ意味デス、假令稅ガ上ッテ見タ處デ、物價ガ騰ッタラ何ニモナラナイ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考ニ</p> <p>○政府委員(太田正孝君) 増税案ト物價ノ關係ニ對シテハ大シタ政策ハ執ラヌ、ソレハ商工省ノ關係ダト云フ御考デセウカ、ソレハトモ、大藏省トシテモソレニ付テ相當御考慮ニナッテ居ルコト思ヒマスガ、如何デセウカ</p> <p>○政府委員(太田正孝君) 増税ヲ致シマスコトガ、物價ニドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトハ、税法ヲ立案スル上ニ於テ最モ注意ヲ拂ツタ點デゴザイマス、此ノ意味ニ於キマシテ轉嫁スル性質ノモノガ、ソレダケ物價ヲ高メルト云フコトハ、大藏當局トシテハ注意シナケレバナラヌ點デゴザイマスノデ、商工省トモ能ク相談致シマシテ、物品稅ノ如キニ付テハ、例ヘバ「デパートメント・ストア」ノ如キニ於キマシテモ、是レノ價格以上ノモノニ付テ稅ガ上ッタノデアルト云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締ニナル以外ニ、稅務當局ト致シマシテモ注意致シマシテ、最モ轉嫁ノ本來起ルベキモノトサレテ居ル物品稅ノ如キニ於キマシテモ、物價ガ稅ニ於テ豫想サレタモノ以上ニ上ラヌヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ノ増稅ニ付テ一般物價ニドウ響クカ、ソレニ依ッテ歲計ノ實行ニ於テ妨げガ起ルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ稅ニ付キマシテモ、物價ガ騰ルコトニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、立案シタヤウナ譯デゴザイマシテ、之ニ依ッテ稅ハ上ッタ、ソレダケニ物價ガ騰ッタノダカラ、此ノ方ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトノキマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是</p>
<p>シ方ナイコトデゴザイマスガ、動モスルスカラ、是レ以上伺ヒマセヌ、增稅以外ニ解出來マセヌ、今一般的ノ質問デゴザイマスカラ、是レ以上伺ヒマセヌ、增稅以外ニ付キマシテハ之ニ依ッテ稅以上ニ物價ヲ高メルト云フコトハ、大藏當局トシテハ注意シナケレバナラヌ點デゴザイマスノデ、商工省トモ能ク相談致シマシテ、物品稅ノ如キニ付テハ、例ヘバ「デパートメント・ストア」ノ如キニ於キマシテモ、是レノ價格以上ノモノニ付テ稅ガ上ッタノデアルト云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締ニナル以外ニ、稅務當局ト致シマシテモ注意致シマシテ、最モ轉嫁ノ本來起ルベキモノトサレテ居ル物品稅ノ如キニ於キマシテモ、物價ガ稅ニ於テ豫想サレタモノ以上ニ上ラヌヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ノ増稅ニ付テ一般物價ニドウ響クカ、ソレニ依ッテ歲計ノ實行ニ於テ妨げガ起ルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ稅ニ付キマシテモ、物價ガ騰ルコトニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、立案シタヤウナ譯デゴザイマシテ、之ニ依ッテ稅ハ上ッタ、ソレダケニ物價ガ騰ッタノダカラ、此ノ方ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトノキマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是</p>	<p>又注意シテ立案シタ次第デゴザイマス</p> <p>○子爵大河内輝耕君 増稅案ト物價ノ關係ハ、内容ニ入ラナケレバ、十分ノコトガ理解出來マセヌ、今一般的ノ質問デゴザイマスカラ、是レ以上伺ヒマセヌ、增稅以外ニ付キマシテハ之ニ依ッテ稅以上ニ物價ヲ高メルト云フコトハ、大藏當局トシテハ注意シナケレバナラヌ點デゴザイマスノデ、商工省トモ能ク相談致シマシテ、物品稅ノ如キニ付テハ、例ヘバ「デパートメント・ストア」ノ如キニ於キマシテモ、是レノ價格以上ノモノニ付テ稅ガ上ッタノデアルト云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締ニナル以外ニ、稅務當局ト致シマシテモ注意致シマシテ、最モ轉嫁ノ本來起ルベキモノトサレテ居ル物品稅ノ如キニ於キマシテモ、物價ガ稅ニ於テ豫想サレタモノ以上ニ上ラヌヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ノ増稅ニ付テ一般物價ニドウ響クカ、ソレニ依ッテ歲計ノ實行ニ於テ妨げガ起ルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ稅ニ付キマシテモ、物價ガ騰ルコトニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、立案シタヤウナ譯デゴザイマシテ、之ニ依ッテ稅ハ上ッタ、ソレダケニ物價ガ騰ッタノダカラ、此ノ方ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトノキマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 増稅案ト物價ノ關係ハ、内容ニ入ラナケレバ、十分ノコトガ理解出來マセヌ、今一般的ノ質問デゴザイマスカラ、是レ以上伺ヒマセヌ、增稅以外ニ付キマシテハ之ニ依ッテ稅以上ニ物價ヲ高メルト云フコトハ、大藏當局トシテハ注意シナケレバナラヌ點デゴザイマスノデ、商工省トモ能ク相談致シマシテ、物品稅ノ如キニ付テハ、例ヘバ「デパートメント・ストア」ノ如キニ於キマシテモ、是レノ價格以上ノモノニ付テ稅ガ上ッタノデアルト云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締ニナル以外ニ、稅務當局ト致シマシテモ注意致シマシテ、最モ轉嫁ノ本來起ルベキモノトサレテ居ル物品稅ノ如キニ於キマシテモ、物價ガ稅ニ於テ豫想サレタモノ以上ニ上ラヌヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ノ増稅ニ付テ一般物價ニドウ響クカ、ソレニ依ッテ歲計ノ實行ニ於テ妨げガ起ルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ稅ニ付キマシテモ、物價ガ騰ルコトニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、立案シタヤウナ譯デゴザイマシテ、之ニ依ッテ稅ハ上ッタ、ソレダケニ物價ガ騰ッタノダカラ、此ノ方ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトノキマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是</p>	<p>○子爵大河内輝耕君 増稅案ト物價ノ關係ハ、内容ニ入ラナケレバ、十分ノコトガ理解出來マセヌ、今一般的ノ質問デゴザイマスカラ、是レ以上伺ヒマセヌ、增稅以外ニ付キマシテハ之ニ依ッテ稅以上ニ物價ヲ高メルト云フコトハ、大藏當局トシテハ注意シナケレバナラヌ點デゴザイマスノデ、商工省トモ能ク相談致シマシテ、物品稅ノ如キニ付テハ、例ヘバ「デパートメント・ストア」ノ如キニ於キマシテモ、是レノ價格以上ノモノニ付テ稅ガ上ッタノデアルト云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締云フコトヲ、一般的ニ商工當局ニ於テ取締ニナル以外ニ、稅務當局ト致シマシテモ注意致シマシテ、最モ轉嫁ノ本來起ルベキモノトサレテ居ル物品稅ノ如キニ於キマシテモ、物價ガ稅ニ於テ豫想サレタモノ以上ニ上ラヌヤウニ注意致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ノ増稅ニ付テ一般物價ニドウ響クカ、ソレニ依ッテ歲計ノ實行ニ於テ妨げガ起ルカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、個々ノ稅ニ付キマシテモ、物價ガ騰ルコトニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、立案シタヤウナ譯デゴザイマシテ、之ニ依ッテ稅ハ上ッタ、ソレダケニ物價ガ騰ッタノダカラ、此ノ方ニ非常ニ困ルト云フヤウナコトノキマシテ、稅ノ範圍ニ於テ騰ルコトハ、是</p>

資金調整法トハナツテ居リマスガ、其ノ裏面ニ存在シテ居ル大キナモノハ、何ト申シマ

シテモ物ニ關スル關係デゴザイマス、是ハ商工省關係ノ輸出入品等ニ關スル臨時措置

ニ關スル法律ト關聯ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、尙公債ノ發行ト云フヤウナコトニ付

キマシテモ十分ノ注意ヲ拂フ上ニ、全體ト致シマシテ國民精神總動員ト云フヤウナモ

ノヲ中心トシテ、物價ニ響カヌヤウニ、物價が非常ニ高マラヌヤウニ、或ハ貯蓄ノ獎勵デゴザイマストカ、或ハ割増金附債券ヲ出シマシテ、ダブツイテ來タ資金ヲ吸上げルヤウナ仕組ヲ考ヘマストカ、色々ノ處置ヲ執ツテ居ル譯デゴザイマス、我々主トシテ考ヘテ居ル點ハ、政府全體ノ考ト致シマシテ、物ノ調節ト云フコトニ重キヲ置イテ居ル、其ノ物ノ調節ガ臨時資金調整法ナリ或ハ輸出入品臨時措置法デアリマストカ云フ

モノヲ通シ、更ニ爲替管理ト云フヤウナモノニ依リマシテ、對內的ニモ對外的ニモ異狀ニ物價ガ騰ラナイヤウニト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、勿論此ノコトハ政府ダケノ力デ行クコトデハゴザイマセヌシ、國民全體ノオ力ニ依ラナケレバナラヌコトデゴザイマスノデ、政府ト國民ト一致シテ、茲ニ此ノ時局ニ對シテ國民生活或ハ產業ニ關

係ノアル物價問題ヲ處理シタイト考ヘテ居

ルノデゴザイマシテ、大藏省ノヤリ方モ勿論此ノ線ニ副ツテヤツテ居ル次第デゴザイマス

ス

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御答ハ能ク分

リマシタ、ソレデ尙伺ヒマスガ、其ノ前ニチヨット御斷リシテ置キマスガ、アノ地方費

ノ增加、臨時資金調整ニ依ル地方費ノ增加

ノ調ト云フノハ、今内務省ト云フ御話デゴザイマスガ、私ノ伺フノハ、計算ダケノコトデスカラ、大藏省カラ伺ツテ結構デゴザイ

マスカラ、御調ノ付キ次第ドウゾソレカラ次ニ伺ヒマスガ、此増稅案ニ依リマシテ、産業組合ノ課稅ノ制度ハ變更ニナリマシタデセウカ、尙序デニ産業組合ハドレタケ減免稅ノ特典ヲ持ツテ居リマスカ、ソレモ併セテ一ツ承リタイ

○政府委員(太田正孝君) 今度ノ增稅案ノ中ニハ、産業組合ニ對シテ今迄ト變ツタ點ハゴザイマセヌ、第二ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、後刻表ヲ作ツテ申上ゲルコトニ致シマス

○子爵裏松友光君 私ハ是デ止メテ置キ

○子爵大河内輝耕君 私ハ是デ止メテ置キ

○子爵裏松友光君 今回ノ增稅ノ理由ハ、

部分ヲ多クシテ行クガ宜イカ、色々ト考

ヘラレマスルガ、我ガ國ノ現狀ニ於テ稅ノ

ラレナイ狀況ニアリマス、ソコデ稅ヲ抜イ

テ行ツテ宜イカト申シマスト、第一ノ關係ニ

コトデゴザイマスガ、即チ銃後ノ護リトシ

テ戰費ノ一部分ヲ負擔シナケレバナラナイ、

ノ理由ハ我々ノ考ヘテ、當然過ギル程當然ナコトデゴザイマス、併シ增稅ニ於キマ

シテ公債ノ利子ノ支拂ト云フヤウナコトハ

之ニ加味シテ居ルノデアリマスカ、ドウデゴザイマスカ、其ノ點チヨット伺ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 增稅ノ理由ニ付

キマシテハ、衆議院ニ於キマシテモ色々御意見ガゴザイマシタ、又提案理由ノ時ニ大臣カラモ御話シ申上ゲタノデゴザイマス

ガ、是ハ何ト申シマスカ、或意味ニ於テ道

ガ、今裏松子爵ノ仰セニナリマシタ銃後ニ於テ財物ノ御奉公ヲ願ヘル、斯ウ云フ意味

ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ノ今關聯シテ御質問ニナリマシタ公債トノ關係デゴザイマスガ、此ノ財政的ノ理由カラ申シマシタナラバ、斯ウ云フ軍事費ニ付キマシテハ公債一本デヤツテ行クノガ宜イカ、或ハ稅ヲ加味シテヤツテ行クノガ宜イノカ、或ハ稅ノ部分ヲ多クシテ行クガ宜イカ、色々ト考

ヘラレマスルガ、我ガ國ノ現狀ニ於テ稅ノ

二ツヲ加ヘマシテ、今回ノ增稅ノ理由トシタノデゴザイマス、勿論手段トシテドウ云

フヤウナ稅制ノ上ニ手ヲ加ヘテ行クカト云

フコトハ、更ニ租稅ニ於ケル負擔ノ衡平ト

云フヤウナ點ヲ狙ヒトシテ、臨時的デハア

ルガ、餘計儲ケタモノニハ課ケル、御氣ノ毒ナモノニハ減ラシテ行カウ、斯ウ云フ建

於テ申述ペマシタ如ク、銃後ノ國民ニ財的ノ御奉公ヲ願ヒタイト云フ意味デ加ヘルデ、

公債トノ關係ニ於キマシテハ公債ト稅ト二本建ニシテ行ク、然ラバ公債ノ利子ヲ

狙ヒトシテ之ヲ決メテ行クカ、斯ウ云フ問題ニナリマスト云フト、申上ゲル迄

モナク、長期戰ト云フモノヲ狙ヒトスル今ノ財政ガ立テラレテ居ル意味ニ於テ、

經費トシテ出スベキモノハ長期ニ關スル經費ガ考ヘラレマス、又國債ノ利子ト云フ

コトモ考ヘラレマス、ソレカラ或ハ銃後ノ色々ナ施設ヲスルト云フコトモ考

ヘラレルノデゴザイマス、斯ウ云フ全體のノ事實ヲココニ考ヘマシテ、其ノ一部ニ充テタイト云フダケデゴザイマス、之ガ公債ノ利子ヲ必ズ埋メテ行クト云フ意味ニ於

テ今回ノ增稅ヲシタ譯デハゴザイマセヌノデス、斯様ナ道德的意味ト財政的意味ト

二ツヲ加ヘマシテ、今回ノ增稅ノ理由トシタノデゴザイマス、勿論手段トシテドウ云

フヤウナ稅制ノ上ニ手ヲ加ヘテ行クカト云

フコトハ、更ニ租稅ニ於ケル負擔ノ衡平ト

云フヤウナ點ヲ狙ヒトシテ、臨時的デハア

ルガ、餘計儲ケタモノニハ課ケル、御氣ノ

毒ナモノニハ減ラシテ行カウ、斯ウ云フ建

於テ申述ペマシタ如ク、銃後ノ國民ニ財的

ノ御奉公ヲ願ヒタイト云フ意味デ加ヘルデ、

公債トノ關係ニ於キマシテハ公債ト稅ト

二本建ニシテ行ク、然ラバ公債ノ利子ヲ

狙ヒトシテ之ヲ決メテ行クカ、斯ウ云フ問題ニナリマスト云フト、申上ゲル迄

モナク、長期戰ト云フモノヲ狙ヒトス

ル今ノ財政ガ立テラレテ居ル意味ニ於テ、

經費トシテ出スベキモノハ長期ニ關スル經費ガ考ヘラレマス、又國債ノ利子ト云フ

コトモ考ヘラレマス、ソレカラ或ハ銃後ノ色々ナ施設ヲスルト云フコトモ考

テハ、公債ノ利子ヲ必ズ埋メルト云フ意味  
デ、今回ノ増稅案が出來タ意味デハアリマ  
セヌ、左様御了承願ヒマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明ニ依ツテ  
大體了承致シマシタガ、年々公債ハ巨額ニ  
增加シテ參リマスノデゴザイマス、其ノ公  
債ノ利子ヲ増稅ニ依ツテヤルト云フコトガ、  
是ハ原則デナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考へ  
ルノデアリマス、是レ以上ハ意見デゴザイ  
マスカラ、マア其ノ程度デ止メテ置キマス、  
更ニ次ニ伺ヒタイト思ヒマスノハ、長期ノ  
抗戰ニ段々ナツテ行キマスト、今回ノ增稅ハ  
マアソレデ宜イノデアリマスカ、ドウデゴザイ  
キ將來ニ於テ再び増稅ヲスルト云フ風ナ御  
考ガアルノデゴザイマスカ、ドウデゴザイ  
マスカ

○政府委員(太田正孝君) 度々増稅ヲスル  
ト云フコトハ、御言葉ノ通り非常ニ注意シ  
ナケレバナラヌ問題デアリマス、デ、先行  
キノコトデゴザイマスガ、事變ガドウ云フ  
ヤウニ進ンデ行クカト云フコトト、國內ノ  
財政經濟ノドウ云フ風ニ動イテ行クカト云  
フコトヲ睨ミ合セテ、是ハ決メベキ問題ト  
思ヒマスガ、情勢ガ非常ナ變化ナキ限リハ  
更ニ増稅スルト云フ 考ヲ持ツテ居リマセヌ  
○子爵裏松友光君 我ガ國ノ經濟力ト云フ

モノモ隨分發達致シテ居リマス、サウシテ  
各種ノ方面ニ於テ甚ダ發展致シテ居リマス  
カラシテ、今後長期ノ抗戰ニ於テ事態ガ進  
ンデ行クト云フヤウナ場合ニハ、マダヨリ  
多ク之ニ增稅ヲシテモ宜イト云フヤウナ國  
民ノ負擔力、納稅力ト云フヤウナモノハ十  
分ニアルノデヤナカラウカ、此ノコトニ付  
テハ更ニ再検討ヲ爲サル必要ガアリハシナ  
イグラウカ、斯ウ云フヤウニ思ヒマスガ、  
如何デアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 尚負擔ノ餘力ア  
リヤ、斯ウ云フ問題ニ付テハ、直接稅、間  
接稅ヲ通ジテ考ヘテ見マスルト云フト、昨  
年ノ增徵法以來北支事件特別稅、今回ノ增  
稅ト加ヘマスト、相當財界ニ對シテハ強イ  
負擔ノヤウニ存ジマスノデ、デ、今回ノ支那  
事變特別稅法ノ中ニ於キマシテモ、所得稅  
ニ付、或ハ同族會社ノ加算稅ニ付キマシテ、  
一定ノ割合以上ニハ高メナイヤウニシタガ  
宜カラウト云フ 意味ニ於キマシテ、例ヘバ  
法人ニ付テハ七割以上ハイカナイトカ、加  
算稅ニ付キマシテハ、八割以上ハ取ラナイ  
ヤウニシヨウ、十萬圓ノ利益ノアル所デ以  
テハ七萬圓、八萬圓迄取テシマフ、ソレ以  
上ニハ行カヌコトニナツテ居リマスノデ、其  
ノ邊ニ止メテ置クノガ今ノ經濟界ノ實情ニ

合フノデヤナカラウカ、斯ウ考ヘマス程デ  
アリマスノデ、所得稅法ヲ中心トシタ今回  
ノ增稅ニ於テスラ、ソコ迄考ヘタノデゴザ  
イマスカラ、他ノ一般ノ直接稅、間接稅、  
カラシテ、今後長期ノ抗戰ニ於テ事態ガ進  
ンデ行クト云フヤウナ場合ニハ、マダヨリ  
多ク之ニ增稅ヲシテモ宜イト云フヤウナ國  
民ノ負擔力、納稅力ト云フヤウナモノハ十  
分ニアルノデヤナカラウカ、此ノコトニ付  
テハ更ニ再検討ヲ爲サル必要ガアリハシナ  
イグラウカ、斯ウ云フヤウニ思ヒマスガ、  
如何デアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 尚負擔ノ餘力ア  
リヤ、斯ウ云フ問題ニ付テハ、直接稅、間  
接稅ヲ通ジテ考ヘテ見マスルト云フト、昨  
年ノ增徵法以來北支事件特別稅、今回ノ增  
稅ト加ヘマスト、相當財界ニ對シテハ強イ  
負擔ノヤウニ存ジマスノデ、デ、今回ノ支那  
事變特別稅法ノ中ニ於キマシテモ、所得稅  
ニ付、或ハ同族會社ノ加算稅ニ付キマシテ、  
一定ノ割合以上ニハ高メナイヤウニシタガ  
宜カラウト云フ 意味ニ於キマシテ、例ヘバ  
法人ニ付テハ七割以上ハイカナイトカ、加  
算稅ニ付キマシテハ、八割以上ハ取ラナイ  
ヤウニシヨウ、十萬圓ノ利益ノアル所デ以  
テハ七萬圓、八萬圓迄取テシマフ、ソレ以  
上ニハ行カヌコトニナツテ居リマスノデ、其  
ノ邊ニ止メテ置クノガ今ノ經濟界ノ實情ニ

「フランス」其ノ他ニ於テ隨分強イ稅ヲ課ケ  
テ居リマス、又稅收入トシテハ相當入ルモノ  
デアリマスガ、是モ馬場サンノ時ノヤウニ、  
何回轉回シテ行ツテモ之ニ課ケルノガ宜イ  
ノカト云フヤウナコトガ考ヘラレマスノデ、  
サウ云フ色々ナ點ヲ考ヘテ見マスルト云  
ト、俄カニ今ノ經濟界ニ非常ナ刺戟ヲ與ヘ  
ルヤウナ賣上稅モドウカト考ヘラレルノデ  
アリマス、砂糖デアリマストカ、或ハ其ノ  
他ノ現在稅ニ選バレテ居ルモノノ中デ、是

リニナッテ居ルヤウデ、御分リニナッテ居ラ  
ヌヤウナ御話ガアルノデスガ、從來是ハ其  
ノ稅ト云フモノヲ論ズル折ニ、直接稅トカ、  
間接稅トカ云フコトヲ頻ニヤッテ居ツタモノ  
デ、私等モヤッタコトガアルノデアル、ソレ  
ハアルガ、實際今日ノヤウナ場合ニナレバ、  
負擔ノ歸スル處如何ト云フコトガ考ヘナケ  
レバナラヌ、ソレデ直接稅トシテモ、次官  
ノ既ニ御話ノ如クニ、ドノ位ノ部分迄ガ轉  
嫁シテ居ルカ、私ハ大部分ガ轉嫁シテ居ル  
モノト思フ、大衆稅ニナッテ居ル、例ヘバ法  
人ニ稅ヲ課スルト云フノデ、製造會社ガ自  
分ノ組織ヲ合理化シテ、サウンシテ人モ成ル  
タケ餘計ニ使ハナイヤウニシ、或ハ重役ノ  
給料モ減ラシテ、一生懸命ニナッテヤッテ居  
ルカト言フト、サウ云フノモアリマスガ、  
サウデナイモノガ多イノデ、稅ヤ何カハ幾  
イノダ、是ガ實際ナンデス、ソコヲ餘程考  
ヘテ稅ヲ御課ケニナラナイト云フト、イカ  
ハ分ツテ居ルヤウデスガ、凡ソ何デスカ、直  
ヌノデアリマスルガ、今ノ次官ノ御話ダト  
云フト、ソレガ分ツテ居ルヤウデス、裏面ニ  
ハ分ツテ居ルヤウデスガ、凡ソ何デスカ、直  
接稅トシテ今度御取リニナルモノノ申デ、

ト、何チトカ、何百圓ト云フコトハ分ラナ  
イデセウガ、凡ソ何ボトカ云フヤウナコト  
ハ大概見當ガ付イテ居ルト思フ、サウ云フ  
コトガ若シ分ッテ居レバ、御参考ノ爲ニ皆サ  
ンニ御述ニナツテ置イタラ宜カラウト思ヒ  
マス、モウ一ツハ私等ノミナラズ、私共ガ  
交際スル色々々ノ諸君ノ一番心配シテ居ルコ  
トハ、事變ト云フコトデ、多大ノ公債ヲ發  
行シ、サウシテ多大ノ稅ヲ取シテ行ク、是ハ  
已ムヲ得ナイ、已ムヲ得ナイガ、事變ニ便  
乗シテ一事ヲ起セバ必ズ一機關ヲ起ス、官  
衙ヲ起スト云フヤウナコトノ傾ガアツテ、是  
ハ此ノ向キデ行クト云フト隨分複雜シタル  
機關ガ澤山出テ來ルグラウト思ハレルノデ  
アリマスガ、此ノコトハ成ル程今ハ事變ニ  
便乗シテヤツテ居ルカラ、皆ハ彼此唯蔭デ心  
配シテ居ルダケデ、何トモ思ハナイカモ知  
レマセヌガ、是ハドウシテモ戰後整理シナケ  
レバナラヌ、戰後整理シナケレバナラヌ又  
折ニ、人件費ヲ無暗ニ殖シテ、サウシテ色々  
ノ新ラシイ機關ヲ作ッテ、之ヲ整理シヨウ  
ト思ッテモ、ソレハ出來ルモノデハナイ、其  
ノ點ニ付テハ財務當局トシテ非常ニ御心配  
ニモナツテ居リ、御考ニナツテ居ルト、私ハ  
思フノニアリマスガ、是ハ寧ロ質問ヨリカ

御注意ノ方ニナルノデスガ、ドウモ多額ノ事變費ニ便乗シテ人件費ヲ無暗ニ殖シテ、サシテ色々ナ拵ヘナクトモ宜イヤウナ機關ヲ作ルト云フヤウナコトヲナサルヤウナ傾ガアルヤウニ私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フコトニ付テ深甚ノ注意ヲ拂ハレムコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、ソレダケニシテ置キマス

○政府委員(太田正孝君) 稅ノ轉嫁竝人件費ノ膨脹ニ付テノ御注意ハ誠ニ有難ク存ジマス、轉嫁ノ關係ハ御言葉ニモアリマシタガ、實ハ直接稅ト言ハレテ居ルモノデ、隨分轉嫁サレテ居ルモノモアルヤウデゴザイマス、能ク論者ノ例ニ引イテ申シマスル營業稅或ハ營業收益稅ノ如キガ採り上ゲラレルノデゴザイマスガ、是ハ買フ方ナリ、賣ル方ノ力如何ニ依ツテ行クノデゴザイマシテ、何トモ致シ方ノナイヤウナ場合ガゴザイマス、從テ御言葉ノ通リ間接稅ダ、直接稅ダト分ケタト云フコトモ、或意味ニ於テハ意味ヲナサヌ場合ガアルデハナイカ、其ノ通リニ思ヒマスガ、大體ノ目處ヲ御擱ミ下サル意味ニ於テ振分ケテ申上ゲタヤウナ次第デゴザイマス、尙ドノ位ノ率デ行クカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、重要産業統制法等ニ於テ物ノ値段ヲ定メルノニ、商工省

ノ力ガ加ハリ得ル所ハ割合ニ問題ガ片付イ  
問題ニナリマシタ「ビール」ノ値上ノ如キモ  
其ノ一ツデゴザイマス、是モ事前ニ届出ル  
ト云フコトニナツテ居リマセヌノデ、商工當  
局ノ方デモ今ノ法律ノ建前ヲ變ヘテ行シテ  
色々値段ヲ上ゲル時ノ認可ヲ受ケルヤウニ  
シタラドウカト考ヘテ居ルヤウデスケレド  
モ、重要產業統制法デ價格ノ點ニ付テ商工  
當局ガ或力ヲ加ヘテ行ケル部分ハ別ト致シ  
マシテ、其ノ他ノ部分ハ本當ニ今度ノ稅ハ  
斯ウ云フモノデアルト云フコトヲ國民ニ能  
ク申上ダマシテ、サウシテ此ノ際ニ無暗ニ  
上ゲナイヤウニト云フ道徳心ニ訴ヘテ行ク  
ヨリ外方法ハナカラウト思ヒマス、勿論稅務  
當局ト致シマシテモ、其ノ點ニ十分注意致  
シテ行キタイト思フノデアリマス、第二ノ  
御忠告ノ點ニ付キマシテハ其ノ通リデゴザ  
イマシテ、法律ヲ作リ過ギルヂヤナイカ、  
或ハ機構ヲ作り過ギルヂヤナイカ、新聞ニ  
出タ言葉ニ依ルト云フト、法匪トカ、機構  
匪ト云フヤウナ言葉ヲ使ッテ居ルヤウデゴ  
ザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ、時局ニ  
名ヲ藉リテヤルコトハ十分注意シナケレバ  
ナラヌコトハ、主計局等ノ査定ニ於テモ其  
ノ點ハ皆捕ツテ能ク注意シテ居ル次第デゴ

ザイマスガ、尙此ノ上トモ十分注意致シタ  
イト思ヒマス

○森平兵衛君 政府委員ニ御尋ヲスルノデ  
スガ、昨年ノ軍事費ガ二十億圓デアリマ

シテ、ソレニ對スル二十五分ノ一ノ一億  
圓ノ増稅ヲナサッタヤウニ思フノデアリマ  
ス、本年ノ軍事費ハ、過日ノ豫算デ見マス  
ト云フト、四十八億五千萬圓ニナッテ居ル、  
其ノ値段ヲ睨合セテ三億圓ノ増稅ヲセラレ  
ルト云フコトニナルト、昨年ハ二十五分ノ

一、本年軍事費ニ對シテハ十六分ノ一、斯ウ  
云フヤウナ比率ニナルノデアリマス、將來  
此ノ長期抗戰ガ繼續シテ參ル上ニ於テドウ  
云フ比率ヲ以テ増稅ヲナサル、或ハ增收ヲ  
ナサムト云フ御見込デアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 昨年ノ軍事費關  
係ト今日ノ軍事費關係トニ對シマシテ稅ノ  
割合ヲ御示シニナッタノデゴザイマスガ、此  
ノ點ニ付キマシテハ、昨年ノ比率ト今年度  
ノ比率ト違フコトモ御言葉ノ通リゴザイ  
マスガ、軍事費ノ睨合デ之ヲ決メルト云フ  
ヨリモ、一應ノ建前ハ公債デ行キマシテ、  
尙之ニ増稅ヲ附加ヘテ行カウ、斯ウ云フ意  
味デ、比率ヲ以テ行ツタ譯デハナイ、而モ一  
面ニ於キマシテ、此ノ前ノ増稅ノ時ニハ外  
地ノ繰入金ト云フモノハ増稅額ノ繰入以外

ニハ臨時軍資金特別會計トシテハ別ニ増サ  
ナカッタノデゴザイマシタガ、此ノ點ニ付キ

マシテモ、今度ハ軍事費ニ對シテ丁度日露  
戰爭ノ時等デモ特別會計カラ御奉公シタヤ  
ル譯デアリマス、力ノアル所ヲ成ルベク軍  
事費ノ方ニ向ケテ御奉公致シタイ、斯ウ云  
フ意味デアッテ、比率ニ依ッテ之ヲ定メタ譯  
デハアリマセヌ

○森平兵衛君 大體ソレデ了解ヲ得タヤウ  
ナコトデアリマスガ、長期抗戰ニ引續キマ  
シテ、昭和十三年度ニ於テ此ノ事變ガ解決  
スルヤ否ヤハ未定デアリマスルガ、未ダ此  
ノ四十八億五千萬圓ノ金ヲ、矢張リ十三年  
度中ニ是デ賄ヒ得ルカドウカト云フコトハ、  
事變ノ進展ニ依ッテハ分ラナイガ、假ニ此ノ  
四十八億五千萬圓ハ十三年度ニ於テ賄ヒ得  
ルト云フコトニナッテモ、十四年度ニ於テ矢張  
リ繼續スル場合ニ於テ、其ノ時ノ財界ノ狀  
況ニ應ジテ、先刻裏松子爵ノ御尋ニナッタ通  
リ、其ノ以上ノ增稅ハ政府ニ於テ今考ヘテ  
居ラスト云フヤウナ御答辯ノヤウニ承ツタ  
ノデアリマスルガ、果シテ將來無限ノ軍事

費ニ對シテ今日ノミノ增稅力ニ於テ賄ヘル  
ト云フ御見込ガアルノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 先程裏松子爵ニ  
御答ヘ申シタ言葉ガ或ハ足リナカッタカモ  
知レマセヌガ、私ノ申上ゲマシタノハ、軍  
事費ノ進ミ工合ト經濟財政ノ進ミ工合ヲ見

テ、ソコニ睨ミ合ヲ取シテ行キタイト申シタ  
ノデアリマスガ、只今ノ處增稅ヲシヨウト  
云フ考ガナイコトヲ申シタニ過ギマセヌ、  
或ハ多額ノ資金ガ散布スル關係上、今回臨時  
利得稅ニ於テ甲種乙種ナドト分ケテヤッテ  
居ル以上ニ、又考ヘナケレバナラヌヤウナ  
財界ノ狀況ガ起ルト云フ場合ニ於テハ、是  
ハ矢張リ稅ノ上ニ於テ考ヘナケレバナラヌ  
コトト思ヒマス、一般的稅制整理ハシナイニ  
致シマシテモ、時局ニ副フ所ノ臨時的ノ改  
正ハ、始終シテ行カナケレバナラヌ譯デゴ  
ザイマシテ、ソコニ餘力ガ出來マシタ場合  
ニ於テ、之ヲ棄テ置クト云フコトハ、稅  
制カラ言ツテモ、私ハ宜クナイコトト思ヒ  
マス、他ノ一面ニ於キマシテ、此ノ時局デ  
隨分色々ナ統制トカ計畫的ノコトヲ政府ト  
シテ加ヘテ居リマスカラ、ソレニ依ッテ色々  
ナ變化ガ財界ニ加ハリ、或ハ國民生活ニ加  
ガ、假ニ我々ガ協贊致シマシタ豫算ヲ見マ  
ス、果シテ此ノ十三年度中ニ於テ、マダ事  
變ノ進展ノ工合ニ依リマスレバ、是レ以上  
又進展セズニ濟ムコトニナレバ、此ノ五十  
六億圓ガ四十六億圓デ止ルカモ分リマセヌ  
ガ、假ニ我々ガ協贊致シマシタ豫算ヲ見マ  
ス、其ノ以上ノ増稅ハ政府ニ於テ、滑カニ此ノ公  
債ヲ消化シ得ルト云フ何カ自信ヲ御持チニ  
ナッテ居ルト思フノデアリマスガ、ソレニ付  
トヲ得マスレバ、仕合セデアリマス

○政府委員(太田正孝君) 一般會計、特別  
會計、又別口ノ臨時軍事費特別會計ヲ合セ  
テ見マシテ、公債ノ額ガ五十六億二千八百

イマストカ云フ方面モ考ヘテ、軍事費トノ  
關聯ヲ取シテ行キタイト思フノデゴザイマ  
ス、大體大筋ヲソコニ置イテ居ルコトヲ御  
了解願ヒタイト思ヒマス

○森平兵衛君 一昨日御請求ヲシテ置キマ  
シタ公債ノ現在高ノ表ヲマダ戴イテ居リマ  
セヌガ、適當ナル機會ニ御提出ヲ願フノト、  
同時ニ、本日新聞紙ノ報ズル所ニ依リマス  
ルト、十三年度ノ公債發行ノ豫定額ガ、總  
額五十六億二千八百餘萬圓ト云フヤウナ巨  
額ニ上ル數字デアルヤウニ思フノデアリマ  
ス、果シテ此ノ十三年度中ニ於テ、マダ事  
變ノ進展ノ工合ニ依リマスレバ、是レ以上  
又進展セズニ濟ムコトニナレバ、此ノ五十  
六億圓ガ四十六億圓デ止ルカモ分リマセヌ  
ガ、假ニ我々ガ協贊致シマシタ豫算ヲ見マ  
ス、其ノ以上ノ増稅ハ政府ニ於テ、滑カニ此ノ公  
債ヲ消化シ得ルト云フ何カ自信ヲ御持チニ  
ナッテ居ルト思フノデアリマスガ、ソレニ付  
トヲ得マスレバ、仕合セデアリマス

○政府委員(太田正孝君) 一般會計、特別  
會計、又別口ノ臨時軍事費特別會計ヲ合セ  
テ見マシテ、公債ノ額ガ五十六億二千八百

萬圓ニナルコトハ、御言葉通りデアリマス、  
尤モ追加豫算ノ第一號、第三號ニ關スル分  
ノ公債ノ法律ガマダ出テ居リマセヌデ、  
議會ニ於キマシテ御協贊ヲ願ハウツル公  
債ノ發行高ハ、五十六億二千八百萬圓ニナ  
ルノデゴザイマス、是ノ消化ト云フコトハ  
最モ大キナ財政上ノ問題デゴザイマス、デ、  
之ニハ政府ノ手ノ内ト申シマスカ、或ハ預  
金部デアリマスルトカ、或ハ簡易保險デゴ  
ザイマスルトカ、其ノ他ノ特別會計ナドニ  
於テ出來ルダケ持ッテ費フト云フコトハ、是  
ハ第一義デアリマス、殊ニ預金部ノ資金ノ  
中権トナリマス郵便貯金ノ殖エ高ハ、最近  
ニ於テ特ニ強イ足取ヲ見セテ居リマス、イ  
ツモデアリマシタナラバ、十二月頃ハ貯金  
ガ殖エナイノデゴザイマスガ、昨年ハ殖エ  
マシテゴザイマス、本年ノ一月、二月ノ工  
合ヲ見マシテモ、矢張リ殖エテ居リマス、  
一年ヲ通ジテ見マシテモ、年々一億數千萬  
圓シカ殖エナイモノガ、殆ド倍以上ニモナッ  
テ居ルト云フ關係ニナシテ居リマス、デ、預  
金部ト致シマシテモ、昭和十二年度ニ於テ  
次々ニ公債引受額ヲ殖シテ參リマシテ、現  
在四億五千萬圓ニナシテ居リマスルガ、明日  
ノ委員會ニ於テ更ニ五千萬圓ヲ追加シテ、現

是モ五億圓ニスルヤウニシテ居ルヤウナ譯  
デゴザイマス、デ、政府ノ手ノ内ニアル以  
外ノモノハ、無論第一ニ前提トシテ、日本  
銀行引受デ出シテ行クコトハ、是ハ御説明  
申上ダマセヌデシタガ、既ニ御了承ノコト  
ト存ジマス、デ、一般ノ金融機關等ニ於  
テモ、十分消化シテ貰フヤウニ御助力  
ヲ願フ譯デゴザイマスガ、更ニ金融機關以  
外ニ於キマシテモ、一般ノ民衆ニト申シマ  
スカ、大衆ニト申シマスカ、行渡ルヤウ  
ニ、又買ッテ戴クト云フ 意味ニ於テ、郵  
便局ノ賣出ト云フコトモシテ居リマス、明  
年度ノ分トシテ最初ハ二億圓ヲ見テ居リマ  
シタガ、更ニ追加豫算デ御協贊ヲ願ヒマシ  
タ通り、四億圓増シマシテ、六億圓郵便局  
賣出ト云フ方面ニ向ケラレテ居リマス、尙  
一般公募ト云フ コトモ資金ガ潤澤ニ廻リマ  
シタトカ云フヤウナ場合ヲ見込ミマシテ、  
金融機關ノ情勢等ヲ能ク見計ヒマシテ、一  
般公募ノ場合モ用意シテ行キタイ、斯ウ云  
フヤウニ考ヘテ居ル次第ゴザイマス、何  
レニ致シマシテモ、政府ノ直接關係ヲ持ツ  
テ居ル機關ニ依ツテ消化スル、或ハ金融機關  
ニ依ツテ消化スル、而シテ他ノ一面ニ於テ一  
般公募或ハ郵便局賣出ト云フヤウナ場合モ

キマシテハ、他ノ一面ニ於テ何ト致シマシ  
テモ資金ノ蓄積ト云フコトガ大切デアリマ  
スノデ、只今衆議院ニ提示シテ審議ヲ御願  
勵ニ關スル費用モ見積リマシテ、國民精神  
總動員ト相伴シテ、國民ノ財的愛國心ニ訴ヘ、  
貯蓄心ガ増シ、是ガ間接的ニ公債ノ消化ニ  
モ役立ツヤウニ、斯ウ云フ心掛ヲ持ツテヤッ  
テ居ル譯デアリマス、無論政府ノ一存デ斯  
ウ云フコトガ總テ取運ブ譯デハアリマセズ、  
ソレデ財務當局トシテハ一生懸命力ヲ盡シ  
マスガ、國民全般ノ御理解ノ下ニ、此ノ大  
キナ公債ノ消化ト云フコトガウマク進ンデ  
行キタイト考ヘテ居ル次第ゴザイマス  
○森平兵衛君 資本ノ蓄積ニ於テ、追加豫  
算ノ中ニ於テ、郵便ノ積金ヲ獎勵スル爲  
ニ……是ハ所管ガ達フノデアリマスガ、遞信省  
省ノ範圍デ從來少額ノ積金ヲ實行シテオイ  
デニナツタモノヲ相當額ヲ殖シ、又年限モ延  
長シテ、所謂定期積金ノ獎勵ヲ爲サント云  
フコトヲ聞クノデアリマス、果シテサウ云  
フコトヲ遞信省デオヤリニナルトスレバ、  
今日ノ貯蓄銀行ニ於テヤツテ居リマス定期  
積金ト相剋摩擦ヲ來スヤウナ處ガアルト云  
フヤウナコトヲ耳ニスルノデアリマス、私  
共マダ追加豫算ノ數字ヲ十分検討シテ居リ

藏省ノ方ニ於テ遞信省ノサウ云フ企ニ付テ  
ハ同意セラレタノデアリマスカ、又具體的  
ニサウ云フコトヲ爲サツテ、貯蓄銀行トノ相  
剋摩擦ト云フモノハナイノデアリマスカ  
○政府委員(太田正孝君) 御言葉ノ通り、  
郵便局ヲ働くセマシテ行クト云フコトハ、  
据置貯金ノ關係ニ於テ貯蓄銀行ノ積金トノ  
利率ノ關係ガ少シク貯蓄銀行ノ方ガ惡ク  
ナツテ居リマス、御言葉ノ通リデアリマス、  
此ノ點ニ付キマシテハ大分大キナ金ガ散布  
セラレルノデアルカラ、ウマク分野ガ分レ  
テ、貯金ノ集積ニ差支ナイト一應考ヘテ居  
リマスガ、只今ソレデハ困ルカラ、貯蓄銀  
行ノ爲ニ、郵便貯金ノ方ノ利率モ、据置ノ  
關係ノ分ハ確カ法律デナク變ヘルコトガ出  
來ルヤウニナツテ居リマスノデ、ドウシタラ  
宜イカト云フコトヲ只今考慮中デアリマス、  
御言葉ノ點ハ能ク注意シテ居ル次第デゴザ  
イマス

○森平兵衛君 私モマダ十分檢討ヲシテ居  
リマセズニ御質問申上ガタノデアリマスガ、  
唯仄聞スル所ニ依リマスルト、審議會ノ御  
企ニナツテ居リマス點ハ、郵便貯金ノ定期積金ハ、  
積金ガ年三分以上ニナル、現在ノ貯蓄銀行  
ノ不動貯金トカ其ノ他ノ貯金ノ定期積金ハ、

集金人モ居ルケレドモ、年二分二三厘カ、  
二分四五厘迄ニシカナラヌ、其ノ間ニ五厘  
ノ開キガアリマシテ、ドウシテモ郵便貯金  
ニ行クシマフノデ、從來ノ据置貯金ノ基礎  
ヲ危クスルト云フコトヲ聞クノデアリマス  
ガ、又現時ノ戰時狀態ニ於テ非常ニ神經過  
敏ノ經濟界デアリマスカラ、矢張リ官營ト  
民營トノ相剋摩擦ト云フコトハ、出來ルダ  
是ガ確定シテ居ナイヤウデアリマスカラ、  
ドウカサウ云フ時分ニ十分御注意ヲ願ヒタ  
イ、私モマダ十分具體的ニハ調べテ居リマ  
セヌカラ、愈々定マリマシタラ、改メテ御質  
問申上ゲル機會モアラウト思ヒマス  
○政府委員(太田正孝君) 今ノ据置貯金ノ  
利率ト定期積金、月掛貯金ノ利率トノ關係  
ハ、今全體ノ數字ヲ忘レテ居リマスカラ、  
後刻銀行局長カラ細カク申上ゲルヤウニ致  
シタイト思ヒマス、只今ドツチニト云フコト  
ハ考慮中デゴザイマスガ、ドウ云フ……  
○河田烈君 チヨット關聯シテ質問シテ宜  
シウゴザイマスカ

ハ後刻申上ゲマス、丁度森君ノ御質問ガ出  
ガ、是ハ貯蓄銀行ト貯金ノ増加ノ趨勢ト云  
フコトハ、本委員會ノ只今議題ニナッテ居  
ル問題トチヨット離レテ居ルヤウニ思ヒマス  
ガ、只今御質問ガ出マシタノデ、ソレニ關  
聯シテ参考ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、ソ  
レハ今ノ貯蓄銀行ノ定期積金ノ問題ト、郵  
便貯金ニ於ケル定期積金トノ競り合、競争  
ヲシヤシナイカト云フ森君ノ御質問デゴザイ  
マシテ、ソレガ今利率ノ問題ニ付テ政府委  
員トノ間ニ質問應答ガアツタノデゴザイマ  
ス、ソレヲ伺ヒマシテ、誤解ガアツテハナラ  
ヌト思ヒマスノデ、今森君ハ御確定ニナッテ  
居ラヌト心得マスカラ、政府ニ於テモ十分審  
議アラレルヤウ御注意アラムコトヲ希望致  
シマスト云フコトデ、御満足ニナッテ居ルヤ  
ウデアリマスガ、是ハ甚ダ揚足取ミタイン  
ナッテ申譯アリマセヌガ、追加豫算ニ出テ居  
ルヤウデアリマスカラ、其ノ點ノ御方針ハ  
私決ツテ居ルノダラウト思ヒマス、確カ追加  
豫算ノ郵便通信事業特別會計關係ニ於テソ  
レノチヨット豫定經費ガ……ハッキリシ  
タコトハ分リマセヌガ、其ノコトダラウト  
思ヒマスノデ、政府ニ於テハ既ニ御確定  
ニナッテ、豫算ニ出テ居ルヤウデアリマス、

是ハ揚足取デハアリマセヌガ、利率ノコトハソレニ入ッテ居リマセヌノデ、今ノ問題ハ寧ロ此處ニアルノデヤナイカト仄聞シテ居ルノデアリマス、利率ノ問題ハ無論關係アリマスケレドモ、從來郵便局デ取扱ヒマス所ノ定期積立金ハ確カ市制施行地外ト思ヒマスガ、市制施行地ニ、六大都市ニモ施行スルト云フコトガ問題ノ焦點ヂヤナイカト思フノデアリマス、ソレニ關聯シテ貯蓄銀行ト郵便貯金トノ競リ合ヲ生ズル、之ヲ緩和スル意味ニ於テ或ハ利率ノ問題トカニ觸レテ來ルカモ知レマセヌガ、今變更セムトル所ハ其處ニアルノデヤナイカト思ヒマス、ソレデスカラ、今利率ノ問題デ、相剋ト云フ言葉ハ餘り流行スルノデ感心致シマセヌガ、相剋ヲ緩和スト云フ御考ナラバ、願ハクバ政府ガ御決定ニナツテ居ル問題ハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、ソコハ御決定ニナツテ居ル問題ト私ハ承知致シマスカラ、今更仕方ガナイト思ヒマスガ、何カ貯蓄ノ獎勵ノ方法トシテハ、貯蓄銀行ト郵便貯金トガ競リ合シナイヤウナ方法ハ考ヘラレルモノデハナカツタラウカト後カラ思フノデアリマス、是ハ此ノ法案ト直接關係ガゴザイマセヌカラ、只今御即答ヲ願フ譯デモアリマ

カ御考ニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ例ヘバ今ノ例ガ宜イ例ダト思フノデアリマス、從來貯蓄銀行デ行シテ居ル所ノ市制施行地外ニ於ケルヤウナ定期積金、ソレガ市制地ニモ入ツテ來ル、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマスガ、サウ云フ方法ヲ執ラナクテモ、郵便貯金デナケレバ出來ナイ貯蓄方法ガアリハシナイカ、サウ云フ方ニ力ヲ用ヒラレタ方ガ宜イデヤナイカ、是ハ税デハナインデアリマスガ、只今關聯シテ伺ツテ置キタイト思ヒマス、例ヘバ前ニ見タコトガアルノデスガ、貯蓄ノ獎勵ヲスルト云フコトハ、郵便貯金ノ貯金ノ額ノ千圓ノ制限ヲ殖ストカ、色々ノ方法ガアリマセウケレドモ、是ハ郵便貯金ノ平均ガ何デモ七十圓ト云フクトデアリマスガ、是ハ二千圓ニ制限ヲ殖ス必要ハナイカ、郵便貯金ノ如キ零細ナ貯金者ノ信用ノ程度ハ、普通ノ貯蓄銀行ノ信用トハ違フ、今日ハ東京、大阪ノ貯蓄銀行ハ大變良クナツテ居リマスガ、何ト云ッテモ、國ガ經營シテ居リマスル郵便貯金ト、私設會社タル金融機關ノ貯蓄銀行ニ對スル預金者ノ信用程度ハ大キナ差ガアルト思フ、ドウシテモ國ノ信用ガ強イト云フヤウナコトヲ利用シテ、貯金ヲ獎勵スル、例ヘバ今大

變ニ俗ニ謂フ軍需景氣デ或製造會社等ノ職工ノ勞銀ガ非常ニ多イ、恐ラク其ノ職工ニ

金ヲ渡セバ、使ッテシマフ、ソレヲ一部分ハ強制貯金ニ依ッテ貯蓄セシメルト云フ方法

モ考ヘラレル、サウ云フ場合ニ、其ノ貯金ハ、其ノ貯金ノ相手方ガ、債務者ガソコニ

信用ガアッテモ、貯金銀行デアリマスト、マダソレダケノ力ガナイ、サウ云フ場合ニ郵便貯金ガアル、サウ云フ途ガアルノデアリ

マシテ、又必ズシモ今問題ニナッテ居ルヤウナ事柄ニ觸レナクテモ、郵便貯金ノ信用ヲ

利用シテ、貯蓄ヲ獎勵スル方法ハアルノデハナイカト思ヒマス、何カ其ノ點ニ付テ、

此ノ問題デハアリマセヌガ、政務次官ガ御出デニナリマスカラ、御考ガアレバ、此ノ機會ニ於テ伺ツテ置キタイ、尙序デニ伺ツテ

置キマスノハ、今森君カラ質問ガ出マシタガ、郵便貯金ノ増加率ガ多イ、増加率ガ多イケレドモ、申上ゲル迄モナク、郵便貯金ノ増加率ハ、是ハ大部分ハ元ナノ

デアッテ、利子モ多イグラウト思ヒマスガ、數字ヲヨク見マセヌカラ、分リマセヌガ、

其ノ趨勢ハ利子ガナクテモ多カラウト思ヒマス、併シナガラソレヲ一ツ、ソレハドンナ趨勢ニナッテ居ルカ、私此處ニ持ッテ居リ

マセヌガ、郵便貯金ノ増加ノ趨勢ノ數字ハ

他ノ機會ニ於テ入手スル機會ガゴザイマス

ケレドモ、是ト同様ナ貯蓄銀行ノ貯金ノ増加ノ趨勢ハドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、

是モ確カニ多カラウト思ヒマス、之ニ付キ

マシテハ最近數箇月デナシニ、今伺ハヌデモ宜シイノデスガ、御分リニナッタ時ニデ宜

レドモ、何月前後ヨリト申セバ、ハッキリスルノデスケレドモ、ソレハ私覺エテ居リマ

セヌガ、ココ一兩年分、或ハ二三年前ニナリマスカ、伺ヒタイ、ソレハ東京デ一ツカ二ツ、ソレカラ大阪デモアリマシタカ、日本全國デ優秀ナル貯蓄銀行ガ貯金銀行ヲ廢

業シテ普通銀行ニ合併シタノガアルト思ヒマス、確カ東京貯蓄銀行デスカ、第百ト合併シマシタガ、サウ云フヤウナ優秀ナ貯蓄銀行ニシテ貯蓄銀行ヲ廢止シタモノガアリ

マス、其ノ時ノ數字ハ存ジマセヌガ、一時

マスガ、郵便貯金ノ増加率ガ多イ、増加率ガ多イケレドモ、申上ゲル迄モナク、郵便貯金ノ増加率ハ、是ハ大部分ハ元ナノ

デアッテ、利子モ多イグラウト思ヒマスガ、數字ヲヨク見マセヌカラ、分リマセヌガ、

其ノ趨勢ハ利子ガナクテモ多カラウト思ヒマス、併シナガラソレヲ一ツ、ソレハドンナ趨勢ニナッテ居ルカ、私此處ニ持ッテ居リ

マセヌガ、郵便貯金ノ増加ノ趨勢ノ數字ハ

相濟ミマセヌ

○政府委員(太田正孝君) 追加豫算ニ郵便

貯金關係ノモノガ出テ居ルノハ御話ノ通り

モ宜シイノデスガ、御分リニナッタ時ニデ宜

レドモ、何月前後ヨリト申セバ、ハッキリス

ンニ申上ゲマシタノハ、貯蓄銀行利子ト郵

便貯金ノ利子ト、斯ウ云ツタ方面ニ進出シ

セヌガ、ココ一兩年分、或ハ二三年前ニナ

リマスカ、伺ヒタイ、ソレハ東京デ一ツカ二ツ、ソレカラ大阪デモアリマシタカ、日本

全國デ優秀ナル貯蓄銀行ガ貯金銀行ヲ廢

業シテ普通銀行ニ合併シタノガアルト思ヒ

マス、確カ東京貯蓄銀行デスカ、第百ト合

併シマシタガ、サウ云フヤウナ優秀ナ貯蓄

銀行ニシテ貯蓄銀行ヲ廢止シタモノガアリ

○政府委員(入間野武雄君) 只今政務次官アリマシテ、其ノ爲ニ費用ガ出テ居リマスヲ市制區域ニ及スト云フコトモ其ノ通リデ

ガ、ソレハ私申上ゲマセヌ、先程私ガ森サ

シタダケデアリマシテ、又一方ノ市制區域ニ及スト云フコトハ決ツテ居リマス、郵便貯

金ノ增加ノ工合等ニ付キマシテハ表ヲ以テ

御参考迄ニ差上ゲタイト存ジマス、只一般

シタダケデアリマシテ、又一方ノ市制區域

ニ及スト云フコトハ決ツテ居リマス、郵便貯

金ノ增加ノ工合等ニ付キマシテハ表ヲ以テ

御参考迄ニ差上ゲタイト存ジマス、只一般

シタダケデアリマシテ、又一方ノ市制區域

ニ及スト云フコトハ決ツテ居リマス、郵便貯

金ノ增加ノ工合等ニ付キマシテハ表ヲ以テ

御参考迄ニ差上ゲタイト存ジマス、只一般

ノ殖エル工合ニ付キマシテモ、銀行局長カラ大體ノ御説明ヲ致シマス、今ノ利率ノ點

モ銀行局長ガ來マシタカラ、間接トハ申シマスルガ、餘程大キナ問題デゴザイマスカラ、御聽取リヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今政務次官カラ大體ノ御説明ヲサレタノデアリマスガ、市制施行地ニ郵便局ノ月掛貯金ヲヤラセルト云フコトニ付キマシテハ、既ニ豫算ノ御承認モ得テ居リマスノデ、近ク御協贊ヲ得マスレバ、其ノ運ビニナルト思ヒマスガ、只併シナガラ全般的ニ之ヲ推シ及シテ既設金融機關トノ摩擦ヲ生ゼシムルト云フコトハ、餘程當局トシテモ注意シナケレバナラ

ヌト考ヘテ居リマス、從ヒマシテ此ノ實行ニ當リマシテモ、ヨク其ノ貯蓄ヲ獎勵スペキ狙イ所等ヲ考ヘマシテ、適當ニ預金部トモ相談シテ進メテ行キタイト存ジテ居リマモ、只今ノ所ニ於キマシテハ三分三毛六糸カト存ジテ居リマス、是モ相當高率ニ相成ツテ居リマスノデ、此ノ點ニ付キマシテモ實行既設機關ト餘リ競争シテ、摩擦ヲ生ゼシムルト云フコトノナイヤウニ考慮シテ行カケレバナラヌノデハナカト存ジテ居リ

マス、貯蓄獎勵ノ必要ナルコトハ申ス迄モ

アリマセヌ、殊ニ明年度ニ於キマシテ臨時軍事費ノ利子ガアリ、更ニ大キナ豫算ノ支出ガアリマスレバ、相當大キイ金ガ市場ニ出ルコト思ヒマス、之ヲ適當ニ環流サセテ行クト云フコトハ最モ必要ナコトデアルト存ジマスルノデ、郵便局ニ於キマシテモ、亦貯蓄銀行ニ於テモ、或ハ地方銀行ニ於テモ、市街地信用組合ニ於キマシテモ、一體トナツテ貯蓄ノ獎勵ヲシテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマスノデ、郵便局ニ於テ新ラシイ施設ヲスル爲ニ、既設機關ニ非常ナル磨擦ヲ及スヤウナコトハ餘程考ヘナケレバナラスト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ能ク之ヲヤリマスル當局トモ相談致シマシテ、遺憾ナキヲ期シテ行キタイト斯ウ存ジテ居リマス、尙貯蓄銀行ノ預金ノ御尋アリマスルガ、是ハ私共只今的確ナル數字ヲ覺エテ居リマセヌガ、非常ナ割合ヲ以テ増加シテ居ルカト思ヒマス、恐らく郵便貯金ノ増加割合位ノ割合ヲ持ツテ居ルノデハナイカト存ジテ居リマスガ、何レ取調べマシテ、後程御手許ニ數字ヲ差上ガタイト存ジマス

○森平兵衛君 私モ稅法ノ中デ貯金ノコトヲ申上ゲルコトヲ否ムノデアリマスガ、公債償還ニ關聯致シマシテ、御許シヲ得テ申

上ゲタ次第アリマスガ、只今丁度銀行局長ガ御出デニナリマシタノデ、再度申上ゲマスルガ、要スルニ貯蓄銀行ノ方デハ只今定期積金ハ最長五年ニナツテ居ルノデアリマス、今回ハ郵便貯金ノ定期積金ヲ從來ノ區域ヲ擴張セラレマシテ、市制區域迄モ御擴張ニナル、又其ノ期間ヲ十年ノ範圍ニ迄延長ナサルト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、果シテサウ云フコトニナレバ、ドウシテモ只今銀行局長ノ御話デ既設ノモノトハ相剋磨擦ヲ避ケルト云フコトニナレバ、ドウシテモ只今銀行局長ノ御話デ既設ノモノスルガ、何ヲ言フテモ、絶大ナル信用ヲ持ツテ居ラレル所ノ郵便貯金ト、普通ノ貯蓄銀行ノ信用トハ、是ハ申上ゲル迄モナインオデアリマス、サウ云フコトデ、利率モ今日迄ノ處民間デヤツテ居ル所ノ定期積金ヨリハ遙カニ利率ハ好イノミナラズ、最長十年迄入レルト云フコトニナレバ、既設ノ貯蓄銀行ハ立行クコトガ私ハ行カヌグラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、之ヲサルト云フ點ハ、ドウ云フ點ヲ銀行局長ニ於テ御考慮下サルノデアリマスカ、是ハ無論遞信省デヤルコトデアリマスカラ、大藏省ニ直接關係ハナイノデアリマスガ、併シ總テ斯ウ云フコトニ付テハ各省ノ連絡ガアリ

上ゲタ次第アリマスガ、只今丁度銀行局長ガ御出デニナリマシタノデ、再度申上ゲマスルガ、要スルニ貯蓄銀行ノ方デハ只今定期積金ハ最長五年ニナツテ居ルノデアリマス、今回ハ郵便貯金ノ定期積金ヲ從來ノ區域ヲ擴張セラレマシテ、市制區域迄モ御擴張ニナル、又其ノ期間ヲ十年ノ範圍ニ迄延長ナサルト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、果シテサウ云フコトニナレバ、ドウシテモ只今銀行局長ノ御話デ既設ノモノトハ相剋磨擦ヲ避ケルト云フコトニナレバ、ドウシテモ只今銀行局長ノ御話デ既設ノモノスルガ、何ヲ言フテモ、絶大ナル信用ヲ持ツテ居ラレル所ノ郵便貯金ト、普通ノ貯蓄銀行ノ信用トハ、是ハ申上ゲル迄モナインオデアリマス、サウ云フコトデ、利率モ今日迄ノ處民間デヤツテ居ル所ノ定期積金ヨリハ遙カニ利率ハ好イノミナラズ、最長十年迄入レルト云フコトニナレバ、既設ノ貯蓄銀行ハ立行クコトガ私ハ行カヌグラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、之ヲサルト云フ點ハ、ドウ云フ點ヲ銀行局長ニ於テ御考慮下サルノデアリマスカ、是ハ無論遞信省デヤルコトデアリマスカラ、大藏省ニ直接關係ハナイノデアリマスガ、併シ總テ斯ウ云フコトニ付テハ各省ノ連絡ガアリ

○委員長(子爵前田利定君) チヨット皆サニ御許シヲ願ヒマスガ、今森サンノ御質疑ニ政府委員ノ御答ニ關聯シテチヨット一言述べサシテ戴キタイト思ヒマス、想ヒ起シマスト、簡易生命保険ガ出來マシタ時ニ、當時生命保険業者ガ非常ニ其ノ問題ニ反対スルガ、何ヲ言フテモ、絶大ナル信用ヲ持ツテ居ラレル所ノ郵便貯金ト、普通ノ貯蓄銀行ノ信用トハ、是ハ申上ゲル迄モナインオデアリマス、サウ云フコトデ、利率モ今日迄ノ處民間デヤツテ居ル所ノ定期積金ヨリハ遙カニ利率ハ好イノミナラズ、最長十年迄入レルト云フコトニナレバ、既設ノ貯蓄銀行ハ立行クコトガ私ハ行カヌグラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、之ヲサルト云フ點ハ、ドウ云フ點ヲ銀行局長ニ於テ御考慮下サルノデアリマスカ、是ハ無論遞信省デヤルコトデアリマスカラ、大藏省ニ直接關係ハナイノデアリマスガ、併シ總テ斯ウ云フコトニ付テハ各省ノ連絡ガアリ

リマシテ、大藏省ニ於テモ相當御了解ノ下ニ遞信省ガ此ノ追加豫算ヲ出サレタモノト思ヒマスカラ、再度御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) チヨット皆サニ御許シヲ願ヒマスガ、今森サンノ御質疑ニ政府委員ノ御答ニ關聯シテチヨット一言述べサシテ戴キタイト思ヒマス、想ヒ起シマスト、簡易生命保険ガ出來マシタ時ニ、當時生命保険業者ガ非常ニ其ノ問題ニ反対スルガ、何ヲ言フテモ、絶大ナル信用ヲ持ツテ居ラレル所ノ郵便貯金ト、普通ノ貯蓄銀行ノ信用トハ、是ハ申上ゲル迄モナインオデアリマス、サウ云フコトデ、利率モ今日迄ノ處民間デヤツテ居ル所ノ定期積金ヨリハ遙カニ利率ハ好イノミナラズ、最長十年迄入レルト云フコトニナレバ、既設ノ貯蓄銀行ハ立行クコトガ私ハ行カヌグラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、之ヲサルト云フ點ハ、ドウ云フ點ヲ銀行局長ニ於テ御考慮下サルノデアリマスカ、是ハ無論遞信省デヤルコトデアリマスカラ、大藏省ニ直接關係ハナイノデアリマスガ、併シ總テ斯ウ云フコトニ付テハ各省ノ連絡ガアリ

リマシテ、大藏省ニ於テモ相當御了解ノ下ニ遞信省ガ此ノ追加豫算ヲ出サレタモノト思ヒマスカラ、再度御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 御言葉通り、此ノ際ニ資本ノ蓄積ガ欲シイ、公債ノ償還ニモ役立テタイト云フ、斯ウ云フコトデゴザイマス、銀行局長ノ申シマシタ相剋磨擦ヲ無クスルノハ勿論ノコト、分野モ上手ニ定メマシテ、御示シノヤウナ衝突ガ起ラヌヤウニ、良キ結果ヲ得ルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、尙私未ダ詳シク承知シテ居リマセヌガ、ドンナ工合ニ行クカト云フ行キ方ニ付キマシテモ、後刻遞信當局ノ御方ニモ御出デヲ願ヒマシテ、御説明申上ゲルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

リマシテ、大藏省ニ於テモ相當御了解ノ下ニ遞信省ガ此ノ追加豫算ヲ出サレタモノト思ヒマスカラ、再度御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 正午ニナリマ  
シタカラ、一時會議ヲ午後ニ譲リタイト思  
ヒマス、午後ハ一時半カラ開會致シタイト  
思ヒマス

午後零時一分休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ  
開キマス、午前ニ續キマシテ御質疑ノアル  
方ハ御質疑ヲ願ヒマス、チヨット申上ゲテ置

キマスガ、大藏大臣ハ二時半頃カラ御見エ  
ニナルト云フコトデアリマス

○森平兵衛君 私ハ午前ニ月掛貯金ノコト  
デ御尋ヲ致シマシタガ、遞信省ノ貯金局長

カドナタカオ出デニナルト云フコトデアリ  
マシタガ、オ出デニナッテ居リマスカ、マダ  
オ出デニナッテ居リマセヌナラ、後ニ廻シテ  
モ宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ私二三點伺  
ヒタイ、今度衆議院デ修正ニナリマシタ、  
アノ修正ニ依ツテ減收ニ幾ラカナラウト思

ヒマスガ、其ノ金ハ幾ラニナリマスカ  
○政府委員(太田正孝君) 総額デ約千二百

萬圓ニナリマス、其ノ詳細ハ……

○政府委員(大矢半次郎君) 総額デ初年度

ノ減ハ千二百七十萬圓程デゴザイマス、内  
譯ハ所得稅ニ於キマシテ第一種ノ増徵ヲ二

割二分五厘ニ止ムル結果、三百九十九萬圓ノ  
減、アリマス、第三種ノ増徵ヲ二割二分五  
厘ニ止ムル結果六百萬圓ノ減デアリマシテ、  
所得稅ノ合計ハ約一千萬圓ノ減デアリマス、

相續稅ニ於キマシテハ生命保險金ヲ五千圓  
ヲ控除スルコトニ依リマシテ七萬圓ノ減、  
退職手當ヨリ五千圓ヲ控除スルコトニ依リ  
マシテ一千圓ノ減、合計七萬二千圓ノ減デ  
ゴザイマス、入場稅ニ於キマシテ免稅點ヲ

二十三錢ニ引上ゲル結果七十萬圓ノ減デア  
リマス、砂糖消費稅ニ於キマシテハ百斤當  
リノ稅金ヲ十錢程引下ゲル結果ト致シマシ  
テ、百二十萬圓ノ減デゴザイマス、物品稅  
ニ於キマシテハ製造所以外ノ持越品課稅ニ  
付キマシテ、第二種ハ三千圓ヲ超エルモノ  
トシ、酒類ハ三十石ヲ超エルモノトシ、燐  
寸ハ一千本ヲ超エルモノトシ、砂糖ハ二萬  
斤ヲ超エルモノト致ス結果ト致シマシテ、  
六十萬圓ノ減デゴザイマス、葡萄酒ノ稅率

デ、合計致シマシテ、先程申上ゲマシタ千  
二百七十萬圓程ノ減デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 中味ハ要リマセヌ  
ガ、平年度ハドノ位ノ減收デアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 平年度ハ千五  
百二十萬圓程ノ減デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 内容ハ一つ表ニシテ  
御廻シヲ願ヒマス、ソレデ私ノ質問ハ一時  
既ニ通過ヲ致シテ居リマスル有限責任會社  
法ト云フモノガアリマスガ、是ノ取扱ニ付  
キマシテ大藏省ハドウ云フ風ニ御覽ニナッ  
テ居リマスカ

○橋本辰二郎君 此ノ議會ニ提案サレテ、  
既ニ通過ヲ致シテ居リマスル有限責任會社  
法ト云フモノガアリマスカ、止メテ置キマス

○橋本辰二郎君 此ノ點ニ付テハ私ハ是デ  
法ハ兩院ヲ通過致シマシタガ、施行ハマダ  
先ニナルカト思ヒマスノデ、差當リ稅法ノ  
關係ニ於テ此ノ際改正ヲ要スル點ガナイ見  
込デゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 有限責任會社  
額ニ付テノ御說明ヲ承リマシタガ、十二年  
度ニ於テ發行スペクシテ未發行ノモノ、之  
ヲ本年四月一日以後ニ繰越スペキモノガ幾  
ラカアリハシナイカト思ヒマスガ、若シア  
リトスレバ、其ノ額ヲ承リタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 此ノ有限責任會社ト云フ  
モノハ普通ノ株式會社ト御覽ニナリマスカ、  
若シクハ同族會社ト同一ニ御取扱ニナルノ  
デアリマセウカ、其ノ點ニ於テ何等決定シ  
タルコトガ無イデアリマセウカ、有ルデア  
リマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 明細ナ數字ニ關  
係シテ居リマスノデ直グ御答ヘ申上ゲマ  
ス、今調べマシテ居リマスカラ……

○森平兵衛君 大藏當局ニ御尋シタイト思  
ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ  
マス

○政府委員(大矢半次郎君) 有限責任會社  
ニ對シマシテ稅法上如何ニ之ヲ取扱フカト  
云フコトニ付キマシテハ、今後十分ニ考究  
致シタイト存ジテ居リマス、今ノ所ハ具體  
的ニ定ツタ所ハアリマセヌ

○政府委員(太田正孝君) 同族會社ノ件ニ付テ御伺ヲ  
申上ゲタイト思フノデアリマスガ、所得稅  
法ノ第二十一條ニ於テ「同族會社ト稱スルハ  
株主又ハ社員ノ一人及之下親族、使用人等  
ノ合計カ其ノ法人ノ株式金額又ハ出資金額

扱ニ付キマシテ、何カ司法省ノ方カラ交渉  
ヲ受ケタコトハアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ有限責任  
會社法改正案ニ付キマシテハ合議ハ受ケテ  
居リマスガ、課稅ノ方法ニ付キマシテハ具  
體的ニ協議致シテ居リマセヌ

○橋本辰二郎君 此ノ點ニ付テハ私ハ是デ  
居リマスガ、課稅ノ方法ニ付キマシテハ具  
體的ニ協議致シテ居リマセヌ

○子爵大河内輝耕君 内容ハ一つ表ニシテ

御廻シヲ願ヒマス、ソレデ私ノ質問ハ一時  
既ニ通過ヲ致シテ居リマスル有限責任會社  
法ト云フモノガアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 明細ナ數字ニ關

係シテ居リマスノデ直グ御答ヘ申上ゲマ  
ス、今調べマシテ居リマスカラ……

○森平兵衛君 大藏當局ニ御尋シタイト思  
ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ  
マス

○政府委員(大矢半次郎君) 有限責任會社  
ニ對シマシテ稅法上如何ニ之ヲ取扱フカト  
云フコトニ付キマシテハ、今後十分ニ考究  
致シタイト存ジテ居リマス、今ノ所ハ具體  
的ニ定ツタ所ハアリマセヌ

○森平兵衛君 同族會社ノ件ニ付テ御伺ヲ  
申上ゲタイト思フノデアリマスガ、所得稅  
法ノ第二十一條ニ於テ「同族會社ト稱スルハ  
株主又ハ社員ノ一人及之下親族、使用人等  
ノ合計カ其ノ法人ノ株式金額又ハ出資金額

ノ二分ノ一以上ニ相當スル法人ヲ謂フ」ト云  
カデアリマスルガ、此ノ改正法案ノ出來マ  
シタ議會ニ於キマシテ、時ノ政府ノ說明ニ  
依レバ、此ノ同族會社所謂保全會社ハ、要ス  
ルニ財產ヲ保全スル目的ノモノヲ謂フノデ  
アツテ、同族會社ガ事業ヲ起シ、普通ノ商事  
會社ノヤウナ場合ニハ、決シテ之ヲ適用セナ  
イト云フハツキリシタ御答辯ハナイケレド  
モ、サウ云フ意味ノ御答辯ガアツタヤウニ  
思ヒマス、然ルニ其ノ後ノ課稅方法ヲ見マ  
スルト、殆ド、何ト申シマスカ、相當ナ財  
閥或ハ極ク懇意、内輪ナ者ガヤツテ居リマ  
ス事業會社ニ對シマシテモ、此ノ同族會社  
ノ稅率ヲ適用シ、又加算稅率ヲ課稅シテオ  
イデニナル所ガ頗ル多イヤウニ思フノデア  
リマス、政府ハ今日ニ於テ此ノ同族會社ト  
シテ法人ヲ取扱ニナツテ居リマスル數ハ、大  
體法人ノ何割ニ當リマスカ、或ハ又其ノ課  
稅ヲ御認メニナル標準ハ、此ノ點ダケノ法  
律ノ解釋デアリマシテ、唯財產ノ保全ヲ目  
的トスルモノデモ或ハ事業ヲ行ウテ居ッテ  
モ、矢張リ此ノ二分ノ一以上ガ同族ニ限ツ  
テ居ツタナレバ、如何ナル場合ト雖モ之ヲ賦  
課シテオイデニナル現況デアリマスカ、此  
ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 稅法デ同族會  
社ト申シテ居ルノハ、今仰セノ通リデアリ  
マス、而シテ此ノ同族會社ノ數ハ全國的ニ  
見テ甚ダ多イノデゴザイマスガ、實際ノ適  
用ニ當リマシテハ、有價證券、不動產等ノ  
保全ヲ主タル目的ニシテ居リマスル所謂保  
全會社ニ對シマシテハ、原則トシテ總テ之  
ヲ適用シテ居ルノデゴザイマス、保全會社  
以外ノ普通ノ事業會社デアリマスル同族會  
社ニ對シマシテハ、他ノ同族會社ニ非ザル  
一般事業會社トノ權衡ヲ十分ニ考慮致シマ  
シテ、此ノ同族會社ニ對スル加算ノ規定ヲ  
設ケマシタ趣旨ニ鑑ミマシテ、酷ニ瓦ラヌ  
ヤウニシテ居リマス、從ヒマシテ加算規定  
ノ適用ヲ受ケマスルモノハ、保全會社ニ比  
ベマシテ、保全會社以外ノ事業會社ガ遙カ  
ニ少數ニナツテ居ル次第ゴザイマス

○森平兵衛君 殊ニ近來ハ租稅ガ高率ニナ  
リマシタ關係デモアリマスルガ、稅務署ノ  
一般納稅者ニ對スル調査ガ頗ル嚴重ニナツ  
テ參リマシタノデ、從ツテ個人ノ營業ガ段々  
少クナリマシテ、法人ニシテソレデ商業帳  
簿ヲ備ヘテ以テ課稅ニ便ナランシメルト云フ  
方法ニ趨イテ參リマスコトハ、國家ノ爲是  
ハ喜ブベキ現象ト思フノデアリマス、就中  
此ノ中小商工業者ニアリマシテハ、從來、

ニ參リマスルト苛斂誅求ト云フヤウナ聲ガ多クアリマシテ、個人ノ商店ニ依リマスレバ、帳簿ヲ提出致シマシテモ、尙課稅率ノ主張ガ通ラヌト云フコトガ多イ爲ニ、中小商工業者ガ漸次法人ニ改メラレルコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ中小商工業者ノ法人ト申シマスノハ、前刻申上ゲマシタ通リ、同族會社ガ多イノデアリマス、内輪デ以テ、三萬圓デモ五萬圓デモ十萬圓デモ、サウ云フ小サイ會社ヲシテ、商業帳簿ヲ備ヘ、正シイ課稅ヲ受ケヨウト云フニ外ナラヌノデアリマスルガ、斯ウ云フヤウナモノハ、同族者ガ財產保全ノ爲ニヤツテルノデナクシテ、專ラ小賣商トカ、卸商トカ、或ハ中間營業ト云フヤウナコトデヤツテル者ガ多イノデアリマス、或方面ニ行キマスト、斯ウ云フモノヲ、前刻申上ゲマシタ通り、財產保全ノ爲ニヤツテルノダ、而モ大部分ハ内輪デナイカト云フヤウナコトデ、ナカヽヽ是ハコチラノ主張ハ容レヌト云フコトヲ聞クノデアリマスガ、只今主稅局長ノ話デハ、成ルベクサウ云フモノニ對シテハ、財產保全ノ意味ヂヤナイカラ、同族會社ノ課稅ヲ避ケルコトヲシテ居ルト云フコトデ、中央ノ方デハ、サウ云フコトハ大變御了解ニナッ

ノ收稅官吏ニ至リマスルト、政府ノ趣旨ノ徹底セナイ處ガアルノデアリマス、何モ是ハ私ガ今日申上ゲルダケヂヤナイ、年々斯ウ云フ聲ヲ聞キマシテ、幾ラカデモ是ハ薄ラグカト思ヒマスト、薄ライデ居ラヌ、相變ラズスウ云フ不平ヲ聞クノデアリマスノデ、是ハ全然法律ノ正面カラ、二分ノ一以上持ッテ居レバ、事業會社ト云ヒ、保全會社ト云ヒ、ソンナコトニ頓着ナク、同族會社トシテヤルト云フコトニナレバ、却テハツキリスルノデアリマスルガ、是ハ私ハ稅法ノ改正ノ時分ノ御趣旨ハ決シテサウ云フモノデハナイ、或ハ土地ヲ持ッタリ、株ヲ持ッタリ、或ハ社債ヲ持ッタリシテ、唯財產ノ保全ダケスルモノニ適用スルヤウニ聞イタノデアリマス、何等カスウ云フ方面ニ於テ緩和策デモ御講ジニナルヤウニハ出來マスマイカ

保全會社ニ付キマシテハ、原則トシテ總テ加算規定ヲ適用シテ居リマスルガ、保全會社以外ノ事業會社ニ對シマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、他ノ類似ノ事業ヲ營ンデ居ル會社トノ權衡ヲ十分考ヘマシテ、ソレ等ノ類似ノ會社ノ收益狀況、配當率ト云フモノヲ能ク考慮致シマシテ、大體同程度ノ配當ヲ致シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、此ノ規定ノ適用ヲ見合ハシテ居ル次第デゴザイマス、而シテ各稅署ニ此ノ認定ヲ自由ニ委シテ居ルト云フト不衡平ニナル虞ガアリマスルノデ、加算規定ヲ適用スル場合ニハ、總テ稅務署限リニ於テ行ハズニ、稅務監督局ニ稟議セシムルヤウニシテ居リマス、ソレカラ主要ノ會社ニ付キマシテハ、更ニ稅務監督局ノ方カラ大藏省ニ稟議スルヤウニシテ、主稅局ニ於テ、全國ノ主ナルモノノ權衡率ヲ圖ツデヤル、大藏省ニ迄稟議シテ來ナイモノニ付テモ、各稅務監督局ニ於テハ、大藏省ノ此ノ主要法人ニ對スル課稅ニ見做ツテ、十分管内ノ權衡ヲ圖ル、斯ウ云フヤウニ致シテ居ル次第ゴザイマス、尙昨年ノ臨時租稅增徵法施行以來、法人ノ負擔が相當增加シテ參リマシテ、從ツテ大正十一年、此ノ加算規定ノ制度ヲ設ケマシタ時トハ餘程狀況ガ違ツテ來テ居リマス、從ヒマ

シテ事業會社ニ對スル適用ニ當リマシテハ、是等ノ點モ將來十分考慮シテ無理ノナイヤウニ課稅ヲ致シタイト存ジテ居リマス  
○森平兵衛君 同族會社ニ對スル質問ハ此ノ程度ニ止メマシテ……

○委員長(子爵前田利定君) チヨット森君ニ申上ゲマスガ、貯金局長ガ見エテ居リマスカラ……

アリマス、要スルニ只今ノ間ニ對スル御答辯ニ付キマシテハ、多少緩和ラシ居ルカノヤウナ御話ノヤウニ承リマシタ、而モソレハ其ノ時ノ稅務署ノ判断ニ任セルカノヤウニ聽取リマシタノデ、其ノ點ヲハッキリ致シマシテ、事業會社ニ對シテハ、他ノ普通法人ト同一ノ取扱ヲシテ居ルカ否ヤト云フコトニ付キマシテ、ハッキリシタ御答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君)

同族會社ニ非

ザル普通ノ事業會社ニ對シマシテハ、加算稅ノ適用ヲスル譯ニハ參ラヌノデアリマス、是ハ法律上サウナッテ居リマスカラ、其ノ點ハドウシテモ同族會社デ事業ヲ營ンデ居ル會社ト、同族會社ニ非ズシテ事業ヲ營ンデ居ル會社ト、全ク同一ニ取扱フ譯ニハ行カ

○橋本辰二郎君

モウ一ツハッキリ承リタ

イデスガ、事業會社ニ付テ保全會社ト異ナル取扱ヲシテ居ラレルト云フ御答辯デアリマスガ、具體的ニ是レノコトハ斯ウ云フ風ナ取扱ヲシテ居ルト云フ御説明ヲ御願シタイモノト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君)

先づ取引所デ

上場セラレテ居ル株ノヤウナモノニ對シテハ、此ノ會社自體ニ對シテハ、此ノ加算規定ノ適用ハシテ居リマセヌ、ソレカラ銀行トカ信託會社トカ、保險會社ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、是等ノ特殊性ニ鑑ミマシテ適用ヲ致シテ居リマセヌ、ソレカラ株主ノ數ハ相當多クテ、而モ同族デ所有シテ居ル割合が全體ノ株式ニ對シテ過半ニハナツテ居ルケレドモ、ソレ以上餘リ多クヲ出

アリマス、要スルニ當リマシテハ、ドウシテモ同族會社ニシマスト云フト、一般事業會社ガ或程度ノ利益ガアリマスレバ、何割カ普通配當スルノデアリマスガ、同族會社ノ中ニハ利益ガ相當アリ、積立金モ相當ニアルニ拘ラズ、全然配當シナイ、或ハ極メテ少シ位シカ配當シテ居ナイト云フ會社モ多少アルノデゴザイマスカラ、斯ウ云フモノニ對シマシテハ、此ノ立法ノ趣旨ニ鑑ミシテ、加算規定ノ適用ヲ致シテ居ル次第アリマス

○橋本辰二郎君

モウ一ツハッキリ承リタ

イデスガ、事業會社ニ付テ保全會社ト異ナル取扱ヲシテ居ラレルト云フ御答辯デアリマスガ、具體的ニ是レノコトハ斯ウ云フ風ナ取扱ヲシテ居ルト云フ御説明ヲ御願シタイモノト思ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君)

先づ取引所デ

上場セラレテ居ル株ノヤウナモノニ對シテハ、此ノ會社自體ニ對シテハ、此ノ加算規定ノ適用ハシテ居リマセヌ、ソレカラ銀行トカ信託會社トカ、保險會社ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、是等ノ特殊性ニ鑑ミマシテ適用ヲ致シテ居リマセヌ、ソレカラ株主ノ數ハ相當多クテ、而モ同族デ所有シテ居ル割合が全體ノ株式ニ對シテ過半ニハナツテ居ルケレドモ、ソレ以上餘リ多クヲ出

算規定ノ適否ヲ決メテ居ル、斯ウ云フ次第

テ居ナイト云フヤウナモノニ對シテモ適用  
ハ致シテ居リマセヌ、ソレカラ利益ガ資本  
ニ對シテ相當多ク出テ居リマスケレドモ、  
矢張リ一割五分トカ、二割トカ、三割トカ、  
相當多ク配當シテ居リマシテ、同種ノ事業  
會社ニ於キマシテノ此ノ程度ノ利益ガアレ  
バ、大體此ノ程度ノ配當ヲシテ居ルト云フ  
ヤウナ狀況ニアルモノニ對シテハ、是モ亦  
適用シテ居ナイノデアリマス、二三例ヲ舉  
ゲマスト、サウ云フコトニナリマス

○橋本辰二郎君 其ノ程度ノ御答辯デ……

マダ他ニ機會ガアリマシタナラバ、モウ少

シ承リタイト思ヒマスガ、元來日本ノ事業

會社デ其ノ質ヲ嚴密ニ調べレバ、同族會社

ノ性質ヲ帶ビザルモノハ殆ドナイト言ッテ

モ可ナリト思ヒマス、ソレハ株主ノ多少、資

本ノ大小ハアリマセウケレドモ、ヨク御考

ヘニナツテ見テモ、分ルト思ヒマスガ、日本ノ

大事業ト云フモノハ、三井、三菱、住友トカ、

安田トカ、サウ云フ一種ノ資本系統ニ依ッテ

大抵統制セラレテ居リマスノデ、皆表面ハ

株式會社ニナツテ居リマスケレドモ、其ノ實

體其ノモノハ保全會社デアリヤセヌガ、同

族會社ト同ジ性質ヲ帶ビテ居ルモノト思フ、

若シモ同族會社ノ適用ヲ嚴重ニヤラレルト

云フコトニナレバ、總テノ會社ガ皆其ノ適

用ヲ受ケナケレバナラヌコトニナルト思  
ヒマス、ソレデ此ノ同族會社ト他ノ事業會  
社トノ取扱ハ、先程森サンモ御話シ申シ、  
アナタモ御答辯ニナツタ單ニ財產ノ保全ヲ  
専ラニスルモノノミガ同族會社ノ適用ヲ受  
ケテ、他ノ事業會社ニ向ツテ迄之ヲ適用ス  
ルノハチヨット酷デハナイカト思ヒマスガ、  
御承知ノ通り、事業經營ト云フモノニハ相  
當危險ガ伴フモノデアリマシテ、又此ノ危  
險ヲ冒サケレバ、決シテ事業ハ發達シナ  
イノデアリマスカラ、是ハ產業政策ノ上カ  
ラモ少シハ考ヘルベキモノト思フノデアリ  
マス、ソレデモウ一應ヨクハッキリト、事業  
ノ性質ニ依ッテハ、是ハ普通ノ法人ト同一  
ニ取計シテモ差支ナイト云フ其ノ範圍ヲ成  
ルベク廣クシテ、サウシテ稅額ノ決定ニ當ッ  
テハ要リマセヌ、私ノ之ニ對スル質問ハ終  
リマス

○森平兵衛君 遅信省ノ貯金局長ガオ出デ

ニナリマシタカラ、質問ヲ簡單ニ申上ゲマ

スガ、今回遅信省ノ方ニ於キマシテハ、追

加豫算ニ於テ相當ノ金額ヲ計上セラレ、仄

聞スル所ニ依リマスト、貯金局デハ割當ガ

約五十萬圓、其ノ中ノ三十萬圓ハ何ト申シ

成ルベク民營ノ保險會社トハ相剋摩擦ヲ避

之ノ獎勵ト申シマスカ、勸誘ト申シマスカ、

トヲ聞クノデアリマス、午前中ニモサウ云

コトヲ大藏省ノ政府委員ニ御質問シタノ

デアリマスガ、十分要領ヲ得ルコトガ出來

ナカツタノデアリマス、既ニ郵便貯金ノ年々

増大シテ居リマスコトハ現實ノ通リデアリ

マシテ、是ハ御承知ノ通り、時局ニ伴ヒマ

シテ國民ノ貯蓄ヲ獎勵スル、サウ云フコト

ノ實行機關ト致シマシテハ、各官廳トカ、

或ハ銀行會社、工場、礦山、又婦人團體ト云

フヤウナモノニ貯金組合ヲ組織セラレマシ

テ、貯金ヲ獎勵ナサツテ居ルト云フコトハ、

是ハ我々モ時局上必要ナモノト思フノデア

リマス、斯ウ云フ點ニ對シマシテハ別段私

共ハ異議ヲ申上ゲルコトハナイノデアリマ

スルガ、今回此ノ月掛貯金ヲ市街地迄御擴

張ナサレ、ソレデ貯蓄ヲ獎勵セラレテ居ル

ト云ヒマスルコトハ、一面矢張リ民營ノ貯

蓄銀行トノ相剋摩擦ヲ生ズル虞ハナカラウ

カ、斯ウ思フノデアリマス、今回政府ニ於

此ノ間ニ約七厘、カリノ利鞘ガ出來マシテ、

ソコニ政府ト云フ絶大ナル信用ガアリマス

ルモノガ、而モ郵便局ト云フモノガ、全國

津々浦々迄支店出張所ト云フヤウナモノヲ

設ケル必要モ何モナイ、郵便局ヲ總動員ナ

サルナラバ、非常ニ私ハ之ニ對シテ效果ガ  
アルト信ジテ居ルノデアリマス、サウスレ  
バ一方既設ノ民營ノ貯蓄銀行ハ之ニ對シテ  
非常ナ打撃ヲ受ケルヤウニ私ハ考ヘルノデ  
アリマス、政府ハ果シテサウ云フコトヲ御  
考ニナツテ居ルカドウカ、先刻大藏省ノ政府  
委員ノ御説明デハ市街地ノ方へ擴大セラレ  
ルト云フコトハ聞イタノデアルガ、此ノ利  
率ガ果シテ此ノ年利三分三毛六糸デアルカ  
ドウカト云フコトハ、十分コチラノ方デモ  
マダ検討シテ居ラヌト云フ御返事デアリマ  
シタノデ、午後ハ遞信當局ニ御出席ヲ煩シ  
マシテ、其ノ御明答ヲ得タイ、斯ウ云フコ  
トヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

リマスシ、又月掛貯金ノ利率ガ定期積金ノ利廻ニ比較シマシテ、幾分有利ト致シマシテモ、此ノニツハ多少性質ガ違ヒマスシ、定期積金ニハ預金者ニ貸付ノ利便モアリマスルガ、反対ニ貯金ノ方ニハ左様ナ利便方ナイ、而モ金額ニ付キマシテモ制限ガアルノデゴザイマシテ、最高ガ一箇月十圓デ、十年間認メテ居リマスカラ、月掛貯金ノ一番多イノニ致シマシテモ、千二百圓位ニシカナラナイノデアリマス、サウ云フヤウナ點ガアリマスルノデ、今回ハ市街地ノ方ヘ擴張致シマシテモ、利用ガ一方ニ偏スルヤウナコトガナイノデハナイカト存ジテ居ルノデアリマス、假ニ月掛貯金ノ取扱擴張方モ、多額ノ資金散布ノ目下ノ状況ヨリ見マスト、其ノ影響ハ極メテ輕微ト存ジテ居ルノデアリマス、併シオ話ノ點モゴザイマスルノデ、實行上ニ於キマシテハ競争ノ如キヤウナコトハ避クルコトニ付キマシテ十分考慮致シタイト存ジマス、今チヨット御参考迄ニ申上ゲマスト、民間デヤッテ居リマス定期積金ノ方ノ一人當リノ金額ハ二百八十餘圓位ニナシテ居ルノデゴザイマスガ、郵便局デ致シテ居リマス月掛貯金ノ方ハ九十圓位ニシカナッテ居ナイヤウナ狀態デアリマス

ノデ、分野ト云ヒマスカ、預金ナリ貯金スル層ガ違フノデアリマシテ、サウ大變影響ガナイヤウニ存ジテ居リマス  
○森平兵衛君 只今遞信當局ノ御答辯ハ、  
民營ノ貯蓄銀行ニ影響ガナイグラウト云フ  
ヤウナ、所謂想像ノ御返事デアリマシテ、  
ニ相剋摩擦ガ甚ダシイモノデアル、ソレノ  
ミナラズ、此ノ貯蓄銀行ノ方カラハ最長五  
箇年ヨリイカナイノデアリマス、金高ハ制  
限ガナイノデアリマス、ソレデ只今當局ノ  
御説明モ貯蓄銀行ノ定期積金ハ二百八十圓  
ダト云フコトニナレバ、是ガ一千圓トカ二  
千圓ト云フコトニナレバ、大シテ相剋摩擦  
ガアリマセヌガ、二百八十圓ト云フコトニ  
ナッテ、今度ハ最高ガ千二百圓、要スルニ現  
金ダケガ一箇月十圓ヅ、十年間ト云フコト  
ニナレバ、此ノ間ノ金高ト少シモ差異ガナ  
イノデアリマス、而シテ今日ハ低利金デア  
リマスノデ、都會モ農村モ一帶ニ金利デ食  
ベテ居ルト云フ人ハ、モウ殆ド一厘デモ高  
ク預ッテ貴フ所ヘ向ケテ、極端ニ申シマスレ  
バ、少々信用ガ悪クテモ、其ノ方ヘ向ケテ  
預金ナリ積金ガ流レテ行クト云フヤウナコ  
トハ、御承知ノ通リデアリマス、然ルニ今  
回ハ貯蓄銀行、如何ニ信用ノアル貯蓄銀行

ト申シマシテモ、國家ノ方ガ利率ガ高ク、而モ便利ガ宜イト云フコトニナレバ、必ズテ行ツテ居ルノデアリマス、之ニ相剋摩擦ガ少イト云フコトハ、ドウシテモ私ハ言ヒ得ラレヌノデアリマシテ、既ニ斯ウ云フ市街地へ向ケテ擴大スルト云フコトノ御方針ガ、時局上必要デアルト云フコトナレバ、私共ハ是迄モ阻止スルト云フコトハ申シマセヌガ、兎ニ角民間ノ貯蓄ノ積金ノ利息ト、郵便局デオヤリニナル月掛ノ貯金ノ利息トニ於テハ、郵便局ノ方ガ下デアルト云フヤウナコト迄御考ヲ願ハヌト云フト、非常ニ私ハ打撃ヲ受ケルモノデアラウト思フノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ出來ルダケノ御考慮ニ預リタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、幸ニ此處デ御答辯ガ得ラレマスレバ、非常ニ私ハ仕合セト思ヒマス

テ貰ヒタイ、寧ロ郵便貯金ハスウ云フ方面ニ、普通ノ郵便月掛貯金ハスウ云フ方面へ行クト云フ風デ、雙方何ト申シマスカ、國家ノ非常時ニ處スル所謂公債消化ノ一端ニ資スル爲ニ、出來ルダケ轡ヲ竝ベテ國家ノ爲ニ盡スト云フ方法ヲ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウ云フコトヲ希望致シマシテ、遞信當局ニ對スル質問ハ終ルコトニ致シマス

○河田烈君 モウ一點簡單ニ一ツ、私ハ全ク此ノ問題ヲ深ク此ノ委員會デ觸レルコトハ好ム者デアリマセヌガ、丁度好イ機會ト思ヒマスノデ伺ヒマス、今御話ヲ伺ッタノデアリマスガ、遞信當局ノ説明ニ對シテ二點ダケチヨット簡單ニ参考ニ伺ッテ置キタイ、第一點ノ今、森君モ言ハレタ相剋ノ起ラナイヤウニ事務上スル、又サウ云フコトハサウ云フ場合ニハ起ラヌグラウト云フ例トシテ、初メニ舉ゲラレマシタ貯蓄銀行ニ於テ行ッテ居ル所ノ月掛貯金ニ於テハ貸付ノ便法モアルシト云フコトデアリマスガ、月掛貯金ノ契約者ニ對シテ貸付ヲスルト云フ方法ヲ貯蓄銀行デヤッテ居ルヤウデアリマスガ、ソレハドウデゴザイマセウカ、ソレヲヤッテ居ル銀行ノ方ハ少イノデヤアリマセヌカ、又ソレヲヤッテ居ル貯蓄銀行ノ數ガ假

ニ多イニシマシテモ、ソレニ伴フ所ノ預金額ニ比較シテ見ルト、月掛貯金ニ對シテノ資付ハ、私能ク存ジマセヌガ、貸付ノ便法ヲヤッテ居ナイ方ガ多イノデヤゴザイマセウ考ヘルノデアリマス、サウ云フコトヲ希スカ、事實ガ達ツテ居ルカハ知リマセヌガ、チヨット疑問ヲ起スノデスガ、ソレカラ其ノ點ト、第二點ハ是ハドウモ豫算委員會デ御質問スベキコトデアッテ、此ノ委員會デ御質問スルノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、チヨット御許シヲ願ヒタイノデスガ、此ノ今回ノ月掛貯金ヲ郵便局ニヤラセテ、市街地迄擴張セラレル動機ハ、貯金獎勵ノ目的デアルノデスカ、他ニ何カ目的ガオアリニナルノデスカ、其ノ一二點ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(荻原丈夫君) 定期積金ノ貸付ヲヤル銀行ト、貸付ヲヤラナイ銀行ノ數ノ御話デゴザイマスガ、詳シイコトハ存ジマセヌガ、大體半々位ニナッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレカラ月掛貯金ノ獎勵方法トシテ之ヲ考ヘ、貯金ガ殖エレバ、從ツテ公債ノ方ニ廻ツテ來ル、反射的ニサウナル、ケレドモ、目的ハ貯蓄ノ獎勵デ

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヘ申上ゲマスガ、一口デ言ヘバ、今御質問ノ結論ニナリマス譯デアリマス、衆議院ノ修正ニ付キマシテハ、色々之ヲ理論カラ申セバ、必シモ同意致シ兼ネルヤウナ點モナイデハアリマセヌ、併シ大體ノ立案ノ根幹ニ觸レルヤウナ修正デモアリマセヌ、又修正ニ依リマシテ收入ガ減リマス結果ニ相成リマスルガ、ソレハ併シ只今ノ財政上ノ計畫ノ是亦根幹ニ觸レルヤウナ程度デモアリマセヌノデアリマス、只今ノ場合ト致シマシテハ、貴族院ニ於テ修正案ニ御賛成デアリマスルナラバ、ソレニ依ツテ實行ヲシテ參ル、斯ウ云フ院ニ於テ修正案ニ御賛成デアリマスルナラバ、ソレニ依ツテ實行ヲシテ參ル、斯ウ云フ考デゴサイマス

○子爵大河内輝耕君 大藏大臣ニ伺ヒマスアル、斯ウ解釋シテ宜イノデアリマスカ、分リマシタ、次ニ伺ヒマスルガ、此ノ度ノ増稅案ノ增稅額ノ程度ハ餘リ根據ガナイト云フヤウニ先程伺ッタ、根據ト云フノハ財

ガ消エナイトカ云フヤウナ意味デナク、道  
徳的ノ意味ヲ加算シテ居ル、入ッテ居ルト云  
フ風ニ伺ッテ居ル、サウシマスルト、是ハ或  
ハ議論ニナルカ知レマセヌガ、私ノ見タ所  
デハ、斯ウ云フ風ニ財政ガ逼迫シテ來テ居  
ル以上、ドウシテモ増稅ナドヲスルニハ財  
政ト云フコト、一番先ニ財政經濟ノ方面ヲ  
考ヘナケレバナラヌモノト思フ、ソレハ併  
シ十分御考ニナツタコトグラウト存ジマス  
ルガ、一番虞レル所ハ、斯ウ云フ風ニ増稅ニ  
重ネルニ増稅ヲ以テシテ行ク、而モソレハ  
財政的ノ根據ガアル譯デハナイ、此ノ位デ  
宜カラウト思フダケ取ルノダト云フヤウナ  
コトニナリマスト、今一般ニ濫費ヲ獎勵ヲ  
スル、先程先輩ノ方カラモ御尋ガアリマシ  
タヤウニ、餘計ノ問題ヲ便乘スルト云フコ  
トガドウモアリマス、斯ウ云フヤウナ增稅  
ノヤリ方デハ濫費ヲ獎勵シテ來ルカラ、寧  
ロ此ノ際増稅ヲ見合セテ、將來先ノ目處ガ  
立ツタ時ニ、チヤント增稅ヲ決スラレテ行ク  
ト云フコトノ方ガハツキリシハシナイカ、一  
ムトシテモ、分ル人ニハ分リマスケレドモ、  
分ラナイ人ニハ分ラナイデ、ソンナ餘裕ガ  
アルナラ、コツチヘ向ケロ、アツチニ向ケロ

ト云フコトデ、ナカノ減スト云フコトハ  
ムツカシイ、人間ヲ減スト云フコトト税ヲ  
ソレデアリマスカラ、其ノ時迄御見合セニ  
ナツテ、其ノ時ニナツテ、チャントシタ増税  
案ヲ立テルト云フコトモ一ツノ見方デアラ  
ウト思ヒマス、私ハサウ別ニシロト云フ譯  
デモアリマセヌ、スルナト云フ譯デモアリ  
マセヌガ、此ノ考ニ付キマシテ大藏大臣ノ  
御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 私モ今此ノ増税  
ニ付キマシテハ、財政計畫ノ根幹ニ觸レル  
程ノモノデナイト云フコトヲ申上ゲマシ  
タ、其ノコトハ今御質問ノ中ニアリマスヤ  
ウニ、三億一千萬圓ナラ三億一千萬圓ト云  
フモノハ、カツキリ致シテ、是ガ少シモ引ケ  
ナイヤウナ、キチンシタ財政ノ計畫ガナ  
イト云フコトニナルト云フ御話ハ、洵ニ其  
ノ通リデアリマス、併シナガラ何故ニサウ  
云フ状況ニナリマスカト云フ理由カラ申セ  
バ、益々政府ハ所謂濫費ト申シマスルカ、此  
ノ際ニ経費ヲ便乗シテ使フト云フコトガ出  
来ナイ、極メテ慎ムベキ必要ガアルト云フ  
寧ロ結論ニナルト思フノデアリマス、ト申  
上ガマスノハ、財政ダケノ立場カラ申上ガ  
マスレバ、公債ヲ募集致シマセヌデ、出来

ノ際ニ於テ國民ノ經濟ニ、財政ダケノ立場  
ナラバ別デアリマスガ、經濟ニ惡影響ヲ及  
シマスト云フコトハ、戰時ニ於テハ有ラユ  
ル經濟力ヲ事變目的ニ集メテ進ム際ニ於テ  
極メテ慎ムベキコトデアリマスカラ、出來  
ルダケ多額ノ増稅ヲスルト云フ要求ト、國  
民ノ經濟ニ惡影響ヲ與ヘナイト云フ此ノ要  
求、尙國民生活ノ壓迫ト云フコトモアリマ  
ス、其ノ調和點ニ於テ增稅スルコトニナラ  
テ支辨致シマスモノハ戰費ノ極メテ一部デ  
アリマス、餘リニ戰費ト云フモノハ現代ノ戰  
爭デハ大キイノデアリマス、從ヒマシテ  
是ダケヲドウシテモ增稅ニ依ラナケレバナ  
ラヌ、是ダケハドウシテモ公債ダト云フ風  
ニ、細カイ區分ヲスルニハ餘リニ戰費ガ大  
キイ爲ニ、ドウシテモ參ラナイ、ト云フノ  
ハ、ソレダケ公債ヲ餘計出サナケレバナラ  
ヌ、國民ノ普通ノ負擔力カラ見テ、色々ノ  
モノヲヤルト云フコトデアリマス、從ツテサ  
ウ云フ際コソ出來ルダケ總テノ政費ニ付テ  
慎ミマシテ、濫費ヲシナイト云フ心掛ガナ

クテハナラヌ時期デアルト思フノデアリマス、考ヘ違ヒガアリマセヌヤウニ、政府部内ニ於テモ互ニ戒メテ行キタイト思ヒマスシ、只今モ申上ゲル迄モナク、サウ云フ心持デ居ルノデアリマス、ソレデ尙スッカリ物事ガ落著イテ、是ダケ増稅ヲスレバ宜イト云フコトガ分ッテカラト云フコトデアリマスガ、之ニ付テハ未ダ數字的ニハ申上ゲルコトガ出來マセヌガ、我ガ國ノ財政ノ狀態ト致シマシテ、十億若シクハソレニ近イヤウナ歲入ノ不足ヲ生ジマスルヤウナ狀態デ、ココ數年來アル情勢ニナルノデアリマス、況ヤ此ノ事變ガ起リマシテ、事變ニ依リマシテ募集致シマシタ公債ノ利子、或ハ此ノ傷病兵ノ恩給、其ノ他今想像ヲ爲シ得マス事變ニ依ル經常費ノ増加ハ、未ダ少クトモ數億ト云フモノガ豫想サレル譯デアリマス、從ヒマシテ三億、四億ノ増稅ト云フコトガ、事變ガ濟ミマシテモ、或程度若シクハソレ以上ノ増稅ヲシナケレバナラヌト云フコトダケハ大體私ハ言ヒ得ルノデハナイカト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ、何ト申シマシテモ事變中ハ國民ノ所得ハ多イノデアリマス、是ハ國民全部ニ萬遍ナク同ジヤウナ厚サヲ以テ行渡ル譯デハアリマセヌガ、此ノ四十億、五十億ノ戰費ト云フモノ

充テマス物資ノ中、原料其ノ他海外カラ購入致シマスモノノ外ハ、國民ノ所得ニ何分カハ歸スルノデアリマス、中ニハ鑛物資源其ノ他ニ於テ元本ニ繰込ムモノモアリマセウ、ソレハ理論的ニ申セバ、サウ云フ純所得デナイ部分モアリマスガ、一應ハ懷ロノ現金ハ大體ハ増加スル譯デアリマス、輸入ノ増加スル以外ハ増加致ス譯デアリマス、何ト申シマシテモ、是ハ國民全體カラ言ヘバ、懷ロノ金ノ多イ時ナンデ、其ノ時機ニ於テ相當ノ負擔ヲ致シマスト云フコトハ、私ハ財政的ニ見テ必要デアル、戰後ニ於テ急ニ増稅ガアリマスルヨリモ、無論其ノ增稅ノ内容ハ相當は違フコトニ相成リマセウケレドモ、或程度ノ増稅ヲ致ス方ガ其ノ意味ニ於テモ宜シイノデハナイカ、況ンヤ出來ルダケ國民ガ後代ノ負擔トシテ整理スル公債ヲ縱令五千萬圓デモ一億デモ少クスルト云フコトハ、戰事中ニ於ケル此ノ銃後ニ残リマス國民ノ是ハ務メト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、矢張リ戰時中ニ増稅ヲ致シマスコトガ必要デアルト考ヘテ居ル

支ナイ程度ヲ御漏シヲ願ヒタイノデス、此事變後、今ハ支那ニ付テダケデモ非常ニ澤山ノ金ガ要ルダラウ、又恩給ニ付テモ澤山ノ外ニモ色々々要リマセウガ、一番面倒ナノハ支那問題ト思ヒマスガ、之ニ付キマシテハ大體ノ見通シハ如何デスカ、段々話ヲ聽キマスト、今月ニ四億モ要ル、是ハ色々アチラカラ、コチラカラ移動スル、マダ色々カラスウナツテ來ルノデ、ソレガ「ステーブル」ノ状態ニナレバ、餘程減ルダラウト云フヤウニ考ヘラレルノデスガ、其ノ邊ハ如何デスカ、滿洲事件ニ付テハ我々七千萬圓ト承テ、大體標準ガ分ッテ居リマスガ、支那事件ニ付テハ如何デゴザイマスカ

合ガ色々ナコトモアリマセウガ、歳出ハ減ルト同時ニ、其ノ方ノ歳入ノ増加ノ方カラモ多少緩和サレマセウカ、如何デゴザイマセウカ

ス、又一方カラ言ウト、非常ニ是ガ殖エテ  
來テ、ドウニモ追付カナイト云フコトモ想  
像サレル、ドチラニモ取ラレル、從ツテ數量  
ニ付テハ相當ノ動キモアリマセウシ、又内  
ガ宜イカ悪イカト云フコトモ、其ノ際ニハ  
再検討ノ必要ハアラウト思ヒマスガ、政府  
ノ御見込ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ稅制ニ付キ  
マシテハ、特ニ地方稅ノ關係ヨリ致シマシ  
テ、中央及地方ヲ通ズル稅制ノ根本的ノ改  
正ト云フヤウナコトガ常ニ唱ヘラレテ居リ  
マシテ、政府ニ於キマシテモ其ノ必要ハ認  
メテ居ルノデアリマス、今朝程申上げマシ  
タヤウニ、只今ソレヲ致スノハ適當ナ時機  
デハアリマセヌガ、今負擔力ノ安定、少シ  
言葉ガ妙ニナリマスガ、或落著キヲ見マシ  
タ際ニハ、稅制ノ整理ヲシナケレバナラヌ、  
従ツテ今基本ノ稅、臨時増徵法ニ依ル稅、支  
那事件特別稅法ニ依ル稅ト云フモノニ付キ  
マシテ、地方稅トノ關聯モ考ヘマシテ、全體  
的整理ヲシナケレバナラヌト云フ時ハ必ズ  
來ルモノト考ヘテ居リマス

○政府委員(大矢半次郎君) 先程ノ地方團  
體ノ時局下ニ於テ事變關係ノ經費ハドレ程  
カト云フノデゴザイマスカ……内務省ノ方  
ニ傳ヘテ置キマシタガ、午前中ニハチヨット  
マダ……

○子爵大河内輝耕君 材料ガ無イノデ、空  
間ノ御話デ、此ノ度ハ此ノ稅制ニ依ツテ地方  
稅ハ減ゼラレル、又賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ  
減ゼラレル、兩方合シテ三千萬圓バカリニ  
ナル、サウシテ一方ニ地方財政交付金ハ三  
千萬圓ノ増額ニナル、其ノ外ニ地方ハドウ  
カト云フト、臨時事件ノ爲ニ負擔ガ增加シ  
テ來ル、其ノ調ヲ今願ツテ居ルノデ、マダ出  
來ナイト云フコトデ、ソレハ宜シウゴザイ  
マスガ、兎ニ角臨時事件ノ爲ニ金ハ殖エテ  
居ル、殖エタモノハ地方團體ノソレダケハ  
背負込ニナル、之ニ付テハ今回デナクテモ、  
他日地方財政交付金ヲ以テ補ハレルモノト  
思ヒマスルガ、如何デスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今ノ御尋ノ中ノ  
地租附加稅ノ減收ノコトデアリマス、是ハ  
政府ト致シマシテハ、賃貸價格ノ改訂ガア  
リマシタ爲ニ、ソレニ應ジマシテ附加稅率  
ヲ現狀ノ儘ニ致シテ、ソレニ應ジテ減稅ヲ

必ズシナケレバナラストハ考ヘテ居ラナイ

ノデアリマス、ト申シマスノハ、只今ノ状況ト致シマシテ、主トシテ所謂地方農村ノ問題デアリマスガ、是ハ數年來農產物ノ價格ノ下落、又稅制ノ上ニ於テ農村負擔ノ過重等ノコトガアリマシテ、誠ニ氣ノ毒ナ狀態デアリマスガ、等ヲ致スト云フヤウナ狀態デアリマスガ、本年ニ於キマシテハ、農產物ノ價格ガ可ナリ良シト云フコトガ一ツト、尙稅制ニ於キマシテハ、昨年ノ臨時增徵法ニ於キテモ、大部分ハ是ハ都市方面ノ負擔増稅ニナッテ居リマス、其ノ昨年ノ補給限度ニ於キマシテモ、亦今回ノ增稅ニ於キマシテモ、負擔ガ多クハ都市方面ニ課カルト云フ傾向ヲ持ツテ居リマス、是等稅制ノサウ云フ改正ト、地方交付金ノ一億圓ノ支給ト、今ノ稅制或ハ地方交付金等ノ制度ニハ依リマセヌガ、農產物ノ價格ノ良シイ點トデアリマシテ、只今ノ狀況トシテハ左程ノ不權衡ハ見エナイト云フコトモ考へ得ルト思フノデアリマス、併シナガラは一方ニ農產物ノ價格ト云フコトガ原因ニナッテ居リマスノデ、此ノ農產物ノ價格ト云フモノガ、是ガ長ク其ノ程度ニ必ズアルカドウカト云フコトガ問題デアルノデアリマス、ソレデ以テ中央及地方ヲ通ズル稅制整理ノ必要ナシ、斯ウ

云フ結論ヲ致ス次第デハアリマセヌ、最近  
ニシマシテモ、既往ノ五箇年間ノモノヲ取  
ト云フ如キ安イ時代ガ入ツテ居リマス、只今  
ノ如ク米穀統制法ト云フモノガアリマスル  
際ニハ、實現ヲ到底シ得ザル低米價時代ヲ  
入レテノ賃貸價格デアリマシテ、農家ノ庭  
先相場ガ二十圓平均ト云フヤウナ状況デ出  
來テ居リマシテ、只今ノ米價ニ比ベマシテ、  
十圓方安イト云フヤウナ標準デ出來テ居ル  
ノデアリマス、從ツテ只今ノ米價カラ致シマ  
スレバ、賃貸價格ノ減少ニ依ル地租本稅ノ  
收入ノ減、地方カラ申シマスレバ、負擔ノ  
減ダケデモ相應ノ負擔減少ニナルヤウナ關係ニモナルノデアリマス、又昨年地方交付  
金ヲ增加致シマシタ際、地方ノ地租附加稅  
或ハ特別地稅ニ對シテ千七百萬圓ノ減收ニ  
相成ルヤウナ、負擔減少ニ相成ルヤウナ措  
置モ大體出來テ居ルノデアリマス、是等ノ  
事情ヲ考慮シマス時ニハ、ソレダカラ賃貸  
價格ガ減ジテ、地租ハ減ジテモ附加稅ハ金  
額ニ於テ從來通リデ宜シイ、詰リ本稅ハ減  
ジマシタカラ、附加率ヲ増シマス、稅額ニ  
於キマシテハ從來通リデ宜シイ、斯ウ迄  
強ク結論スル譯デハアリマセヌガ、只今ノ

ヤウニ、國民各方面トモ相當難キヲ忍ン  
デ參ラナケレバナラヌ時節ニ於テ、必ズ  
シモ率ニ應ジテ地方ノ地租附加稅ヲ減ジナ  
ケレバナラヌト云フ結論ニモナラナイ、又  
昨年度ノ地租ノ附加稅及特別地稅等ノ減少  
ノ結果、此ノ地租附加稅ト權衡ヲ取りマス  
ル必要ノアル營業收益稅ト比ベマスト云フ  
ト、場合ニ依ッテハ、地租附加稅ノ方ヲ質  
貸價格ノ減リマンシタ割合ニ減ラシマスト云  
フト、却テドウカト思ハレル方面モナキニ  
シモアラズデアリマス、左様ナ事情ガア  
リマスノデ、一應ハ政府トシテハ此ノ際  
賃貸價格ノ改訂ニ依ル所謂地租附加稅ノ減  
收ト云フモノハ我慢ヲシテ貰ヒタイト思ツ  
テ居ツタノデアリマスガ、一方此ノ時局ニ依  
リマシテ所謂地方團體ノ事業負擔ト云フモ  
ノガアリマス、是ハ國家的意味デアリマシ  
テ、地方團體ガ自ラ負擔シテコソ意味ガア  
ルノデアリマス、其ノ財源ヲ全部國ガ補給  
スルナラバ、大イニ時局ノ爲ニ地方ガ負擔  
ヲ爲スト云フコトノ意味モ薄クナル譯デア  
リマス、負擔力ノアリマスル都市トカ、サ  
ウ云フ方面ニ於テハ自ラ進ンデ負擔シテ然  
ルベキダラウト思フ、併シナガラドウシテ  
モ負擔力ノ無イト云フ所謂農山漁村ノ一部  
ニハサウ云フモノガアルト云フコトハ十分

ニ考ヘラレマスノデ、之ニ對シテハサウ云  
フ負擔ニ對スル地方團體ノ財源ノ苦シシト  
云フモノニ對シテ、同情スルト申シマスカ、  
何等カノ措置ハ又國トシテ考ヘナケレバナ  
ラヌ、斯ウ云フ考モアリマスノデ、旁々今回  
ノ増減税ニナルモノノ一千萬圓ヲ合セテ三  
千萬圓ト致シタ譯デアリマス、詰リ是ハ地  
方ノ時局ニ依ル負擔ノ全部、地租附加稅ノ  
減收ノ全部ト云フモノヲ必ズシモ全部國力  
ヲ補給スルト云フ趣旨デハナク、地方ノ財  
政ノ狀況モ考ヘマシテ、又此ノ際、デスカラ、  
國民各方面トモ相當ノ忍耐、我慢スルト云  
フコトモ酌入レマシテ、其ノ程度ニ止メタ  
次第デアリマス、必ズシモ全部地租附加稅  
ガ今ノ御話ノヤウナ工合ニ減ルト云フコト  
迄モ豫期致シテ居リマセヌ

### ○子爵大河内輝耕君 御話ノ次第大變能ク

分リマシタ、マア意見ヲ申上ゲルト、色々  
アリマスケレドモ、政府ノ御考ハ能ク分リ  
マシタカラ、是デ……尙一つ伺ヒタイノ  
ハ、產業組合ニ對スル課稅デスガ、是ハ產  
業組合ノ問題ニ關聯致シマシテ、實ハ農林  
大臣ニモ伺ヒタイト存ジテ居リマスガ、私  
共ハ產業組合ハ健全ナ發展ヲ望ミマスカラ  
シテ、何處迄モ保護ヲ盡シテヤルナリ、稅  
モ出來ルコトナラ無シニシテ貴ヒタイ、其  
前デ行キタイト思フノデアリマス、處ガ  
構ハズニ方々へ進出シテ來ル、其ノ結果、  
特權ヲ利用シテ外ヲ壓迫スルト云フコトハ、  
是ハ當然起ツテ來ル、片々方ハ保護ヲ受ケテ  
居ルシ、片々方ハ保護ヲ受ケテナイカラ、人  
ノヤルコトヲ自分ガヤレバ、ソレハソレダ  
ケ外ノ方へ參ル、ソレニ付テ產業組合ノ課  
稅ノコトハモウ少シ御考ニナッテ、斯ウ云フ  
風ナ狀態ナラ、其ノヤウナ特權ハ何等與ヘ  
ル必要ハナイト思フ、斯ウ云フ風ナコトナ  
ラ……、其ノ代リ何デモサセテヤルガ宜イ、  
與ヘルナラ與ヘルヤウニ餘程ヤカマシク其  
ノコトヲヤル、然ラザレバ特權ヲ奪ッテシ  
マフ、寧ロ此ノ位ニナツデ來タラバ、仕事ノ  
範圍ヲ狹クシヨウタッテ無理デスカラ、ソ  
レヨリモ寧ロ其ノ減稅ノ特權ナドハ全廢ス  
ル迄デナクトモ、モウ少シ考慮サレタラ如  
何カト思ヒマスガ、ドウデゴザイマスカ

### ○國務大臣(賀屋興宣君) 産業組合ノ事業

範圍等ニ付キマシテハ、只今モ御說ガアリ  
マシタガ、種々議論ノアル所ト承知致シテ  
居リマスルガ、尙之ニ付キマシテハ、私共  
ノ代リ産業組合トシテハ仕事ハ極ク狹クシ  
テ、決シテ外ノモノト競リ合スルヤウナコ  
トハ絕對ニ避ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フ建  
ナカヽ理窟通リ物事ハ運バナイモノデ、  
構ハズニ方々へ進出シテ來ル、其ノ結果、  
特權ヲ利用シテ外ヲ壓迫スルト云フコトハ、  
是ハ當然起ツテ來ル、片々方ハ保護ヲ受ケテ  
居ルシ、片々方ハ保護ヲ受ケテナイカラ、人  
ノヤルコトヲ自分ガヤレバ、ソレハソレダ  
ケ外ノ方へ參ル、ソレニ付テ産業組合ノ課  
稅ノコトハモウ少シ御考ニナッテ、斯ウ云フ  
風ナ狀態ナラ、其ノヤウナ特權ハ何等與ヘ  
ル必要ハナイト思フ、斯ウ云フ風ナコトナ  
ラ……、其ノ代リ何デモサセテヤルガ宜イ、  
與ヘルナラ與ヘルヤウニ餘程ヤカマシク其  
ノ人ニ依ラズ、物ニ依ルト云フ風ナモノ  
課稅物件ガ何人ニアツテモ課稅サレル、寧ロ  
アリマスルガ、物的ト申シマスルカ、其ノ  
モノハ、依然トシテ免稅ヲ致シテ居ルノデ  
ヲ受ケマス人、團體ヲ主ニ致シマスヤウナ  
モノハ、依然トシテ免稅ヲ致シテ居ルノデ  
モ何等差支ナイト云フ見地ノ下ニ御尋スル  
モノデアリマス、私ノ併シ御尋スル趣旨ナル  
モノハ、此ノ增稅案ナルモノガ誠ニ妥當適  
切デアルト云フ信念ヲ得マシテ、國民ト共  
ニ喜ンデ此ノ增稅ヲ受ケタイト云フ希望ニ  
付キマシテハ、少し私ノ説明ガ不十分デ  
アリマスルガ、サウ云フ風ナモノニ付キマ  
シテハ、課稅スルト云フ大體近頃ノ方針デ  
アリマシテ、多少課稅ノ方モ從來ヨリハ一  
歩進メテ居ルカト存ジマスルガ、尙色々議  
論ハアリマスルガ、只今ノ處デ組合自體ニ  
課稅ヲスルト云フ方ハ、今大體ニ於テ其ノ  
時期デハナイデアラウト存ジテ居リマス  
○子爵大河内輝耕君 是デ私止メテ置キマ  
ス

### ○橋本辰二郎君 私ハ色々ナナル問題ニ關シ

マシテ、大藏大臣ノ所信ヲ伺ヒタイト思ヒ  
マス、私ノ御尋スルコトハ、或ハ豫算委員會  
ノ問題ニ相應ハシクハナイカト云フ嫌ヒモ  
アルカモ知レマセヌケレドモ、御承知ノ通  
リ、増稅ナルモノハ豫算ノ全部デアリマ  
セヌガ、其ノ主要根幹ヲ占ムルモノデアリ  
マス、又增稅ナルモノハ直チニ經濟界ニ  
重大ナル影響ヲ及スモノデアリマシテ、財  
政及經濟ノ全般ニ亘ル、且此ノ增稅ト關係  
ノアル問題ニ付キマシテハ、御所信ヲ伺フ  
テ之ヲ保護ト申シマスルカ、助長ト申シマ  
トハ絕對ニ避ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フ建  
ナカヽ理窟通リ物事ハ運バナイモノデ、  
構ハズニ方々へ進出シテ來ル、其ノ結果、  
特權ヲ利用シテ外ヲ壓迫スルト云フコトハ、  
是ハ當然起ツテ來ル、片々方ハ保護ヲ受ケテ  
居ルシ、片々方ハ保護ヲ受ケテナイカラ、人  
ノヤルコトヲ自分ガヤレバ、ソレハソレダ  
ケ外ノ方へ參ル、ソレニ付テ産業組合ノ課  
稅ノコトハモウ少シ御考ニナッテ、斯ウ云フ  
風ナ狀態ナラ、其ノヤウナ特權ハ何等與ヘ  
ル必要ハナイト思フ、斯ウ云フ風ナコトナ  
ラ……、其ノ代リ何デモサセテヤルガ宜イ、  
與ヘルナラ與ヘルヤウニ餘程ヤカマシク其  
ノ人ニ依ラズ、物ニ依ルト云フ風ナモノ  
課稅物件ガ何人ニアツテモ課稅サレル、寧ロ  
アリマスルガ、物的ト申シマスルカ、其ノ  
モノハ、依然トシテ免稅ヲ致シテ居ルノデ  
ヲ受ケマス人、團體ヲ主ニ致シマスヤウナ  
モノハ、依然トシテ免稅ヲ致シテ居ルノデ  
モ何等差支ナイト云フ見地ノ下ニ御尋スル  
モノハ、此ノ增稅案ナルモノガ誠ニ妥當適  
切デアルト云フ信念ヲ得マシテ、國民ト共  
ニ喜ンデ此ノ增稅ヲ受ケタイト云フ希望ニ  
付キマシテハ、少し私ノ説明ガ不十分デ  
アリマスルガ、サウ云フ風ナモノニ付キマ  
シテハ、課稅スルト云フ大體近頃ノ方針デ  
アリマシテ、多少課稅ノ方モ從來ヨリハ一  
歩進メテ居ルカト存ジマスルガ、尙色々議  
論ハアリマスルガ、只今ノ處デ組合自體ニ  
課稅ヲスルト云フ方ハ、今大體ニ於テ其ノ  
來シタ場合ニ於テハドウナルカ、又此ノ增  
稅ナルモノガ直チニ物價ノ騰貴ヲ促進スル  
ト云フコトハ是ハ殆ド疑ガナイコトデア  
ル、ソレデ萬一一割ノ騰貴ヲシタト云フコ  
トニナレバ、約八億以上ノ豫算ノ執行上ニ  
於テ茲ニ違算ヲ生ズルコトニナツテ、三億殖  
エテ尙五億ヲ失フト云フヤウナコトニナル  
ノデハナイカト云フヤウナ説ヲ唱ヘルモノ

ガアリマスガ、是ハ恐ラク誤ッタ觀察デハナイカト思ヒマスガ、大藏大臣ノ此ノ點ニ對スル御所見ヲ承リマシテ、斯クノ如キ說ヲ立テル人ノ蒙ヲ啓キタイト思ヒマス

○政府委員(賀屋興宣君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、三億ノ増稅ノ中、約一億ハ直接稅デアルノデアリマス、所得稅或ハ臨時利得稅、斯ウ云フ性質ノモノデアリマシテ、是ハ他ニ轉嫁セラルベキ性質ノモノデ

ハナインデアリマス、問題ニナリマスルノ燐寸其ノ他ノ各種ノ製品ニ課セラレマス所ノ稅ニ付テアラウト思フノデアリマス、物品稅ノ多數ノ課稅物品ハ皆此ノ製品デアリマシテ、ソレハ皆原料ハナインデアリマス、而モソレハ國ノ豫算ニ於テ需要スペキ品物ハ殆ドアリマセヌ、又軍用等ニナリマスルモノハ是ハ又免稅ニ相成ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ增稅ニ口ヲ藉リマシテ、不當ニ物價ヲ上ダマセヌ限リニハ左程物價騰貴ニ是ガ影響スルモノデモアリマセヌ、又國ノ購入致シマスル、國ノ豫算デ買ヒマスモノニハ殆ド是ハ關係ガナイ次第デアリマス、從ヒマシテ要點ハ增稅ニ口ヲ藉リテ特ニ製品ノ値段ヲ引上ゲル、斯ウ云フ點ガ、寧ロ一般ノ國民生活ノ方面

カラ問題ニナリ得ルト存ズルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ特ニ今回ハ注意ヲ致シマシテ、如何ナル品物ニ如何ナル增稅ガアルカト云フコトヲ、廣く關係ノ生產業者、商人ノミナラズ、一般公衆ニモ分ルヤウナ方法ヲ採リタイト思フノデアリマス、總テノ生產者トカ生產品ニ付キマシテ成ルベク工夫ヲ致シマシテ、生產費ヲ減ジ、自カラ損失ヲ蒙ルコトナク、增稅ノ物品稅ノ一部ガ消費者ニ轉嫁セラレナイデ濟ムヤウナ場合ハ、是ハ最モ望マシイノデアリマスガ、サウデナイト致シマシテモ、增稅額ノ轉嫁ハ是ハ物品稅ニ於キマシテハ當然デアリマスカラ、ソレダケ高クナリマスコトハ、是ガ稅ヲ負擔スル所以デアリマスカラ已ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、ソレ以上ノ騰貴或ハ稅ノ課稅ノ多數ノ課稅物品ハ皆此ノ製品デアリマス、而モソレハ國ノ豫算ニ於テ需要スペキ品物ハ殆ドアリマセヌ、又軍用等ニナリマスルモノハ是ハ又免稅ニ相成ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ增稅ニ口ヲ藉リマシテ、不當ニ物價ヲ上ダマセヌ限リニハ左程物價騰貴ニ是ガ影響スルモノデモアリマセヌ、又國ノ購入致シマスル、國ノ豫算デ買ヒマスモノニハ殆ド是ハ關係ガナイ次第デアリマス、從ヒマシテ要點ハ增稅ニ口ヲ藉リテ特ニ製品ノ値段ヲ引上ゲル、斯ウ云フ點ガ、寧ロ一般ノ國民生活ノ方面

ヲ置イテアルカラ、是ガ物價トハ何等關係ノナイト云フ御見解ノヤウデアリマスガ、シマシテ、如何ナル品物ニ如何ナル增稅ガアルカト云フコトヲ、廣く關係ノ生產業者、商人ノミナラズ、一般公衆ニモ分ルヤウナ方法ヲ採リタイト思フノコトニ生モノハ、自分ノ稅ヲ負擔スルダケ自分ノ生産者トカ生產品ニ付キマシテ成ルベク工夫ヲ致シマシテ、生產費ヲ減ジ、自カラ損失ヲ蒙ルコトナク、增稅ノ物品稅ノ一部ガ消費者ニ轉嫁セラレナイデ濟ムヤウナ場合ハ、是ハ最モ望マシイノデアリマスガ、サウデナイト致シマシテモ、增稅額ノ轉嫁ハ是ハ物品稅ニ於キマシテハ當然デアリマスカラ、ソレダケ高クナリマスコトハ、是ガ稅ヲ負擔スル所以デアリマスカラ已ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、ソレ以上ノ騰貴或ハ稅ノ課稅ノ多數ノ課稅物品ハ皆此ノ製品デアリマス、而モソレハ國ノ豫算ニ於テ需要スペキ品物ハ殆ドアリマセヌ、又軍用等ニナリマスルモノハ是ハ又免稅ニ相成ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ增稅ニ口ヲ藉リマシテ、不當ニ物價ヲ上ダマセヌ限リニハ左程物價騰貴ニ是ガ影響スルモノデモアリマセヌ、又國ノ購入致シマスル、國ノ豫算デ買ヒマスモノニハ殆ド是ハ關係ガナイ次第デアリマス、從ヒマシテ要點ハ增稅ニ口ヲ藉リテ特ニ製品ノ値段ヲ引上ゲル、斯ウ云フ點ガ、寧ロ一般ノ國民生活ノ方面

○橋本辰二郎君 百幾ラデスカ  
○國務大臣(賀屋興宣君) 百五十億ヲ超シテ居ルト思ヒマス、國民ノ貯蓄ハ三十數億、或ハ四十億ニ達シテハ居ナイカト思フノデアリマス、消費トナリマスルト、其ノ兩方カラ考ヘマシタ或ハ差額ト云フコトニナルカモ知レマセヌ、大體ハ左様ナ見當デ居ル  
○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ニハ私モ満足致シマス、總テ豫算ヲ編成スル場合ニ於テ、又公債ノ消化ノ點ニ於キマシテモ、總テ是ハ國民ノ蓄積ニ俟タナケレバナリマセヌデ、是ダケノ蓄積ガアレバ公債ノ消化モ、豫算ノ遂行モ圓滑ニ行ハル、デアラウト云フコトヲ私モ考ヘマスノデ、大イニ此ノ點ニ付キマシテハ、是ハ無論調查モ出來テラアルカト云フコトニ付キマシテ、大藏大臣ト致シマシテハ、是ハ無論調查モ出來テリマス、ソレカラ大藏大臣ハ機會ノアル毎

ニ、屢々一志二片ノ爲替標準ヲ堅持スルト云  
フコトヲ仰セニナリマスガ、此ノ爲替標準ヲ安  
定ト云フコトハ、輸出入貿易ニ最モ望マシ  
イコトデアリマス、又我國ノ圓ノ信用ヲ  
海外ニ高メル上ニ於キマシテ、最モ必要ナ  
コトデアルトシテ私等ハ之ニ大イニ贊成ヲ  
スルノデアリマスガ、抑、我國ノ圓價ヲ一志  
二片ト決メタ所ノ根據ハ何處ニアルノデアリマ  
セウカ、我々ノ學シダ所ニ依リマスル云フト、  
爲替ノ標準ト云フモノハ、其ノ國々ノ金  
貨ノ保有スル所ノ純分ニ比較シテ定マル  
モノデアッテ、而シテ其ノ騰落ナルモノハ  
政情ノ安定ニモ關係ハアルガ、主トシテ輸  
出入ノ貿易及貿易外ノ國際上ノ決済等ニ  
依ツテ支配セラレルモノデアルト云フヤウ  
ニ私共承ッテ居ルノデアリマス、是ハ常識ニ  
チヨット考ヘマスルト云フト、米國ニ於キマ  
シテハ四割何分ニ平價切下ヲヤッテ居リマ  
ス、英國ニ於キマシテモ、ソレニ近イ平價  
切下ヲヤッテ居ルノデアリマスルデ、先づ假  
ニ對米ヲ五十弗トシテ、對英ヲ二志ト致シ  
マシタナラバ、彼等ハ平價ヲ切下ゲタダケ  
日本ノ圓ノ標準ハ高クナラナケレバナラナ  
イヤウニ考ヘマスルニモ拘リマセズ、之ヲ  
一志二片ト云フ非常ナル低イ度合ニ定メラ  
レマシタト云フコトハ、是ハドウモ我々素

人ト致シマシテハ會得ガ行カヌヤウニ思ヒ  
マスガ、是ハドウ云フ次第デアリマスカ  
○國務大臣（賀屋興宣君） 委員長ニ申上ゲ  
マスガ、私ノ申上ゲ様ガ少シ何デアリマシ  
タナラバ、後カラ速記ヲ全部取消サシテ戴  
キタイト思ヒマス、一應ハ速記ヲ願ッテ結  
構ト思ヒマス、元々御承知ノ如ク日本ノ圓  
ガ、「ドル」モ「パウンド」モ金デアリマシタ  
時代カラ比べレバ非常ナ下落ナンデアリマ  
ス、「ドル」ガ假ニ金デアリマシタ時代、「ド  
ル」ノソレガ下リマシタ割合ト同ジニ下レ  
バ、日本ノ圓モ矢張リ五十「ドル」デ宜シイ  
譯デアリマス、只今ハ二十九「ドル」前後ト  
云フ譯デアリマシテ、大體ノ基礎ト致シマ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
シテハ「パウンド」ヤ「ドル」ガ下リマシタヨ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
ラレルノデアリマス、唯日本ノ圓ガ下リマ  
シタノト、「ドル」ガ下リマシタノニ前後ガ  
一度日本ノ「ドル」ガ大イニ下リマシタ時、  
其ノ時ニ「ドル」ガ尙下リタル時ト比ベルト  
アリマシテ「ドル」ノ方ガ晚ク下リマシタ、  
御說ノヤウナコトガアルカト思ヒマスガ、  
大體論トシマシテハ圓ノ方ガ「パウンド」ヤ  
「グラム」ヨリハ非常ナル國際的ノ下落ニハ  
相成ツテ居ルノデアリマス、サウシマシテ只  
今ノ所、一志二片ノ相場ヲ維持シテ行クコ

トヲ必要ト致シテ居リ、其ノ一志二片ハ何  
カラ割出サレタモノデアルカト申シマス  
ス、或ハ關稅ニ依リ、或ハ輸出輸入ノ割當  
マスガ、私ノ申上ゲ様ガ少シ何デアリマシ  
タナラバ、後カラ速記ヲ全部取消サシテ戴  
キタイト思ヒマス、一應ハ速記ヲ願ッテ結  
構ト思ヒマス、元々御承知ノ如ク日本ノ圓  
ガ、「ドル」モ「パウンド」モ金デアリマシタ  
時代カラ比べレバ非常ナ下落ナンデアリマ  
ス、「ドル」ガ假ニ金デアリマシタ時代、「ド  
ル」ノソレガ下リマシタ割合ト同ジニ下レ  
バ、日本ノ圓モ矢張リ五十「ドル」デ宜シイ  
譯デアリマス、只今ハ二十九「ドル」前後ト  
云フ譯デアリマシテ、大體ノ基礎ト致シマ  
リ、經濟界モ自然ニ繁榮ヲ致シテ參リマシ  
タコトハ御承知ノ通リデアリマス、併シナ  
サウシテ、輸出入ノ狀態モ極メテ良好ニ參  
體一志二片ノ附近ニ落著イテ參リマシタ、  
ウシマシテ昭和八年カラダト思ヒマス、大  
マス、昭和六年ノ暮ニ金ノ輸出ガ再禁止サ  
レマシテ以來、日本ノ爲替相場ハ自由放任、  
キ、踏襲シテ宜シイ沿革ダト思フノデアリ  
マス、昭和六年ノ暮ニ金ノ輸出ガ再禁止サ  
レマシテ以來、日本ノ爲替相場ハ自由放任、  
ト、是ハ極ク率直ニ申上ゲマシテ一ツノ沿革  
マスガ、私ノ申上ゲ様ガ少シ何デアリマシ  
タナラバ、後カラ速記ヲ全部取消サシテ戴  
キタイト思ヒマス、一應ハ速記ヲ願ッテ結  
構ト思ヒマス、元々御承知ノ如ク日本ノ圓  
ガ、「ドル」モ「パウンド」モ金デアリマシタ  
時代カラ比べレバ非常ナ下落ナンデアリマ  
ス、「ドル」ガ假ニ金デアリマシタ時代、「ド  
ル」ノソレガ下リマシタ割合ト同ジニ下レ  
バ、日本ノ圓モ矢張リ五十「ドル」デ宜シイ  
譯デアリマス、只今ハ二十九「ドル」前後ト  
云フ譯デアリマシテ、大體ノ基礎ト致シマ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
シテハ「パウンド」ヤ「ドル」ガ下リマシタヨ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
ラレルノデアリマス、唯日本ノ圓ガ下リマ  
シタノト、「ドル」ガ下リマシタノニ前後ガ  
一度日本ノ「ドル」ガ大イニ下リマシタ時、  
其ノ時ニ「ドル」ガ尙下リタル時ト比ベルト  
アリマシテ「ドル」ノ方ガ晚ク下リマシタ、  
御說ノヤウナコトガアルカト思ヒマスガ、  
大體論トシマシテハ圓ノ方ガ「パウンド」ヤ  
「グラム」ヨリハ非常ナル國際的ノ下落ニハ  
相成ツテ居ルノデアリマス、サウシマシテ只  
今ノ所、一志二片ノ相場ヲ維持シテ行クコ

トヲ必要ト致シテ居リ、其ノ一志二片ハ何  
カラ割出サレタモノデアルカト申シマス  
ス、或ハ關稅ニ依リ、或ハ輸出輸入ノ割當  
マスガ、私ノ申上ゲ様ガ少シ何デアリマシ  
タナラバ、後カラ速記ヲ全部取消サシテ戴  
キタイト思ヒマス、一應ハ速記ヲ願ッテ結  
構ト思ヒマス、元々御承知ノ如ク日本ノ圓  
ガ、「ドル」モ「パウンド」モ金デアリマシタ  
時代カラ比べレバ非常ナ下落ナンデアリマ  
ス、「ドル」ガ假ニ金デアリマシタ時代、「ド  
ル」ノソレガ下リマシタ割合ト同ジニ下レ  
バ、日本ノ圓モ矢張リ五十「ドル」デ宜シイ  
譯デアリマス、只今ハ二十九「ドル」前後ト  
云フ譯デアリマシテ、大體ノ基礎ト致シマ  
リ、經濟界モ自然ニ繁榮ヲ致シテ參リマシ  
タコトハ御承知ノ通リデアリマス、併シナ  
サウシテ、輸出入ノ狀態モ極メテ良好ニ參  
體一志二片ノ附近ニ落著イテ參リマシタ、  
ウシマシテ昭和八年カラダト思ヒマス、大  
マス、昭和六年ノ暮ニ金ノ輸出ガ再禁止サ  
レマシテ以來、日本ノ爲替相場ハ自由放任、  
ト、是ハ極ク率直ニ申上ゲマシテ一ツノ沿革  
マスガ、私ノ申上ゲ様ガ少シ何デアリマシ  
タナラバ、後カラ速記ヲ全部取消サシテ戴  
キタイト思ヒマス、一應ハ速記ヲ願ッテ結  
構ト思ヒマス、元々御承知ノ如ク日本ノ圓  
ガ、「ドル」モ「パウンド」モ金デアリマシタ  
時代カラ比べレバ非常ナ下落ナンデアリマ  
ス、「ドル」ガ假ニ金デアリマシタ時代、「ド  
ル」ノソレガ下リマシタ割合ト同ジニ下レ  
バ、日本ノ圓モ矢張リ五十「ドル」デ宜シイ  
譯デアリマス、只今ハ二十九「ドル」前後ト  
云フ譯デアリマシテ、大體ノ基礎ト致シマ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
シテハ「パウンド」ヤ「ドル」ガ下リマシタヨ  
リモ非常ニ多ク現在ハ下シテ居ル、斯ウ考ヘ  
ラレルノデアリマス、唯日本ノ圓ガ下リマ  
シタノト、「ドル」ガ下リマシタノニ前後ガ  
一度日本ノ「ドル」ガ大イニ下リマシタ時、  
其ノ時ニ「ドル」ガ尙下リタル時ト比ベルト  
アリマシテ「ドル」ノ方ガ晚ク下リマシタ、  
御說ノヤウナコトガアルカト思ヒマスガ、  
大體論トシマシテハ圓ノ方ガ「パウンド」ヤ  
「グラム」ヨリハ非常ナル國際的ノ下落ニハ  
相成ツテ居ルノデアリマス、サウシマシテ只  
今ノ所、一志二片ノ相場ヲ維持シテ行クコ

ノ殺倒デアリマス、ソレハ日本内地ノ生産力ノ擴充、軍備ノ擴張其ノ他デ、ドウシテモ外國カラ輸入スベキ物資ガ非常ニ増ス傾向ニアル、其ノ他外國ノ物價騰貴ノ影響其ノ他モアリマシタガ、サウ云フコトガ主ニナッテ參リマシテ、爲替相場ガ少シクアブナクナッタ譯デアリマス、其ノ時ニ考ヘマスレバ、當時ノ政府當局モサウ考ヘタノデアリマス、此ノ際自然ニ之ヲ委セバ圓價ハ下落シ、爲替相場ハ下ルノデアリマシテ、下ルコト云フコトニ依ツテ輸出ヲ増加スル見込ハ餘リナ

イ、或ハ殆ドナイ、然ラバ下ルコトニ依ツテ輸入ヲ防ギ得ルカト云ヘバ、今日本ニ於テ需要セムトスル物資ハ總テ軍備ノ擴張、其ノ他日本ノ經濟力、國防力ヲ増加スル爲ニ必要ナ物資デアリマス、之ヲ高イカラト云ツテ買ハナイ譯ニ行キクイモノデアリマス、茲ニサウ云フ現象ガ起ツタノガ一ツデアリマス、斯カル際ニ、幾ラカ圓價ガアブナクナルダラウト云フ際ニ、爲替ヲ放任致シマスレバ、ソレハ實勢以上ニサウ云フ際ニハ暴落スルノガ常デアリマス、當時ハ物價騰貴ノ趨勢ハ著シカツタノデアリマス、昨年一月或ハ二月ト云フ頃、デスガ……サウ云フ國際ニ爲替相場ノ下落ト相俟ッテ、原因結果ガ錯

輸入ガ增加シテ、「バランス」ノ上カラ見テ、國際收支ノ狀態ガ狂フ、望ミガナクテサウ云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ昭和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

ル危險ガアリマス、左様ナコトガアリマシテ、獨リ事變ニ於ケル我ガ國ノ目的ヲ遂行ス、サウ致シマスレバ次ニハ經濟ノ運行ヲ害スル、市價モ下レバ、輸出モ少クナリ、常ナ危險ニ陥ル虞ガ十分ニアルノデアリマス、サウ云フ理由ヲ以チマシテ、當時相當ノ期間、我ガ國ノ經濟狀態ニ適應シテ居リマス相場、之ヲ維持スルト云フコトガド和六年ノ金ノ輸出ヲ再禁止ヲスルト假ニ同場ヲ放任スルト云フコトハ出來ナイト云フ考ニナルダラウト思ヒマス、尙時ノ當局者モサウ考ヘマシテ、先ヅ是ハ爲替ノ管理ヲ致シテ、應急的ノ國際收支ノ原因其ノモノニ手ヲ加ヘテ、加之十分ナル輸出入ニ對スル計畫的ノ統制ガ出來マス迄ハ、金ノ輸出ヲ致シテ、而シテ爲替相場ヲ保ッテ行ク、ドッヂニシテモ爲替相場ヲ保ッテ行カナケレバナラスト云フ考ニナッタノデアリマス、是ハ弱クナルカ分ラヌ、却テ爲替相場ヲ下ゲタ來ル、斯様ナ結果ヲ起ス處ガ十分アリマス、サウ云フ理由デ以テ一志二片ハ、ドウシテモ維持シテ行クト云フ大キナーツノ政策ヲ執リマスコトガ、只今ニ於テ最モ必要、是ガ我ガ國ノ經濟ヲ基本的ニ持ツテ參リマス

爲替標準ヲ維持シタカト云フコトニ大ニ疑レバ、東洋ノ或國カラ巨額ノ金ヲ積出シクレガ東洋ノ何處ノ國デアルカト云フコトモ存ジマセヌ、又ソレニ付テ答辯モ受ケヨウトハ思ヒマセヌガ、何トナクドウモ其ノ點ニ付キマシテ、多少經濟的ノ知識ヲ持ッテ居モノハ疑惑ヲ懷イテ居ルノデアリマスガ、併シ六億三千萬圓ノ輸入超過ガアリ、當年モ亦相當ノ輸入超過ガアッテモ、一志二片、モウ今後何處迄モ維持ガ出來ルト云フ御自信ヲ御持チニナツテ居ルカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ其ノ次ニハ、一志二片ヲ維持スルコトガ物價ノ騰貴ヲ抑制スル所以ダト云フコトヲ、大臣ハ屢々仰セニナツテ居ルヤウナコトニ承リマスガ、是ハ輸入品、即チ對外的ニハ首肯出來マスガ、對內的ニハ私等ハドウモ其ノ意ヲ得ナイヤウニ思ヒマスノデ、此ノ點ニ付キマシテモ御説明ヲ願ヒタイ、尙は議論ノヤウデアリマスガ、凡ソ物價ノ標準トナルモノハ通貨デアリマス、詰リ通貨ノ量ト物資ノ在庫量トガ並行致シマスレバ、茲ニ物價ト云フモノハ安定スルノデアリマスガ、若シモ通貨ガ膨脹シテ物資ガ減少スレバ、物價ハ騰貴シ、之ガ

反對ニ通貨ガ緊縮シテ物資ガ多量ニナレバ、物價ハ下落スル、是ハモウ經濟上ノ原理デアリマス、然ルニ今日ノ物價ト云フモノハ色々ノ關係モアリマセウガ、或ハ需給關係ニ依シテ支配セラル、ト云フ時代デハナクシテ、或一種ノ力ニ依シテ物價ト云フモノハ支配セラレテ居ルト見ルコトモ出來ルカモ知レマセスト思ヒマス、併シ兎ニ角、此ノ通貨ト云フモノハ、物價ヲ支配スルノ標準デアルト總テノ人ハ信ジテ居リマスガ、大藏大臣ガ、爲替ヲ維持スルコトガ物價ヲ抑制スル所以デアルト云フコトヲ仰セニナリマスト、是ハ聞キ様ニ依リマシテハ、今ヤ我ガ國ノ通貨ト云フモノハ物價ヲ支配スルノ力ハナクシテ、物價ヲ支配スルノ力ハ、單ニ爲替ノミニ依ルノデアルト云フヤウナ風ナ感想ヲ國民ニ與ヘマスト、延イテ茲ニ通貨ノ信用ヲ害シハシナイカト云フコトヲ私ハ大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、

○國務大臣(賀屋興宣君) 先づ爲替ヲドウ致シテ、十二年度中、爲替相場ヲ維持シタカト云フコトニ觸レマシタ點ニ付テ御答ラ申上ゲマスルガ、昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ、日本銀行ノ金準備ノ再評價ニ關スル法律、尙金資金特別會計法ノ御協贊ヲ經タ來此ノ日本ノ金準備ガ完全ニ行ハレテ居リテ、昨今ハ、世界ノ市價カラ申セバ、一匁十四圓弱ニ當リマスルカ、大體其ノ邊迄ニテ居リマシテ、是ガ實際ニ適合シタ評價参ツテ居リマシテ、是ナクナツテ居タノデアリマス、併シナガラ貨幣法ヲ根本的ニ改正ヲ致シマスル時期ニハ未ダ到達ヲシテ居ラナカツタノデアリマス、從ヒマシテ一時此ノ金準備ノ再評價ト云フコトヲ致シマシテ、時價ヨリ約一割ノ「マーク」ヲ取リマシテ評價ヲ致シマシタ、ソレニ依シテ日本銀行ニ生ジマシタ利益ハ、之ヲ國庫ニ移スベキ性質ノモノデアリマスカラ、サウ云フ處置ヲ致シマシタ、

日本銀行ノ金準備ハ手ヲ付ケナイト申シテ居リマスルノハ、只今殘ツテ居リマスル日本銀行ノ八億ノ正貨準備ニ手ヲ付ケナイ、斯ウ云フ意味デ申シテ居ルノデアリマス、昨年ハ今申シマシタヤウナ金ノ現送デ以テ本カラ相當額ノ金ガ「アメリカ」ニ送ラレタノデアリマス、尙本年以後ノコトヲ申上げマスルナラバ、只今申上ゲマシタヤウニ、ノデアリマス、尙本年以後ノコトヲ申上げテナクナツテ居タノデアリマス、併シナガラ貨幣法ヲ根本的ニ改正ヲ致シマスル時期ニハ未ダ到達ヲシテ居ラナカツタノデアリマス、從ヒマシテ一時此ノ金準備ノ再評價ト云フコトヲ致シマシテ、時價ヨリ約一割ノ「マーク」ヲ取リマシテ評價ヲ致シマシタ、ソレニ依シテ日本銀行ニ生ジマシタ利益ハ、之ヲ國庫ニ移スベキ性質ノモノデアリマスカラ、サウ云フ處置ヲ致シマシタ、

日本銀行ノ金準備ハ手ヲ付ケナイト申シテ居リマスルノハ、只今殘ツテ居リマスル日本銀行ノ正貨準備ハ手ヲ付ケナイト申シテ居リマス、其ノ前者ハ、日本銀行ハ從テ居リマスルノハ、只今殘ツテ居リマスル日本銀行ノ八億ノ正貨準備ニ手ヲ付ケナイ、斯ウ云フ意味デ申シテ居ルノデアリマス、昨年ハ今申シマシタヤウナ金ノ現送デ以テ本カラ相當額ノ金ガ「アメリカ」ニ送ラレタノデアリマス、尙本年以後ノコトヲ申上げテナクナツテ居タノデアリマス、併シナガラ貨幣法ヲ根本的ニ改正ヲ致シマスル時期ニハ未ダ到達ヲシテ居ラナカツタノデアリマス、從ヒマシテ一時此ノ金準備ノ再評價ト云フコトヲ致シマシテ、時價ヨリ約一割ノ「マーク」ヲ取リマシテ評價ヲ致シマシタ、ソレニ依シテ日本銀行ニ生ジマシタ利益ハ、之ヲ國庫ニ移スベキ性質ノモノデアリマスカラ、サウ云フ處置ヲ致シマシタ、

額ノモノガ入リマシテ、製造品ハ、兎モ角少クトモ原料トシテ輸入ガ多ク入リマシ、又斯カル多額ノ戰費ガ撒布サレマスナラバ、之ヲ放任致シテ置ケバ、普通ノ所謂平和産業ノ原料品等モ多額ノ輸入ガアル譯デアリマス、故ニ適當ナル計畫ヲ以テ統制ヲ致サナイ限リハ、輸入額ハ今申上ゲルヤウニ新產金ノ範圍デ差額ヲ決済スル程度ニ收ル譯ニハ參リマセヌ、而シテ軍需品ハ事變ノ目的ヲ達シマスル爲ニ必要ナモノデアリマスカラ、是ハドウシテモ制限ヲ無闇ニ加ヘル譯ニ參リマセヌ、出來ルダケ節約ノ方法ヲ採リマスガ、サウハ行カスト言ヒマスコトハ、好景氣ノ上カラ一般ノ平和的物資ノ消費或ハ物ニ依ル增加デナク、平素、平常ノ程度ノ物資ノ消費モ尙ソレヲ少クシテ、其ノ節約サレタル金額ヲ以テ軍需品ノ輸入資源ニ充テナケレバナラヌ、斯ウ云フ關係ガ起ツテ參リマス、其ノ爲ニ官民、軍需、民間ニ通ズル物資ノ供給計畫ヲ樹テマシテ、國內ノ生産又生産ノ新タナ增加、代用品ノ使用、サウシテ一方輸出貿易其ノ他ヲ勘案致シマシタ輸入能力、是ダケノ供給力ヲ以テ必要ナル物資ノ需要ヲ満スヤウニ致シテ、而シテ尙其ノ足ラザル所ハ、所謂消費節約ニ依ツテ之ヲ行フ、斯ウ云フ綜合的計畫

ヲ樹テマシテ、物資ノ需給計畫ヲ、輸入計  
畫ヲ樹テマシタ譯デアリマス、其ノ結果ガ、  
ニ申上ゲマシタ程度ノ差額デ濟ミマスヤウ  
ケテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、ソレガ物價問題ニモ非常ニ  
影響スルノデアリマス、次ニ今ノ爲替相場  
ノ維持ト物價ノ關係ニ付テ申上ゲマスナラ  
バ、私ノ衆議院ニ於ケル申上ゲヤウガ惡カッ  
タカト思フノデアリマス、往々其ノ誤解ガ  
アルノデアリマス、私ハ、物價ノ暴騰ヲ抑  
ヘル第一要件ハ、爲替相場ノ維持デアル、  
斯ウ云フ意味デ申上ゲテ居ル、先程申上ゲ  
マシタヤウニ爲替相場ガ一度動キマスト、  
率直ニ申シテ崩壊の状況ヲ呈スルノデ、斯  
カル際ニハ物價ハ非常ナ暴騰ガ起ルノデア  
リマス、ソレデアリマスカラ、爲替相場ノ  
維持ガ物價ヲ安定セシムル第一要件デア  
リ、國民生活ヲ壓迫シナイヤウニ混亂ヲ防  
グ第一要件デアル、事變ノ爲ノ必要ナル經  
濟界ノ運行ノ第一要件デアルノデアリマス、  
斯ウ云フコトニ申シテ居ル、ソレデアリマ  
スカラ、少シ言葉ヲ強ク申上ゲレバ、爲替  
相場ノ維持ガ出來ナケレバ物價ハ大變ナコ  
來レバ物價ノ騰貴ハ少シモナイカト云フ

ト、必ズシモサウ申シテ居ルノデヤナイノ  
デアリマス、是カラ物價ノ騰貴ハ、大暴騰  
ト云フモノハソレハアリマセヌデセウ、併  
シ部分的ニハ又一般的ニモ相當ノ騰貴ト云  
フコトハ、爲替相場ヲ維持シテモ尙起ル、  
一番大キナ原因ハ他ニアリマス、今申上ゲ  
マシタヤウナ我ガ國ノ此ノ輸入能力、此ノ  
方ハ御話ヲ簡單ニ致シマスガ、兎ニ角輸入  
能力ノ中ニ軍需品ノ輸入ヲ多ク致シマスナ  
ラバ、其ノ他ノモノノ輸入ヲ減サナケレバ  
ナラヌ、サウ致シマスレバ、斯カル性質ノ  
物資ト云フモノハ缺乏ヲ來スニ決ッテ居リ  
マス、而モ斯カル物資ノ中、是ガ輸出産業  
ノ原料ニナルモノハ減シタクナイ、同ジ綿  
ガ入りマシテモ、輸出綿布ノ原料ハ出來ルダ  
ケ澤山ニ向ケテ、國內消費ヲ減サナケレバ  
ナラヌト云フムヅカシイ立場ニ相成ルノデ  
アリマス、色々綿布ニ致シマシテモ、「ステープ  
ル・ファイバー」トカ、其ノ他ノ代用品ヲ考  
ヘテ、物ニ依リマシテハ國內ノ増産モ考ヘマ  
スガ、何ニ致セ主トシテ輸入ニ俟ツテ居ッタモ  
ノガ輸入額ヲ減ス、而モ輸出原料ニ充テル  
分ハ減サズシテ、國內需要ノ方ハ減サス、斯  
ウ云フコトニナリマスレバ、斯カル政策ガ相  
當效ヲ奏スレバ、必ズソコニサウ云フ物資ノ  
不足ヲ起スニ決ツテ居ルノデアリマス、之ニ

對シテハ代用品其ノ他ノ方法モアリマス  
イノデアリマス、サウ云フ品物ガ暴騰スル  
原因ガソコニ存在致シテ居ルノデアリマス、  
サウ云フ品物ニ付キマシテハ、主トシテ消  
費節約ニ依ツテ極力之ヲ物價ガ騰貴シナイ  
ヤウニ、又現實ニ物ガ、ソレハナイノデア  
リマスカラ、其ノ需給ノ調節ヲ消費節約ニ  
俟ツテ行ク外ナイ、無論代用品、其ノ他ノコ  
トヲ考ヘマスト、例ヘバ五億ノモノヲ四億  
ニスル外ナイ、斯ウ云フコトニ相成リマス  
ノデ、其ノ點ニ付キマシテハ、一々ノ物資  
ニ付キマシテハ商工省ガ是ガ主デアリマス  
ガ、物ニ依リマシテハ他ノ省ノ所管モアリ  
マス、主ト致シマシテ、物資ノ需給ヲ考ヘ、  
其ノ方策ヲヤル、鐵、銅ノ如キモノハ既ニ  
消費制限ノ命令ヲ出シテ居ル次第アリマ  
ス、或ハ命令デモ參リマスシ、或ハ國民ノ  
自覺ニ懇ヘテ參リマス、サウ云フコトヲ主  
ト致シマシテ、尙又専門的ニ申セバ、原料  
ノ配給、當業者間ノ割當等ニモ力ヲ盡シテ、其  
タイ、斯ウ思フノデアリマス、私ガ、通貨  
ノ數量ガ主トシテ此ノ物價問題ニ關係ガ少

イト申シマシタノハスウ云フ意味デアリマス、サウ云フ風ニ主トシテ一番起リ易イノハ輸入品デアリマスノデ、之ニ品物別ニサウ云フ原因ガ起ツテ、最近ノ騰貴デモ晒木綿ガ一時暴騰致シマシタガ、是ハ他ノ騰貴トハ丸デ程度ノ差ガ違フ、サウ云フ風ニ物ニ依ツテ起ツテ來ル、物資ノ種類ニ依ツテ起ツテ來ルト云フ現象ガ相當多イト思ヒマス、此ノ意味デ私ハ通貨關係ノ方ガ少クテ物ニ存

在スル原因ガ多イ、斯ウ申シテ居リマス、

モウ一つハ、只今デハ一般的ノ「デフレー

ション」政策ヲ採ツテ、通貨ヲ少クシテモ、

シヨンハ、是ハ只今ハ私ハ寧ロ有害デア

ルト思ヒマス、ト申シマスノハ、色々ノ産

業ヲ起シテ行カナケレバナラヌ方面ガ澤山

アル、尙金利ノ水準ヲ維持シテ參ラナケレ

バナリマセヌ、是ハ公債ノ償還ヲ致シマシ

テ、軍需工業ヲ成立タセルコトニ致シマシ

テモ、此ノ金利ノ水準ハドウシテモ維持シ

ナケレバナラヌ、無闇ニ低金利ニナルコト

ハ出來マセヌ少クトモ逆轉ハ餘リヤラナイ

方ガ宜シイ、少クトモ中心タル公債ノ金利

水準ハ、其ノ必要ガ顯著ニアルノデアリマ

ス、サウ云フ際ニ一般的ニ金融ヲ引締メテ

參リマスコトハ非常ニ有利デアリマス、ソ

イト申シマシタノハスウ云フ意味デアリマス、サウ云フ風ニ主トシテ一番起リ易イノハ輸入品デアリマスノデ、之ニ品物別ニサウ云フ原因ガ起ツテ、最近ノ騰貴デモ晒木綿ガ一時暴騰致シマシタガ、是ハ他ノ騰貴トハ丸デ程度ノ差ガ違フ、サウ云フ風ニ物ニ依ツテ起ツテ來ル、物資ノ種類ニ依ツテ起ツテ來ルト云フ現象ガ相當多イト思ヒマス、此ノ意味デ私ハ通貨關係ノ方ガ少クテ物ニ存

在スル原因ガ多イ、斯ウ申シテ居リマス、

モウ一つハ、只今デハ一般的ノ「デフレー

ション」政策ヲ採ツテ、通貨ヲ少クシテモ、

シヨンハ、是ハ只今ハ私ハ寧ロ有害デア

ルト思ヒマス、ト申シマスノハ、色々ノ産

業ヲ起シテ行カナケレバナラヌ方面ガ澤山

アル、尙金利ノ水準ヲ維持シテ參ラナケレ

バナリマセヌ、是ハ公債ノ償還ヲ致シマシ

テ、軍需工業ヲ成立タセルコトニ致シマシ

テモ、此ノ金利ノ水準ハドウシテモ維持シ

ナケレバナラヌ、無闇ニ低金利ニナルコト

ハ出來マセヌ少クトモ逆轉ハ餘リヤラナイ

方ガ宜シイ、少クトモ中心タル公債ノ金利

水準ハ、其ノ必要ガ顯著ニアルノデアリマ

ス、サウ云フ際ニ一般的ニ金融ヲ引締メテ

參リマスコトハ非常ニ有利デアリマス、ソ

レデ茲ニ於テ金融政策ニ依ツテ物價ヲ下落マス、殘ル所ハ斯ウ云フコトニナリマス、極端ニ「インフレーション」デ通貨ヲダブツカセタ爲ニ、色々購買力ヲ起シテ行ク、是ハドウシテモ避ケナケレバナラヌ、ソレハ避ケナケレバナリマセヌノデ、大體主トシテソレハ物價ノ關係デアリマシテ、先程申シマシタヤウニ軍需品ノ輸入品ガ多イカラリマスカラ、割合ニ通貨方面ノコトヲ申上ゲナカッタノデアリマスガ、是ハ無闇ニダノハ極力物資ノ節約獎勵ヲシテ行ク方針デアリマス、モウ餘程各方面ニ金ガ廻ツテ参りマシテ、今カラ寧ロサウ云フ消費節約ノ方ノ高調シナケレバナラヌ時期ニ到達致シタマシテ、アリマス、モウ餘程各方面ニ金ガ廻ツテ参りマシテ、アリマス、此ノ年五十億ノ公債ト思フノデアリマス、此ノ年五十億ノ公債ガ出マス、大部分ハ之ヲ吸收シテ行カナケレバナリマセヌ、今後ハ貯蓄ノ獎勵ガ非常ニ重大デアルト考ヘマスルノデ、此ノ追加豫算ニモ相當ノ經費ヲ盛リマシテ、只今衆ニ任セテ消費ヲ殲セバ、今申シマシタ軍需品ノ輸入品以外ノ一般ノ消費ニ依ツテ物價ガ非常ニ騰貴スル譯デアリマス、之ニ對シテハ御話ノヤウニナカク供給ハ伴ヒマセス譯デアリマスカラ、國內產品ト致シマシテモ、不足ヲ生ズルヤウナコトニナレバ困

ル譯デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、結局此ノ所得ヲ増加シタ方面ニ對シテ極力

行ク、通貨モ量ハ常ニ妥當ナル程度ニ止メテ行ク、詳シク申上ゲレバサウ云フ考へ方

デゴザイマス

○橋本辰二郎君 只今大藏大臣ノ御説明ヲ承リマシタガ、是モ一方ノ見方デアリマシ

テ、筋ノ通ツタ御説明ト私ハ拜聽致シマシタ、

マア爲替ノ維持ニ付キマシテノ御説明ヲ要

約致シマスルト、今後爲替ヲ維持スル爲ニ、

貯蓄ノ獎勵ヲ致シマシテ所得增加ニ依ル濫

費ヲ防グ、別ノ言葉デ言ヘバ通貨ガダブツク、ソコデ消費ノ増加ノ起ルコトヲ防グ、

是ガ極メテ必要デアルト思フノデアリマス、昨年事變ガ始リマシタ當初ハ、經濟界ハ前

途ノ見透シ難ノ爲ニ批評ヲ致セバ、不必要ニ所謂怯エテ收縮致シテ居ツタノデアリマ

ス、其ノ際ニ當ツテハ私共ハ、餘リニ一般的

緊縮ヲ唱ヘルコトハ害ガアルト思ツタノデ

アリマス、モウ餘程各方面ニ金ガ廻ツテ参り

マシテ、今カラ寧ロサウ云フ消費節約ノ方

ヲ高調シナケレバナラヌ時期ニ到達致シタ

ト思フノデアリマス、此ノ年五十億ノ公債

ガ出マス、大部分ハ之ヲ吸收シテ行カナケ

レバナリマセヌ、今後ハ貯蓄ノ獎勵ガ非常

ニ重大デアルト考ヘマスルノデ、此ノ追加

豫算ニモ相當ノ經費ヲ盛リマシテ、只今衆

議院ニ於テ審議中デアリマス、之ニ依リマ

シテ極力貯蓄ヲ獎勵致シ通貨ヲ吸收致シテ

行ク、通貨モ量ハ常ニ妥當ナル程度ニ止メ

テ行ク、詳シク申上ゲレバサウ云フ考へ方

タイト思ヒマス、昨年ノ七月ト本年ノ二月

末ノ增加額、併シソレハ事變ガアリマセヌ

デモ、近頃ハズット毎年、其ノ間增加ヲ致シ

テ居リマスルカラ、其ノ增加額カラ既往ノ

數年間、事變ノナカリシ年ノ毎年、經濟界

ノ發展ニ伴ヒ增加致シマシタ金額ヲ算出致

シマシテ、ソレヲ除イタモノガ大體此ノ事變ニ依ル増加ト……凡ソ荒ッボイ話アリマスルガ、一應爲シ得ルノデアリマス、其ノ數字ガアリマスカラ、ソレヲ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、大體斯ウ云フコトニナッテ居リマスル、昭和十二年前ノ三箇年間位デ比較致シマスルト、其ノ年ノ七月ヨリ翌年ノ二月ニ至リマスル間デハ平均七・三四・パー

セント」ト云フモノヲ増加致シテ居ルヤウデアリマス、從ヒマシテソレト同ジニ參ルトスレバ、昭和十二年ノ二月ニ於テハ、十四億九千萬圓位ノ數字ニ一應ナル譯デアリマスルガ、ソレガ十六億七千九百萬圓ニナッテ居リマスルカラ、其ノ十六億七千九百萬圓カラ十四億九千萬圓ヲ引キマシタ一億八千九百萬圓ガ、大體普通前年ノ七月カニ翌年ノ二月迄ニ兌換券ガ増加シマスルモノ以上ニ增加ヲ致シテ居ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○橋本辰二郎君 物價騰貴ノ問題デアリマスルガ、是ハドウモ大藏省ダケニ御伺ヒスルト云フコトモ、ドウカ知ラヌト思ヒマスケレドモ、大藏省關係ノ範圍内ニ於キマシテ、御答辯ヲ願ヘレバ大變仕合セト思ヒマス、先程モ度々申上ガマシタガ、此ノ増稅ガ物價ニ影響スルト云フコトハモウ疑ナイ

コトデアリマシテ、今日ノ物品稅ヲ課セラレタル其ノ物ノミガ騰貴スルノデナクシテ、不課稅品モ漸次之ニ近付カムトスル傾向ヲ持ツノデアリマス、是ハ商品ノ通有性デアリマス、是ハ疑ナイコトデアリマス、現ニ濱口財政ノ時ニ、贅澤品ト云フ名目ノ下ニ十割稅ヲ課セラレタ輸入品ガアリマシタガ、此ノ十割稅ヲ課セラレタモノノミニ止マラズシテ、他ノ不課稅品モ足並ヲ揃ヘテ、歩調ヲ段々課稅品ト等シクシタト云フヤウナ事柄モアッタノデアル、ソレデ今日ニ於キマシテモ、現ニ羅紗ノ如キモノハ著シク騰貴ヲシテ居ルト云フヤウナ傾向デアリマシテ、是ハ物價ト云フモノハ必ズ一つノモノガ、騰貴致シマスト他モ之ニ追従スルト云フ傾向ノアルモノデアリマシテ、今回ノ增稅ガ、是ハ物價ト云フモノハ必ズ一つノモノガ、コトニナリマスルノデ、此ノ點ニ付キマンハ物價騰貴ニ益、ドウモ拍車ヲ掛ケルト云フニ特別ナル御考ナリ、又施設ナリヲ試ミヨウト云フ御考ガアリマスルナラバ、ソレヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ資金調整法ハ、元々是ハ物資ノ需給調整ヲ最モ主眼トシテ作リマシタ法律デアリマス、極ク露骨ニ申上ゲマスレバ資金ハ寧ロ從デアリマス、成リマス、又平和産業ノ方面ニ於キマシテモ、其ノ原料ハ外國カラ輸入致シマスル爲ニ、此ノ原料ノ需要方增加スレバ、輸入ガ殖エ、物ハ益、騰ルノデアリマス、是ハドウシテモ軍需ノ充足ト云フコトヲ考ヘテ、貿易ノ調整、國際收支ノ維持ヲ考ヘマスルナラバ、平和産業ハ從來ノ程度ノ設備ヲ以テ我慢スル外ニ致シ方ナシ、大局カラ申セバ、ソレガ一般物價ニモ好イ影響ヲ與ヘルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ結果ドウナルカト申シマスト、御説ノ如ク、平和

産業ハ其ノ設備ニシテ睡眠的ノ部分ガナク  
ヲ起シ、物價騰貴ヲ致スノデアリマス、ソ  
レデ昨年ノ事變當初ノ如ク、或ハ三杯ノ飯  
ヲ二杯ニ減スト云フヤウナ誤タ考カラ致  
シマスレバ、私共ハ寧ロ其ノ當時米ノ不足  
ガナイ狀態ニアリマシテ、却テ消費ノ增加  
ヲ獎勵シナケレバナラヌ數箇月ノ時代モア  
リマシタガ、只今デハドウシテモソコデ一  
般物資ヲ、普通ノ場合以上ニ、消費ノ增加  
ヲ抑制シナケレバナラヌ、今ノ御話ノ如ク  
平和産業ノ設備ノ關係カラモサウ相成シテ  
參リマス、併シ御說ノ如ク非常ニ此ノ際所  
得ノ増加シタ職工其ノ他ノ人々ニ之ヲ強ニ  
ルコトハ困難デアリマス、困難デハアリマ  
スルガ、之ヲ出來ルダケ又大體ニ於テ實行  
致シマセヌケレバ、ソコニ相當非常ナ物價  
騰貴トカ、惡イ現象ガドウシテモ起ルノデ  
アリマス、ソレハ御話ノ如キコトガ起リ易  
イ、是ハ容易ニ私共ノ申上ゲルヤウナ風ニ  
ハ参リマセヌ、ソレハドウ致シテモ半箇年  
ニ數億、一年ニ五十億ノ戰費ヲ使ヒマスル  
場合デアルカラ、ドウスレバ宜イトカ、斯  
イノデアリマス、難キヲ忍ンデヤラナケレ

今後ハサウ云フヤウナ消費節約運動、ソレニ貯蓄ノ獎勵運動ヲ大規模ニ、是ハ極メテ力ヲ入レテ、官民共ニ其ノ自覺ノ下ニ大ニヤラナケレバナラヌ、是ガ一ツノ戰時ノ財政經濟政策ノ效ヲ奏スルヤ奏セザルヤノ岐レル途デアリマス、困難ナコトデアリマスルガ、ドウシテモソコニ大イニ力ヲ入レテ行カナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレガ私共ノ方ノ仕事ノ一つノ主ナルモノデアリマス、尙商工省ニ於キマシテハ、私ノ答辯デハ極メテ不完全デアリマスガ、大體物資計畫、或ハ輸出入計畫ハ本豫算方出來マシタ後ニ出來上リマシタノデアリマス、從ツテソレ等ヲ基ニシタ物資ノ調整ノ爲ニ中央及地方ニ物價委員會ヲ置キマシテ、小賣物價等ニ對スル監視ヲ致サナケレバナラヌ、サウ云フモノニ付キマシテ追加豫算ヲ以テ只今衆議院デ審議ヲシテ戴イテ居リマスルガ、サウ云フ商工省ガ直接物資ノ方面カラノ政策ヲ執ツテ參リマシタシ、私共ノ方デハ貯蓄獎勵政策ノ方カラサウ云フ政策ヲ執ツテ居リマス、何レモ是ハ效ヲ奏スルコトハ仰セノ如ク極メテ困難デアリマスガ、困難ナコトニ邁進セザルヲ得ナイ狀況デアリマス、之ニ極力力ヲ盡シテ參ル積リデア

○橋本辰二郎君

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、物價ニ對スル御意見ノアル所ヲ拜聽致シマシタ、大臣ノ御話モ見方ニ依リマシテハ首肯セラレル點モアリマス、併シは觀點ノ異ナルニ依ツテ其ノ所見モ異ニスルコトハ已ムヲ得ヌコトト思ヒマシテ、私必ズシモ物價問題ニ付キマシテ大臣ノ御答辯ニ全ク納得スル次第デハアリマセヌガ、是ハ此ノ點ニシテ置キマシテ、又他ノ委員諸君ヨリ御尋モアラウト思ヒマス、ソレカラ只今專ラ大藏省ニ於テハ貯金ヲ獎勵スルト云フ御話デアリマスガ、貯金ノ獎勵ハ、是ハ大變宜イコトデアラウト思ヒマス、併シナガラ此ノ勞働者ノ懷中ニ入リマシタ金ト云フモノハ、是ハ貯金セラレルヨリモ、寧ロ浪費セラレル傾向ガアルノデアリマス、ソレデヨク歐米諸國ニ於キマシテモ、勞銀ガ非常ニ高イ、之ニ日本モ倣ハナケレバナラヌト云フコトヲ言フ人モアリマスガ、勞銀ヲ非常ニ高メタ結果、生産費ノ原價ヲ高メルコトハ當然ノコトデアリマス、ノミナラズ、生産擴充ニ要スル資金モ是等ノ人ノ手居リマス

云フコトガアリマシテ、ソレデ此ノ勞働者ニ行渡リマシタ所ノ勞銀ヲソレフ貯蓄サセルト云フコトハ非常ニ困難ノヤウニ考ヘマス、先程貯金問題ニ付キマシテノ答辯モ承リマシタガ、此ノ軍需工業ノ最モ盛ナ所ノ都市ニ於テ、當然貯金ガ殖エナケレバラナイ筈ニモ拘ラズ、此ノ方面ノ増加ト云フモノハ微々タルモノデアッテ、寧ロ農業方面ノ地方ニ於テノ貯金ガ非常ニ殖エタト云フヤウナコトデアリマス、昨年以來軍需工業ニ從事スル所ノ職工ノ賃銀ナルモノハ著シク騰貴致シマシテ、生産業、詰リ事業主ト云フモノハ熟練職工ノ奪ヒ合ヲ致シマシテ、非常ナ好イ條件ヲ以テ之ヲ誘致スルト云フヤウナコトモヤツテ居リマシテ、職工自身ノ懷口合ト云フモノハ非常ニ好クナツテ、ソレデサウ云フ地方ニ於テノ貯金ハ當然是ハ殖エナケレバナラヌノニ拘ラズ、今日迄郵便貯金ノ殖エナイト云フコトハ、結局是等ノ人ガ浪費スルカラデ、是等ノ人ノ浪費ト云フモノハ日用必需品ニ及ンデ、茲ニ日用必需品ノ缺乏ト騰貴ヲ誘致スルト云フコトニナルノデアリマスガ、之ニ付キマシテ河田委員ヨリ御話ガアリマシタガ、私モ其ノ點ヲ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、特ニ軍需工業ニ限リマセヌガ、特別ニ高イ賃銀ヲ支拂

フ所ノ勞働者ニ對シテハ、事業主ヨリシテ先ヅ平和的ニ、自治的ニ其ノ貯金ヲ獎勵スルト云フコトモ、一つノ方法デアラウト思ヒマスガ、之ヲ何カ法律ヲ以テヤルヨリ外ハ仕様ガナイト思ヒマスガ、強制的ニ其ノ貯銀ノ幾割ト云フモノヲ貯金セシムル、而シテ之ヲ公債ノ消化ニ充デルト云フヤウナ方法ニ付キマシテ、何カ御考ハアリマスマイカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ御尋デアリマスガ、全ク此ノ時局ニ當リマシテ收入ガ増シマス方面ニ、最モ貯蓄ノ獎勵ヲ致サセナケレバナラナイノデアリマス、只今ノ考致シマシテハ、全國各地ニ或ハ工場毎、會社毎、サウ云フ風ナ團體毎ニ貯蓄組合ノヤウナモノヲ拵ヘル運動ヲ起シマシテ、其處ニ於テ其ノ會社、工場ノ從業員ガ自發的ニ貯蓄ノ申合セラシテ進ム、斯ウ云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、私ハ只今法律的ニ強制スル考ハ持ツテ居リマセヌ、法律的ニ強制致シマスコトハ效果ガアルヤウデアリマスガ、ドウシテモ斯ウ云フ時局……サウ云フコトハ望ミマセヌガ、マダ——工合ガ惡イ時、是レ以上ノ難局モアラウカト思ヒマスガ、其ノ際ニドウシテモ國民ノ自覺ガ無クテハ物事ハ運ビマセヌ

ノデ、自覺ヲ俟タナイデ法律的ニヤルト云フコトハ、餘程是ハ進ンダ段階ニ於テ致シタイ、困難デアリマスケレドモ、十分ニ自己覺ヲ求メテ、申合セニ依ツテ貯蓄ノ獎勵ヲスルト云フコトヲ全國的ニ運動ヲ始メルト云フコトハ或ハ適當デナイカ、ソレヲ致シタイト思フノデアリマス、サウシテ御話ノヤウニ、ソレヲ公債ヲ持ツナリ、適當ノ方法デ行キタイト思フノデアリマス、結局ハ公債ト必要ナル産業資金ノ消化デアリマスルガ、唯必ズ公債ト致スコトモドウカ、貯蓄ノ機關ナラバ、ソレガ普通銀行デアリ、貯蓄銀行デアリ、又生命保險デアリ、養老保險デアリ、直接ニ公債ヲ購入シ、又特ニサウ云フ今ノ御話ノヤウナ方面モ多少考慮シマシタヤリ方デアリマスルガ、割増金付ノ貯蓄債券ナリ、總テ貯蓄ノ方面ニ付キマシテハ、大體私ハ成ルベク是ハ任意ニ致シタイト、ドノ方法デモ宜イカラ、一ツ皆貯蓄ヲ始メヨウト、斯ウ云フコトヲ、全國的ニ其ノ空氣ヲ起シ、殊ニ時局ニ依ツテ收入ガ増加シタ方面ハ、是ハ最モ惠マレタル階級ト思フノデアリマス、此ノ國家ノ難局ニ當ツテ自分ノ收入ガ増スト云フノデアリマスカラ、最モ國民ノ自覺ガ無クテハ物事ハ運ビマセヌ

ノ邊ヲ自覺シテ貰ヒマシテ、必ズサウ進ミタイ、困難デアリマスケレドモ、十分ニ自己覺ヲ求メテ、申合セニ依ツテ貯蓄ノ獎勵ヲスルト云フコトヲ全國的ニ運動ヲ始メルト云フコトハ、私ハ此ノ上非常ナ御努力ヲ要スルタリト思ヒマス、次ニ私ハ金利ノ問題ニ付ウニ、ソレヲ公債ヲ持ツナリ、適當ノ方法デ行キタイト思フノデアリマス、結果ハ公債ト必要ナル産業資金ノ消化デアリマスルガ、唯必ズ公債ト致スコトモドウカ、貯蓄ノ機關ナラバ、ソレガ普通銀行デアリ、貯蓄銀行デアリ、又生命保險デアリ、養老保險デアリ、直接ニ公債ヲ購入シ、又特ニサウ云フ今ノ御話ノヤウナ方面モ多少考慮シマシタヤリ方デアリマスルガ、割増金付ノ貯蓄債券ナリ、總テ貯蓄ノ方面ニ付キマシテハ、大體私ハ成ルベク是ハ任意ニ致シタイト、ドノ方法デモ宜イカラ、一ツ皆貯蓄ヲ始メヨウト、斯ウ云フコトヲ、全國的ニ其ノ空氣ヲ起シ、殊ニ時局ニ依ツテ收入ガ増加シタ方面ハ、是ハ最モ惠マレタル階級ト思フノデアリマス、此ノ國家ノ難局ニ當ツテ自分ノ收入ガ増スト云フノデアリマスカラ、最モ國民ノ自覺ガ無クテハ物事ハ運ビマセヌ

○國務大臣(賀屋興宣君) 私ハ大體今ノ金利水準ヲ維持シテ參リタイ、極ク書生論ノヤウデアリマスガ、非常ナ大キナ事變ハ、二分ニ發揮スル狀態デアリマス、斯ウ云フ際ニ非常ナ低金利ニ持ツテ行カウト云フコトハ、私ハ非常ニ間違ダト思フノデアリマス、之イ、其ノ中心ハ公債ノ利廻デアリマス、之ヲ中心ニ致シマシテ、社債、銀行預金、郵便貯金ト……是ハ未ダ社債ノ方ハ大體私ハソレヨリモ金利ノ水準ヲ動カサイデ行キタドモ、稅ダケノ水準ガ動イテ居リマセヌ、此ノ中心デズツト參リタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 御話デハアリマスルガ、今度ノ稅制ニ於キマシテ公債ニ對スル稅率ハ元ノ儘ニ据置カレテ、他ニ澤山重イ稅ヲ御課ケニナツテ居リマス、所謂公債優遇デ、他ノ株券ナンゾラ虐待シテ居ル、サウ云フコトヲ世間デ申シテ居リマスルガ、金利モ

之ニ依ツテ矢張リ定マルノデアリマス、御  
話ノ通り、昔ハ金利ト云フモノハ中央市場  
ニ於テ一定ノ標準ガアッタノデアリマスルケ  
レドモ、此ノ政府ガ金利ヲ統制スルヤウニ  
ナリマシテカラ、金利ハ公債ガ標準ニナル  
ト云フコトニナツテ居リマス、公債ヲ優遇セ  
ラレルト云フコトハ、所謂金利ヲ少シク高  
クスル、斯ウ云フコトニナル、今度ノ増税  
ニ付キマシテ、公債ニ付テノ課稅ヲ一文モ  
増サズシテ、他ノモノニ對シテ重イ稅ヲ課  
セラレルト云フコトハ、取モ直サズ公債ノ  
利子ノ標準、水準ヲ少シ御上ダニナツタ、斯  
ウ云フコトニナルノデアリマスガ、大藏大  
臣ハ左様御考ニナリマセヌカ

ト云フヤウナ御意思ノ下ニオヤリニナツタ  
ンデハナカラウカ、今迄金利ト云フモノハ  
餘リ水準ガ低カッタ、ソレデ之ヲ少シバカ  
リ是正シヨウト云フヤウナ思召デ此ノ税制  
ヲ御定メニナツタンデハナカラウカト私  
ハ思ヒマスガ、ソンナコトハナインデスカ  
○國務大臣(賀屋興宣君) サウデハアリマ  
セヌデ、水準ヲ寧ロ据置ク積リデアリマス、  
詰リ銀行ノ預金ニ致シマシテモ利率ヲ殖シ  
マセヌ、課税率ヲ殖シマセヌ、依然トシテ  
アレニ止マリマス譯デアリマス、尙其ノ安  
定點ト申セバ、今ノ公債ノ利廻デ參リマス  
レバ、銀行預金ヤ郵便貯金ハ幾ラカ下ッテモ  
宜イト思テ居リマス、非常ニ物事ガ順調ニ  
ナリマスレバ、サウ云フコトニナルコトモ  
宜イカト、サウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマ  
ス

○橋本辰二郎君 今日ニ於テハ只今ノ水準  
ヲイツ迄モ維持シヨウト云フ御考デアツテ、  
之ヲモウ少シ位ハ引上げテモ宜イト云フ御  
考ハ御持チニナツティラッシャイマセヌカ  
○國務大臣(賀屋興宣君) 今迄申上ゲマシ  
タヤウニ、今ノ水準ヲズット持ッテ行クノ  
ガ一番宜イト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 十三年度ニ於ケル計畫資  
本ハ約五十二三億モ必要ダト云フコトニ承ツ

テ居リマスガ、此ノ厖大ナル事業計畫ト云フモノハ、政府ノ御獎勵ニ依リマシテ、詰リ事業擴充ノ是ガ現レデアラウト思ヒマスガ、此ノ事ハ政府モ亦國民モ大變結構ナ事ト思ヒマスガ、此ノ厖大ナル事業擴充ニ要スル資金ノ供給ヲドウ云フ方法デ賄ハレルト云フ御考デアリマセウカ

フヤウナモノガ賄ハレル、今ノ五十億ト合  
カ……假ニ五十億ト致シマスレバ、公債ト合  
セマシテ百億ニナリマス、是ガ一年ニナリ  
マスレバ、物ニ依ッテハ數回ノ循環ヲ致スノ  
デアリマス、資金方面ハ、金ノ方面ハ私ハ  
十分賄ヘル、唯大事ナノハ金ノ方面ヲ緩ク  
致シマシテ、例ヘバ公債ヲ市場デ公募シナ  
イデ、資金ノミヲ引揚ゲルト云フコトデ賄  
ヘルト思フノデアリマスガ、サウ云フコト  
ヲ致シタ結果ハ、物ニ依ッテハ、甚ダ妙ナ申  
上ガ方デ分リ切ッテ居リマスガ、是ハ物資ヲ  
買求メル、或ハ……使用スルコトハ、其ノ方  
面ガ足リマセヌト、先程モ橋本サンノ御話  
ノヤウニ、經濟現象トシテ非常ニ惡イコト  
ニナリマスカラ、此ノ點ガ大事デアリマス、  
例ノ資金調整法ニ依ッテ、事業ノ種類ニ依ッ  
テ出來ルダケ我慢ノ出來ルモノハ我慢ヲス  
ル、不必要ナモノダケ延スト云フ、左様ニ  
致シテ居リマス、物資モ節約ヲ要セザルモ  
ノモアリマスカラ、第一ニ置カナケレバナ  
ラヌモノハ、外ノ方ヲ抑ヘテモ、ソレニ轉  
換シテ行クト云フ、此ノ政策ノ方ガ非常ニ  
大事ダト考ヘマス、其ノ點ニ重點ヲ置イテ  
行キタイト考ヘテ居リマス

アルト云フコトデアリマスルガ、確カ今年度ニ於テ新タニ増資又ハ新規ノ事業ヲ始メントスル者ハ、二月ノ十五日カニ届出ロ云フヤウナコトニナシテ居タト思ヒマシテ、大抵其ノ届出ヲシテ居ルト思ヒマスガ、政府ニ於キマシテハ本年度ノ事業計畫資金ハ幾ラ要ルト云フコトハ御承知ノ筈ト思ヒマスガ、數字ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス  
○國務大臣(賀屋興宣君) ソレハマダ整理ヲ致サナケレバナリマセヌ、ソレカラ届出タ者ハ全部是ハ認ムベキモノデアルカドウカ、是等ノ精査ヲ致シマセヌト、未ダ政府ハ斯ウ云フ數字ダト發表スル程ノ整理ガ付イテ居ナイノデアリマス、唯集計ハ出來テ居リマス、多少サウ云フ整理ガ要ル譯ニアリマスカラ、チヨット申上ゲ兼ネマス  
○橋本辰二郎君 只今ノ何ハ、後デ集計ガ出來マシタナラバ、御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ國債ノ消化ニ付キマシテハ、斯クノ如ク國債ヲ融通セラレマシタ今日ニ於キマシテハ、別ニ心配ハ要ルマイト思ヒマスケレドモ、此ノ產業資金ニ付キマシテハ、今後餘程窮屈ヲ感ジハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、此ノ國債ト株式ノ利廻ヲ見テ見マスルト、基本稅ノ時ニ於キマシテハ四百萬圓ノ所得階級ニ於キマ

シテモ、是ハ四割ノ控除ガアッタ關係デア  
ナカツタノデアリマス、是ハ公債ノ利廻ヲ三分  
分七厘ト致シマシテ、株ノ利廻ハ五分五厘  
ト押ヘテノコトデアリマスルガ、其ノ後結  
城増稅ニナリマシテハ二十萬圓ノ所得者ニ  
シテ初メテ……二十萬圓以下ノ所得者ガ株  
ノ投資ガ出來ルト云フコトニナツタノデア  
リマスルガ、今度ノ特別稅ニ於キマシテハ  
七萬圓以下ノ所得者デナケレバ株ニ投資シ  
テハ利ガ合ハナイ、株ヨリモ寧ロ國債ニ投  
資スル方ガ利廻ガ好イト云フコトニナツテ  
居リマス、サウシテ御承知ノ通リ株式ト國  
債トノ利廻ノ「マーク」ト云フモノハ、少ク  
トモソコニ一分以上ナケレバナラヌト云フ  
コトハ普通ノコトデアリマスガ、其ノ點ヲ  
考ヘマスト、今日ニ於テハ八千萬圓以下ノ  
所得者デナケレバ、株式ニ投資シテハ、ド  
ウモ不利益デアル、寧ロ國債ニ投資スル方  
ガ有利デアル、斯ウ云フコトニナツテ居リ  
マシテ、總テノ所得階級ガ滔々シテ國債  
ノ方ニハ廻リマシテモ、事業資金ノ方ニハ  
廻ルマイト、サウ云フコトヲ私ハ非常ニ憂  
ヒテ居ルノデアリマスルガ、大藏大臣ニ於  
カレマシテハ別段ニソンナ心配ハ要ラナイ  
ト云フヤウナ御考デアリマセウカ、又昔ニ

於テハ事業資金ト云フモノハ、事業資本家ノ手ニ依リ、又事業ノ或モノハ、其ノ事業ニ特別ノ知識経験ヲ持ツ者ヲ必要トシタガ、今日ニ於テハ或推進力ニ依シテ資本モ集リ、又事業モ計畫ガ出來ルノデアルカラ、モウ事業資本家トカ、事業經營者ト云フ者ノ位置ハ昔日トハ同ジモノデナイト云フヤウナ御考デアリマセウカ、其ノ點ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

ノ考へ方へ此ノ際必要ナル公債ノ消化、社  
資本ト雖モ外ノト少シモ變ラズニ、四分五  
厘以上ノ社債ニハ特別稅迄取ツテ居ルヤウ  
ナ次第ニアリマス、又銀行等ニ關シマスル  
課稅モ、外ノ產業課稅ト少シモ違ヒマセヌ、  
公債ハ別トシマシテ、社債ヲ何故サウ云フ  
風ニ致シタカト云フコトニ付キマシテハ、  
私ハ言葉ガ足リナカツカ知リマセヌガ、產  
業資本ヲ優遇スル意味デ言ッタノデアリマ  
ス、此ノ社債ハ、色々社債モアリマスガ、  
結局產業資本ノ調達ノ爲ニ致シテ居ルノデ  
アルガ、產業資本ノ爲ニハ株モ大事デアリ  
マス、社債モ或程度ニ出來ナケレバ、運轉  
ガ付キマセヌ、ソレガ昨年ノ狀況ノ如キハ、  
株ノ拂込ハ……仰セデアリマスガ、社債ハ  
ドウモ出來ルガ、困難デアリマス、其ノ狀  
況ハ產業資金トシテ是ハ良イ狀態デハナイ、  
モウ少シ社債ノ方ガ出來ルヤウニ轉換シナ  
ケレバイカヌト云フ、斯ウ云フ考モ持ッテ  
居リマス、ソレデ今春ニナリマシテ、金融  
情勢ハ緩ンデ又相當平調ニナリマシタ、所  
謂昨年ノ租稅ノ增徵ニ依ル資本利子稅、第二  
種所得稅ノ增課等モ考ヘマシテ、四分三厘  
「バ」ト云フモノデ、社債ガ出來カケルコ

トニナリマシタ、之ヲ育ツテ益、出來ルヤウニシテ行カナケレバ、所謂產業ノ爲ニ要スル資金トシテ非常ニ困ルノダ、斯ウ云フ考ノ下ニ今四分五厘以上ノ社債ニ十分課稅致シマスガ、ソレ以下ノモノニ付テハ殆ド增稅ヲシナイト云フコトニ致シマシタ、私ハ全ク是ハ公債ト產業資金ノ爲ヤツテ居ルノダ、只今ノ情況デ之ニ稅ヲ課ケマスレバ、必ズシモ發行會社ノ……必ズト申シテハ強過ギルカモ知レマセヌガ、逆轉ニナリ易イ、產業資本家其ノ者ノ負擔ニナルト思フ、右様ノ趣旨ニ依ル譯デアリマス、之ニ依ツテ今後社債市場ハ段々順調ニナツテ參リマシテ、各種ノ會社ニ於テ社債ノ調達ガ樂ニ出來ル、資本ガ樂ニ集ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、尙ソレデハ株ハドウカト申シマスルト、是ハ昨年ノ、既ニ租稅ノ臨時増徵ノ際ニ議論ガアリマシテ、アア云フ稅制ハ社債ヤ公債ハ樂ニナツテモ、株ノ方ハ困ルト云フ意見ハ相當ニアツタ、併シナガラ結果ハドウカト申シマスト、昨年ハ會社ノ支拂、拂込ノ増加、株ノ方ハ前古未會有ノ好成績ト考ヘテ居リマス、公債ヤ社債ノ方ハドツチカト云フト餘リ良クハナイ、ソレト申シマスノハ社債、公債ハ此ノ數年來ノ低金利デ以テ、課稅關係以外ノ方デ非常ニ強イ收益ノ削減ヲ

見テ居ル、株ノ受ケマスル會社ノ利益ノ方ハ、是ハ段々利益率ハ寧口增加シテ參ッテ居リマス、根本ニ於テ低金利ノ進行ノ關係、此ノ時局、其ノ他ニ依ル產業ノ隆盛ニ依リマシテ根本ノ利子及利得ト云フモノハ、非常ニ違ツタ傾向ヲ生ジテ居リマス、斯ウ云フ異常ノ狀態デアリマスカラ、此ノ產業狀態ヲ以テ行キマスル爲ニハ、ドウシテモ稅制ニ於テ加減ヲシナケレバナラヌ、根本論ハ、第二種ハ綜合課稅ニシタイト思ヒマス、ソレハ理論ハサウデアリマスガ、今ノ狀態ハソンナコトヲシタラ大變デアリマス、サウ云フ異常ノ狀態デアリマスカラ、此ノ政策デ行カナケレバナラヌ、サウ云フコトガ根本ノ稅制整理ノ出來ナイ一ツノ理由デアリマス、ドウモ此ノ當分ノ間ハ、此ノ點ハ斯ウヤツテ行カナケレバナラヌノデアリマス、方面ハドン／＼伸ビマシテ、稅ノ薄カッタ方ニナカ伸ビナイ、是ハ昨年ノ情況デアリマス、只今ヤツト起債市場ガ回復致シマシタ際デアリマスノデ、是等ノ點ヲ考ヘテ社債合課稅ノ結果株ハ、七萬圓以上ノ所得ノ者ヲ増微致サナイ次第デアリマス、ソレデ御話ノ如ク五分五厘ノ利廻リニシマスレバ綜

ニナリマスガ、新規ノ株式ニハ、ドウシテモ事業ハ八分トカ一割ノモノデナケレバ起リマセヌ、將來ハ……、斯ウ云フコトニナリマスト、今ノ七萬圓ト云フ御示シノ數ハ或ハ七十萬圓トカ、今私チヨット數字ヲ記憶致シマセヌガ、餘程上ノ段階ニ上ッテ参リマス、新規ニ起ル會社ノ投資ヲ非常ニ妨ゲルモノトハ私共考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ是モ一ツ結果論ト考ヘマスガ、然ラバ五分五厘程度ニナッテ居リマス是等ノ株等ニ對シテ、増稅ヲ致シマシタ結果、ドウカト申シマスレバ、一昨年ヨリハ昨年ノ方ガ價格ハ宜ウゴザイマス、幾分……、又今年モ色々ノ事情デ以テ相場ノ動搖ハアリマスガ、此ノ程度ノ増稅ヲ致シマシタ爲ニ、特ニ利廻リガ惡クナツテ株ガ下ルト云フ風ナ現象ヲ發見致シテ居リマセヌノハ、大體ニ於テ時局ニ依ツテ收益ノ増加スルモノガ非常ニ多イト云フ點モアルノデアラウカト考ヘマス、産業ノ方面ニ對シマシテハ相當ニ重い稅デアリマス、從ヒマシテ今回ハ法人ニ致シマシテモ、個人ニ致シマシテモ同族會社ハ別デアリマスルガ、其ノ外ノモノハ地方稅モ何モ併セマシテ、或程度以上ノ課稅ニナリマスル場合ハ、其ノ程度デ打切ルト云フ意味ノ立法ノ規定ヲ置キマシタヤウナ次

第デアリマス、同族會社ニ付キマシテモ限度ハ違ヒマスガ、同ジヤウナモノヲ置キマシタノデアリマス、相當重イ課稅ト思ヒマスガ、右申上ゲマシタヤウナ次第デアリマスカラ、產業資本全體トシテ之ニ依ッテ著シキ阻害ヲ受ケ、必要ナル產業ノ活動ガ出來ナイトハ思ッテ居リマセヌ、是デ行ケルコトト考ヘテ居リマス

（橋本辰二郎君發言ノ許可ヲ求ム）

○委員長（子爵前田利定君）チヨット橋本君ニ伺ヒマスガ今ノ續キノ御質問ハ、マダオ長クカ、ラレルデセウカ

○橋本辰二郎君 マダ澤山アリマスガ……

○委員長（子爵前田利定君）若シ段落ガオ付キニナレバ、明日又引續イテ願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 只今ノコトニ關聯シテ居ル問題デ一言ダケ申上ゲマシテ、アトハ又他ノ機會ニ發言ヲ御許シ下サルコトヲ希望致シマス

○委員長（子爵前田利定君）又明日デモ

…

○橋本辰二郎君 此ノ稅法ノ實施ニ依リ、決シテ產業資金ニ流レ込ムコトヲ阻害スルモノデハナイト云フヤウナ御見解デ、且昨年ノ成績ニ依ッテ見テモ新タル様式ニ投資

相當ノ好イ成績ヲ擧ゲテ居ル、斯ウ云フヤ  
ウナ御話デアリマスルガ、私等ノ見ル所ニ依  
リマスレバ、昨年以來新タナル會社ガ起り  
マシテ、大變ナ利益ガアルヤウナ風ノ報告  
ヲシマス、又一般ノ資金ヲ投ジヨウト云フ  
側ノ人ニ於キマシテハ、時局ノ波ニ依ル所  
ノ事業ハ、總テ何割以上ノ利益ガアルト云  
フヤウニ妄信ヲ致シマス、サウシテ之ニ投  
資スルト云フヤウナ傾向ガ多カツタノデア  
ラウカト思ヒマス、現ニ農業ニ從事スル  
人々ニ於キマシテモ、矢張リ株熱ガ相當  
ノ傾向ト云フモノハ歐洲戰爭ノ後ニ於キ  
マシテモ、又日露戰爭ニ於キマシテモ國  
民ノ經驗シタ苦イ事柄デアルノデアリマ  
ス、昨年中株式ノ募集ガ容易カッタト云フ  
コトハ、是ハ聞キマシテ是ガ今後ノ證據  
ニナル、若シクハ之ニ依ツテ確信ヲ得ルト  
カ云フノニハ私ハ如何カト、斯ウ考ヘル  
ノデアリマス、何レニ致シマシテモ今日ノ  
政府ノ方針ト云フモノハ私ノ推測スル所ニ  
依レバ、產業資金ニ流レ込ム所ノモノハ之  
ヲ阻止シテ、而シテ之ヲ國債ノ消化ノ方ニ  
導クト云フ傾向ガ確カニ見エルカノヤウニ

ト申シマシテモ、是ハ一國ノ經濟力ニ依リ  
決定セラル、モノデアリマシテ、一國ノ經  
濟力ガ不十分デアリマシタナラバ、到底此ノ  
公債ノ消化モ圓滑ニ行ハレルモノデハナイ  
カト思ヒマス、一國ノ經濟力ノ中心ヲナス  
モノハ詰リ生産力ノ擴充ト國民ノ蓄積デア  
リマシテ、特ニ公債消化ノ爲ニ、產業ニ流レ  
込ム資金ヲ阻止セラル、御意思ハナイニセ  
ヨ、結果ハ確カニサウ云フコトニ、此ノ稅  
率ノ實施ノ結果ナルト云フコトニナル、私  
等ハ其ノ點ヲ非常ニ憂ヘテ居リマスルガ、  
大藏大臣ニ於キマシテモ、產業資金ニ非常  
ニ缺乏ヲ感ズルト云フコトモナク、サウシ  
テ政府ノ獎勵セラル、所ノ產業擴充ガ圓滿  
ニ遂行セラレマシテ、軍需品ノ需要ニ於キ  
マシテモ、何等ノ支障ナカラヌヤウニ御努  
メ下サルコトヲ御願ヒ致シマシテ、此ノ問  
題ニ關スル質問ヲ打切ッテ置キマス

國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣	國務大臣
大藏大臣	賀屋 興宣君	子爵岩倉 具榮君	侯爵大隈 信常君	伯爵酒井 忠正君	子爵大河内輝耕君	子爵西尾 忠方君	子爵裏松 友光君	内田 重成君	勝田 主計君
田中德兵衛君	森 平兵衛君	男爵赤松 範一君	男爵北島 貴孝君	男爵松平外興麿君	男爵深尾隆太郎君	三浦 新七君	河田 烈君	西野 元君	加藤政之助君
大和田健三郎君	小倉 正恒君	各務 錬吉君	橋本辰二郎君	大藏大臣	賀屋 興宣君	子爵西尾 忠方君	子爵裏松 友光君	内田 重成君	勝田 主計君
絲原武太郎君	田中德兵衛君	男爵赤松 範一君	男爵北島 貴孝君	男爵松平外興麿君	男爵深尾隆太郎君	三浦 新七君	河田 烈君	西野 元君	加藤政之助君

內務省地方局長	坂	千秋君
大藏政務次官	太田	正孝君
大藏省主稅局長	大矢半次郎君	
大藏省銀行局長	入間野武雄君	
大藏書記官	入江	昂君
同	松隈	秀雄君
同	田中	豊君
預金部資金局長	廣瀬	豊作君
貯金局長	荻原	丈夫君